2015

奄美ふるさと100人応援団名鑑

奄美×日本×世界

全国の奄美会、全国の奄美の店

ふるさと奄美と人々をつなぐ

奄美市

奄美ふるさと100人応援団名鑑　全国の奄美会、全国の奄美の店

奄美市

2015

奄美ふるさと100人応援団名鑑

奄美×日本×世界

全国の奄美会、全国の奄美の店

ふるさと奄美と人々をつなぐ

奄美市

もくじ

奄美市長ごあいさつ「奄美の風を感じて」 03

紬の日 - お正月・紬の日・成人式 - 04

奄美黒糖焼酎の日・「くっかる奄美」横浜交流会 08

奄美ふるさと 100 人応援団とは何ですか？ 10

奄美ふるさと 100 人応援団の経緯と認定式 12

Facebook 応援団ページ 14

奄美ふるさと100 人応援団名鑑 2015 15

奄美群島 日本復帰年表（1945 年～ 1953 年） 54

全国奄美会 ～全国横断取材リレー 56

田中達三（神奈川奄美会・東京奄美会前会長）さんが語る島

全国奄美会紹介

（神奈川、東京、埼玉，中部、関西、神戸、広島、福岡、霧島、鹿児島、沖縄、南カルフォルニア）

ハナハナハナ～ 全国奄美店舗紹介 79

（関東、関西、名古屋、福岡、鹿児島、沖縄）

編集後記 96

奄美の風を感じて

奄美市長　朝山　毅

平成二十四年度に発足した「奄美ふるさと１００人応援団」と全国の奄美会をご紹介する趣旨で、本誌を作成いたしました。本誌を通じて、応援団の皆様の活動が広く知られるところとなり、今後より一層、各方面との連携が深まることを期待しております。

復帰六十周年から明けた平成二十六年は、国内外から奄美への注目度が高まる契機となる一年でありました。

大島高校野球部が「島から甲子園」の夢を実現した他、九州初・全国離島初のご当地ナンバー「奄美ナンバー」の交付、「奄美群島振興交付金」の創設やＬＣＣ就航による交流人口の拡大など、今後の世界自然遺産登録に向けて奄美に追い風が吹いている感がございます。

特集記事では、多くの皆様に新たな奄美の魅力、今の奄美に吹いている風を感じていただきたいと願っております。

本誌は、奄美を巣立ちゆく若者の道標としての役割を担うことも意図して制作されております。諸先輩方の長年に亘るご奮闘とご功績により、今の若者は奄美を誇れる時代を迎えております。全国で活躍する郷土の先輩方の生きざまに学び、時に応援団店舗に立ち寄り、郷里への思いを新たにしていただきたいと存じます。

今後も、奄美ふるさと１００人応援団の皆様が、奄美の観光ＰＲと特産品の販路拡大の推進に向けた一翼を担っていただくことをご期待申し上げごあいさつといたします。

シマの一年のはじまりは、「奄美大島紬を着る」これが奄美流！

「紬の日」実行委員会の会長である朝山市長から、「紬の日のつどい」にお集まりの皆さんにごあいさつ。

本場奄美大島紬協同組合山田理事長から、参加者への感謝と紬業界の復興に向けた力強いメッセージ。

幼い頃から島唄を通して人々を喜ばせ、成長してきた住姫乃・平田まりなの二人も、今春、ついに島を巣立ちます。

島唄・三味線・チヂンで盛り上げてくれる奄美高校郷土芸能部は、鹿児島県郷土芸能専門部発表大会で最優秀賞に輝きました！

老若男女を問わず、大島紬に袖を通せば、その美しさと着心地に人は必ず魅了されます。産地から紬着用の気運を盛り上げましょう。

皆でパレードしたあとは、島唄、六調で大盛り上がり。

紬の日
お正月
紬の日
成人式

やっぱり、奄美大島紬でショ～　ハイ　アマミ～

行進の前に全員で記念写真を撮影しました。ここまで紬姿が揃うのは、本場奄美大島紬産地でも年一回だけ。

奄美のお正月は、大島紬一色に染まります。

奄美市では、旧名瀬市時代の昭和五十三年に毎年一月五日を「紬の日」と定め、市民がこぞって紬を着用する「紬の日のつどい」を開催しています。

内容は盛りだくさんで、紬ファッションショーをはじめとするステージイベントや商店街を練り歩く紬大行進に多くの市民が集まります。

奄美市の成人式は、帰郷した新成人が参加しやすいようにと一月五日（住用町は三日）に開催されており、新成人の約四割が大島紬を着用して式典に参加しています。

最盛期には、地域住民の半分以上が大島紬製造に何かしら関わっていたとも言われます。昭和二十八年の日本復帰後、大島紬産業は奄美復興の中心的な担い手であり、全国的なブランド力は今でも奄美の誇りです。

紬の日に集う人々は、大島紬への感謝と振興を願う熱い思いを寄せ合います。

紬の日
お正月 紬の日 成人式

若さ溢れる紬姿。紬は正式なお点前には向かないと言われますが、本場奄美大島紬産地では積極的に紬着用の機会を設けています。

キョラムン姉さんも頑張ります。

奄美市職員による島おこし応援バンドも、業務に支障のないメンバーは紬姿でオンステージしました。

奄美型アンテナショップ「レンタル大島紬を開始」

本場奄美大島紬産地再生協議会（本場奄美大島紬協同組合・本場奄美大島紬販売協同組合・奄美市・龍郷町）はこのほど「奄美型アンテナショップ　ぐーんと奄美」中央区日本橋浜町という下町にて「２０１５慶春！本場奄美大島紬・産直大販売会」を実施しました。

本場奄美大島紬産地再生事業で製作した紬のレンタル事業を開始。東京でも屈指の着物が似合う町・日本橋で「粋な下町・江戸散歩を最上級の大島紬で」とＰＲ。ぐーんと奄美は、伊仙町出身の佐平仁志さんが経営する都内唯一の奄美物産店舗として昨年11月にオープンし、１００人応援団店舗に認定されました。今回の大島紬のイベントは、店舗の認知度アップも目的の一つとして、２日間に亘り本場奄美大島紬の厳選１００反を産地直販特価で販売ＰＲを行いました。

名瀬まち紬大行進

本場奄美大島紬を受け継ぐ人々

～本場奄美大島紬発祥の地～

自然界のモチーフから生まれた奄美大島紬の魅力に触れるには、奄美の人々の心豊かな暮らしに出逢うことでしょう。さあ、奄美大島紬の再発見の旅へ。

一世紀柄といわれる龍郷柄、秋名バラを生み出した匠たちは自然と共に寄り添い、伝統は親から子へと継承し、着姿も親から子へと受け継がれています。

2014
5.9,10
奄美黒糖焼酎の日
コクトーの日

コクトー 奄美の黒糖焼酎 せいどぉでい（DAY）

奄美の黒糖焼酎どぉDAY開催実行委員会
都内の応援団店舗にて同時開催　2014.5.9,10

5月9日と10日は、２００７年に鹿児島県酒造組合奄美支部により「黒糖焼酎の日」として制定され、国内外への黒糖焼酎の普及拡大を図っています。

黒糖焼酎は、復帰後の奄美群島の特別措置として、群島内でのみ生産が可能であり、独特の奄美香りを持ちながら糖分ゼロのヘルシーなお酒です。この特色ある奄美の黒糖焼酎について、東京及び関東圏でもっと情報発信し、黒糖焼酎の生産拡大につなげるため、本イベントを実施。

５月９日（金）と10日（土）に、奄美市１００人応援団の店舗において、奄美群島で製造される黒糖焼酎各メーカーの協賛等により、低額料金で販売しＰＲを行いました（各店舗独自企画にて実施希望）。

・アンケート調査を実施するとともに、焼酎メーカーが協賛したミニボトルを配布。

フェア協力店舗

ダイニングバー和（赤羽）、大吉（恵比寿）、土濱笑店（渋谷神泉）、いもーれ奄美（五反田）、がちま家（横浜、川崎他）、六調（渋谷道玄坂）、ほこらしゃ（中野）、友華（中野）、ゆらい処よりより（茅ケ崎）、焼き鳥 RYOMA（四ツ谷）、結い（神田）他

協賛メーカー

・㈱奄美大島にしかわ酒造
・奄美酒類㈱
・喜界島酒造㈱
・町田酒造㈱

今後は、奄美群島出身者の協力を得ながら、黒糖焼酎フェアの開催を検討していきます。

茅ヶ崎より。奄美黒糖焼酎の日を知っていただきました。

六調にてお客様達と記念撮影

川崎、横浜にある「がちま家」では親子呑み（純黒糖・黒糖いり豚味噌・黒糖焼酎）でいただきました。

開催実行委員会連絡先：奄美市東京事務所　所長　松原 昇司
TEL　03-3262-3480　FAX　03-3237-0235
Mail　tokyo@city.amami.lg.jp

2014
6.7
くっかる
繋がる奄美
横浜交流会

くっかる奄美　横浜交流会

横浜スタジアムにて奄美デー開催
横浜×奄美　島唄ライブ&
食&黒糖焼酎&1分スピーチ交流会

6月7日（土）に開催される横浜スタジアム「奄美デー」にあわせ、横浜のシンボルの横浜マリンタワーにて「100人応援団トップセールス会議」in横浜「繋がる奄美」と題して、横浜TOP会談×交流会が奄美ファン、企業関係者、行政機関など他方面の関係者にもご参加いただき開催されました。

【奄美ふるさと100人応援団トップセールス会議】
※100人応援団のみ参加
日程：平成26年6月7日（土）
会費：1000円（飲料付）
時間：10時～11時（※交流会前の1時間）

【くっかる奄美　横浜交流会】
会費：3000円
（アルコールを含むドリンク黒糖焼酎など洋食ブッフェ付）参加者＝奄美市副市長、商工観光部長、紬観光課長ほか奄美市100人応援団、奄美観光大使、郷友会、奄美ファンなど

奄美黒糖焼酎も勢揃いです。

東京奄美会の藤井さん

副町長によるご挨拶

参加者全員で記念撮影

特別ゲスト、里アンナさんの島唄ライブで会場は一気に南国・奄美の世界になりました。

東京奄美会前会長　佐藤持久さん（与論島出身）。ご挨拶と祝辞をいただきました。

来場者の皆さんに1分スピーチをお願いしました。バニラ・エアー㈱代表取締役社長　石井知祥さん

当日スタッフ：キョラムン応援団女子。受付業務や進行などなど協力してくださいました。

奄美ふるさと１００人応援団とは何ですか？どうしたら認定されるの？

発足の経緯は、熱い思い。

奄美群島の人口は、現在十二万人を下回っていますが、全世界の奄美出身者は二世・三世を含めると百万人を上回るとも言われております。多くの出身者の皆さんが成功を収められ、貴重な人材として各分野においてご活躍でいらっしゃいます。

また、豊かな自然や文化といった財産に恵まれている奄美にあっても、最たる宝の一つは、人と人とのつながりを守り育てる「結いの心」と言えます。功成し名を遂げられた後も、多くのご出身者から熱い郷土愛を寄せていただいております。

今後、島外に奄美をＰＲし地場産品の販路拡大を図るにあたり、この人的ネットワークを活かしたいとの考えから「奄美ふるさと１００人応援団」を発足するに至りました。

奄美ふるさと１００人応援団とは何ですか？

奄美市及び奄美群島出身者の方や奄美にゆかりのある皆さんの中から、日頃から奄美を売り出す分野でご活躍の方々を「奄美ふるさと１００人応援団」として認定させていただいております。

１００人応援団には、ご自身のネットワークや専門分野を活かして観光ＰＲと物産販売に取り組む「営業マン活動」と奄美の郷土料理店や特産品販売店などの「応援団店舗活動」の2種類の認定があります。

応援団の皆さんには、特産品の宣伝や販売促進への協力、奄美へのツアー企画などをお願いしています。

どうしたら応援団になれるの？

全国の奄美会等からのご推薦などを受けて、奄美市役所内の選定委員会により検討させていただく流れになります。選定にあたっては、これまでの活動実績や今後の協力体制などを慎重に検討させていただきます。

選定させていただいた後、物産展などに伴って奄美市が全国で展開しております「奄美の夕べ」などの機会に認定式を行います。

応援団に授与されるものは？何をするの？

全員に「奄美ふるさと１００人応援団」認定証を交付します。「営業マン」の皆さまには、応援団の名刺（増刷可）と大島紬の名刺入れ、「応援団店舗」には、店舗に飾っていただく銘板やのぼりの他名刺も差し上げております。

応援団の皆様には、この他、奄美市の広報紙など奄美に関する最新情報や地場商品等を随時提供させていただきます。

また、各地区の１００人応援団が集まり、奄美市長とのトップセールス会議も開催し、活動報告や意見交換の機会を持っております。

人々が繋がる取り組み

今年度から「まーじんネットワーク構築事業」を実施し、１００人応援団相互と全国の奄美会との連携を深め、対外的なＰＲ力の強化を図っております。この冊子も同事業の一環として制作されています。

今後も応援団の認定を進めつつ、点と点になりがちな各自の活動を連携して、奄美物産を売り出すけん引役としての力をつけていきたいと考えております。

奄美ふるさと100人応援団

認定式

今年の2015（平成27）年2月認定式

奄美ふるさと100人応援団認定者45名に拡大

2015年2月14日（土）、四ツ谷主婦会館にて認定式と懇親会「奄美の夕べ」が開催されました。会場には奄美出身者をはじめ、奄美ふるさと100人応援団の方々、東京奄美会の役員（名瀬会、笠利会、住用会他約50名以上）の方々が集まり、会場に用意された黒糖焼酎、豚味噌、魚味噌、味噌ピー、島らっきょなど島料理を堪能。もちろん歓迎の島唄や踊りで盛り上がり、島さながらの楽しい会が四谷でおこなわれました。

また、1月に行われた東京奄美会の新年総会、新年賀詞交歓会にて「世界自然遺産登録」への寄付を募る活動が行われ、集まった寄付金は東京奄美会・森会長より広域事務組合管理者の朝山市長へと会場にて手渡されました。世界自然遺産への関心の強さを感じました。

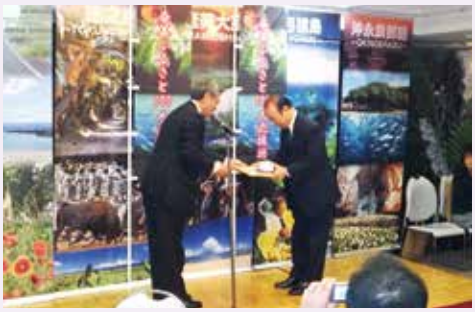
この新年総会では、新たに2名の方の認定式も行われました。

2015年2月認定式

奄美ふるさと100人応援団の経緯

正式名称	奄美ふるさと100人応援団認定式
現応援団数	45名
認定数累計	47名　※故人1，帰郷1。
平成 22 年度～ 23 年度	関東・中部・関西・福岡・鹿児島・沖縄の各地区郷友会会合にて担当者より概要説明を行い事業への協力を依頼した。（該当者の推薦等）
平成 24 年 2 月 18 日	関東地区 17 名認定。東武百貨店での鹿児島物産展に併せ、「奄美を楽しむ夕べ」を開催し、その席上で認定式を行った。
平成 24 年 3 月 11 日	関西地区 10 名認定。関西奄美会総会時に、関連として認定式を行った。
平成 24 年 7 月 14 日	関東地区 10 名認定。東武百貨店での奄美物産展に併せ、「奄美を楽しむ夕べ」を開催し、その席上にて認定式を行った。
平成 24 年 11 月 23 日	沖縄地区 1 名認定。沖縄離島フェア開催に併せ、「奄美を楽しむ夕べ」を開催し、その席上にて認定式を行った。
平成 25 年 2 月 1 日	福岡地区 1 名認定。奄美音楽祭 in 福岡開催に併せ、「飲むばい！黒糖焼酎」を開催し、その席上にて認定式を行った。
平成 25 年 3 月 9 日	中部地区 2 名認定。丸栄百貨店での鹿児島物産展に併せ、「奄美を楽しむ夕べ」を開催し、その席上にて認定式を行った。
平成 26 年 10 月 4 日	関西地区 3 名認定。せんちゅうパルでの奄美物産展に併せ、「奄美を楽しむ夕べ」を開催し、その席上にて認定式を行った。
平成 26 年 11 月 9 日	中部地区 1 名認定。中部奄美会総会時に、関連として認定式を行った。
平成 27 年 2 月 14 日	関東地区 2 名認定。人形町ぐーんと奄美でのトップセールスに併せ、「奄美を楽しむ夕べ」を開催し、その席上にて認定式を行った。

追悼
―加地隆雄の名は永遠に―


加地隆雄さんから認定式が始まりました（平成 24 年 2 月 18 日）

第1回目の認定式。奄美市調と認定者との記念撮影

横浜ベイスターズ球団社長・奄美ふるさと１００人応援団
加地隆雄さんが心室細動で２０１５年1月13日に74歳で逝去

この方の存在を忘れてはならない。奄美でのベイスターズ人気は彼の尽力なくしては語れません。

加地隆雄（かじ たかお）１９４０（昭和15）年11月23日、千葉県・富津市生まれ。１９６０年に定時制高校を卒業後、19歳で電通に入社。当時の人事部長から「学費は出すから大学へ入れ」と言われ、駒澤大学経済学部に入学し、大学に通いつつ横浜支社営業部で勤務し１９８５年より横浜支社次長になります。

東京本社にて営業局次長や営業統括局主幹を歴任し、１９９２年のバルセロナオリンピックのパナソニック世界統一キャンペーンなどを手がけます。１９９６年にＴＢＳテレビ「水戸黄門」などの制作を手がけるＣ・Ａ・Ｌの代表取締役に就任。黒澤明監督生誕１００年祭実行委員会特別顧問、日本アカデミー賞協会会員なども勤める輝かしい実績を残しました。

２００８年にＣＡＬを退社「加地コンサルティング株式会社」を設立。

翌２００９年10月、横浜ベイスターズ球団社長に就任。加地さんが電通横浜支社時代に築いた横浜財界の人脈や、ベイスターズの親会社であるＴＢＳとのパイプ役を期待され就任。横浜スタジアムでの試合ではライトスタンドでファンとの交流を深める姿が見られました。２０１１年12月、横浜ベイスターズの身売りが決まり、それに伴い、球団代表取締役社長を退任。横浜ＤｅＮＡベイスターズでは非役員の球団会長に就任。

奄美大島で行われるようになったベイスターズの春季キャンプは、奄美市と共に歩んだ加地さんの熱い思いがあったと思います。横浜 × 奄美が一層近くなり、外海離島の子供たちの夢に繋がりました。

昨年の3月25日。21世紀枠で出場した鹿児島県立大島高等学校が、甲子園で情熱をたぎらせ活躍できた背景には、野球人との交流がその追い風となったように感じてなりません。

山中「加地さんにとって奄美の繋がりで一番の印象は何ですか？ 奄美の何が好きですか？」生前、横浜・関内の小料理屋さんで飲みながら伺いました。

加地「奄美流の気さくなもてなし、海の青さ、魚釣りが楽しい。生け簀のように魚が集まってくる。島の人はみな優しいね」と、とても喜んでいらっしゃいました。奄美の自然、人との繋がりを心から大切に思っていらっしゃると感じました。横浜・日本を背景に活躍された加地さんは、奄美を愛していました。２０１５年お正月すぎ、落ち着いたら連絡をしよう、そろそろ奄美の為にもっと力になってもらおうと思い、加地さんに電話をかけようとした時、訃報が入りました。

横浜繋がり、飲み仲間、偶然にも奄美を応援する仲間という繋がりの共通点、急な訃報を知り本当に残念でなりません。加地隆雄さんの奄美への多大なる功績に深く感謝すると共に、心よりご冥福をお祈り申し上げます。

（奄美ふるさと１００人応援団　山中順子）

南海日日新聞社より
認定者の紹介が1面に掲載されました

奄美ふるさと 100 人応援団　Facebook グループで検索！

https://www.facebook.com/groups/amamiouendan/

「繋がる奄美」島のご縁をつなぐ情報ページです。

奄美に関連する全ての事、NEWS 記事、奄美群島の旅の思い出、私の育った島など。
特産品、新商品、開発過程などなどの情報もお寄せください。
奄美の和を繋ぐ総合情報 Facebook グループです。
（奄美ふるさと１００人応援団 Facebook 管理人より）

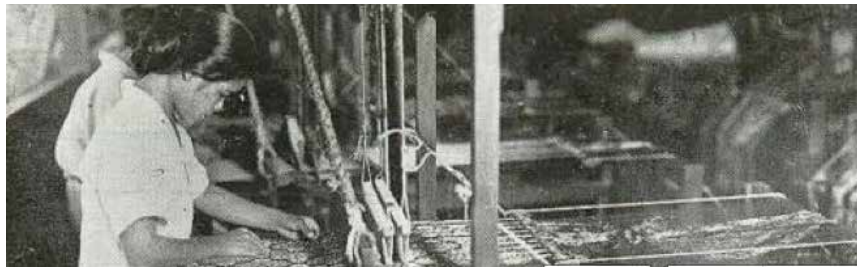
■奄美応援団メンバー規約 ■

奄美群島の事を知りたい、学びたい、出身者、２世３世の方。シマが大好き、島を愛する人、
島の事で何か協力したい、単純に奄美が好き、島で暮らしたいなどの方を
奄美応援団として歓迎します。
皆さんの熱い想いの参加をお待ちしております。
奄美群島の小さな情報でもかまいません、あなたも奄美応援団として参加ませんか？

自由に投稿してください。みなさんの力で一緒に発信しましょう！
まずは、一度訪問してみてください。

奄美大島紬を着る Facebook グループで検索！

https://www.facebook.com/groups/amamiooshimatumugi/



本場奄美大島紬 発祥の地　奄美群島の世界自然遺産登録応援！

奄美大島でうまれた大島紬の魅力を発信し共有したい！
大島紬を応援したいという想いからはじまりました。
「奄美大島紬」を愛する方々の総合情報 Facebook グループです。

●着モードカレッジ●
着方、見せ方、
写真の撮られ方、
美容講座、作る講座、
奄美の産地巡りも
開催予定。
おたのしみに。

奄美群島を世界自然遺産登録へ !!

奄美は世界自然遺産登録へ向かっています。
本場奄美大島紬を生んだ自然が世界に認められれば幸いです。
大島紬を着て、世界自然遺産登録を応援しましょう。
大島紬に関係するあらゆる情報提供をお待ちしております。
「大島紬を着る」イベントも各地で随時開催。
情報は Facebook イベントでお伝えします。

奄美ふるさと100人応援団 2015 名鑑

全国で活躍する奄美に縁のある人物
島と生き、島を繋ぐ応援団の素顔に迫ります

私たちは応援します。奄美を！

島料理で島の心を伝えたい

土濱あかり

［奄美琉球居酒屋　土濱笑店　店主］

●これまでの取組み・実績

高校卒業後、上京。1年間アルバイトで大学資金を貯め、東京農業大学醸造学科（短期）に入学。奨学金とアルバイトで生計を立てながら通う。在学中に飲食店経営を志し、卒業後は飲食店でアルバイトをしながらノウハウの習得・出店資金の貯金・実家への仕送りを始める。24歳で結婚し、一緒に目指してきた夫と共に2009年、29

出身地：奄美大島笠利町土盛
生年月日：昭和 11 年9月 30 日（満 77 歳）
現住所：千葉県柏市大井 808-6
TEL：04-7191-1589
FAX：04-7191-0835

●これまでの取組み・実績

昭和61年に㈱サカリを設立し、教育用地図や地球儀の出版・製作をしてきましたが、平成10年からは奄美特産品も取扱うようになり、現在もJA奄美の代理店として「かけろまきび酢」を全国に普及展開中。また奄美特産品の黒糖や、じょうひ餅、奄美かりんとう、もずく、アオサなどを関東地区を中心に大手スーパーや生協へ納品しています。

●生まれたシマに対する思い

奄美市笠利町土盛のさとうきび生産農家で生まれ、奄美の食文化の優秀さを身を持って体験しています。自然の宝庫から生まれた食文化を、都会の人に1人でも多く採用してもらう努力を続けてまいりたいと思っております。

●シマとつながるきっかけ

私は新聞配達をしながら予備校に通い中央大学に入学しましたが、その大学時代にお世話になったのが登山学生寮。奄美市出身の登山俊彦先生が私財を払い、奄美出身の学生たちに無料で部屋を提供するために建てたもので、この寮のお陰で私は社会人として活躍できました。恩師の奄美を思う気持ちを少しでも受け継いでいく気持ちで、今後も奄美島おこしの手伝いを続けてまいりたいと思います。

●夢への哲学

奄美の食材の中には、改良を加えれば都会へ出せる食材があります。スーパーなどへの導入条件を満たすべく現地メーカーを指導しながら、一品でも多く定番商品として販売してまいりたいと思います。

●今後の取り組み、予定など

弊社は全国菓子卸協同組合加盟社です。毎年7月に全国の大手菓子卸会社約20社が参加する展示商談会があり、弊社も奄美コーナーを設置しております。これからも毎年奄美特産品のPRを続けます。

●シマを出る子どもたちへのメッセージ

奄美の伝統文化と沖縄の伝統文化の違いをしっかりと身につけて、都会の方へPRしていただければと。また、内地の人に奄美大島の位置を聞くと、沖縄の離島の一部だと見ている人が多いので、地理的な位置についてもしっかり伝えていただければと思います。

歳で奄美琉球居酒屋「土濱笑店」を大学時代に出店しました。

シマへの取り組みとしては、1999～2001年の間で計4回奄美ツアーを実施（最多11名）。2009年に居酒屋をオープン。運営していく中で、できる範囲で奄美から仕入れを心がけ、主に近隣の方々に向けて奄美の良さをアピールしていけるよう邁進中。また、2013年には奄美市からいただいた復帰60周年の幟（のぼり）を店内に掲示。12月25日は復帰60周年記念のサービスを実施し、いらしたお客様へアピールしました。

●生まれたシマに対する思い

奄美で生まれ育ったことは、とても貴重で大切な財産だと感じています。育てて下さった方々の恩を無駄にしないよう立派でありたいと思うから頑張れるし、いつの間にか染みついた“島人魂”が私を強くさせている部分も大きいと思います。そして、いつでもそこにあって、帰ると癒してくれます。こんなに素敵な財産を仕事で活かせることは私にとってとても光栄なことです。

●夢への哲学

「最低10年」という、とりあえずの目標をまだ達成していないし、私は成功者とは言えませんが……。夢があれば、それを叶えるために何をすればよいかを考えて実行し、少しでもいいから着実に近づいていくこと。そして、そのことを周りの人に話すことが大事だと思っています。人に語れない夢は抱いていないのと同じだと思います。

●今後の取り組み、予定など

いらしたお客さまに奄美に関心を持って頂けるよう、きっかけづくりをする。小さなことだけど着実にやっていきたい。10周年を迎えた後は、もっといろんなことをしていけたらと思っています。

●シマを出る子どもたちへのメッセージ

田舎育ちによるハンディキャップで苦労をすることも多いと思うけど、負けん気を持ちながらも“謙虚に”頑張ってほしい。知らないことが多いぶん、人の倍吸収していく気持ちで。状況が困難であればあるほど強くなるチャンス!!　せっかくのチャンスを無駄にするのはもったいないことです。

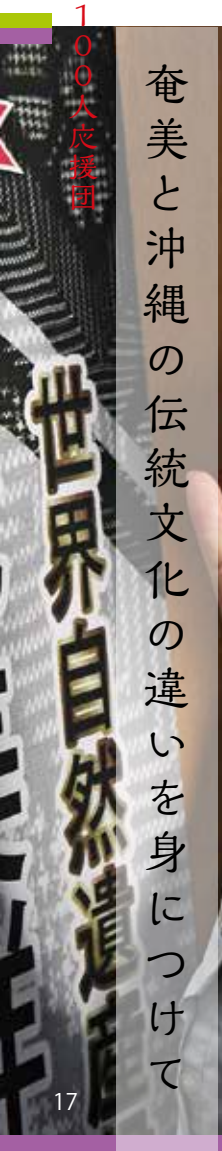
出身地：奄美大島笠利町土浜
生年月日：昭和 54 年 12 月 27 日（満 35 歳）
現住所：土濱笑店
東京都渋谷区神泉町 12-4 アーガス神泉ビル 2F
TEL：03-6416-1027
FAX：TEL に同じ
e-mail：tsuchihama.st@hop.ocn.ne.jp
HP：www.tsuchihama.com

店舗詳細は p81 へ

佐々木国雄

［株式会社サカリ代表取締役］

奄美と沖縄の伝統文化の違いを身につけて



島から外へ、外から島へ。シマを生きる。

山中順子

「奄美観光大使、写真家、トネヤ（株）代表」

●これまでの取組み・実績

モデル経験を生かし、96年から東京・横浜にてプロダクション・モデル養成所を設立。音楽イベントやテレビ、雑誌のキャスティング・

出身地：徳之島天城町天城
生年月日：昭和 11 年 3 月 3 日（満 79 歳）
現住所：居酒屋　大吉
渋谷区恵比寿西 1-7-11
TEL：03-3496-8904
FAX：03-3770-7790

店舗詳細は p81 へ

●これまでの取組み・実績

昭和29年、大島高校卒業後にシマを出て法政大学経済学部に入学、授業料は毎日新聞社などでアルバイトをしながら工面していました。大学卒業後はトヨタ自動車に10年間勤め、その後は独立して修理工場を経営した他、さまざまな仕事に就きました。そして「居酒屋大吉」を開業。店は今年で38年になります。その間、シマの子供達の自立のお手伝いをさせてもらいました。彼らが社会で活躍しているのはとても嬉しいことです。

15年前からは天城町の観光大使にも任命していただき、毎年3月には徳之島出身の柔道家、徳三宝氏の墓参りツアーを敢行したり、徳之島トライアスロン実行委員を務めるなど町とシマのＰＲをさせていただいています。

●生まれたシマに対する思い

以前、沖永良部出身の方に「徳之島の人たちはどうしてあんなに活気があるんですか」と言われました。“物ごとに燃える”“パワフル”というのは徳之島人の気質かもしれません。子は親の背中を見て育つと言いますが、子供を養うために毎日畑を懸命に耕す親の背中を見ていたから、徳之島の人々は「自分も頑張ろう」と自然に思えるのではないでしょうか。

●夢への哲学

私自身は「きばりよ！」つまり Fight！の一言でここまで生きてきて、気づいたら60年経っちゃった。知人に聞けば、一代で30年間飲食店を続けられる人の割合は、わずか3％だそう。私の店はシマの集まりの場でもあるので、今まで通り「儲けることより日々真面目に」の精神でもう少し続けていきたいと思います。

●今後の取り組み、予定など

徳之島「夢」振興会議に参加し、１００万本の花を植えてシマをフラワーアイランドにする運動や、空港にヤシやシュロの木を植えて、徳之島を日本のハワイにしようという徳之島空港植樹美化計画運動などに協力しています。シマがあっての我が人生。これからも、こうした報恩活動を続けていきたいですね。

●シマを出る子どもたちへのメッセージ

私は東京で人生を終えると思うけれど、故郷があるというのはやっ

製作会社を経営。以降00年からは本業を写真家として心機一転。現在は地域プロデューサー、講演、奄美イベントなど全国をまわる。奄美群島の１００歳「生神様との出逢い」で得た長寿の生命観や知恵、食文化、伝統を表現者としても発信し今年で15年。２０１４・７神秘の島　奄美の世界「１００歳の女神」対談「人生の輝き方」ゲスト鳥越俊太郎 × 山中順子@ファンケル銀座スクエアなど、２００４～２０１４年までドイツや国内外にて多数開催している。

●生まれたシマに対する思い

多様な文化、人が混ざり合う港町ヨコハマで生まれ育つ。異国文化と触れあい、人々と自然に交流するハマの自由さが沁み込んでいます。私にとって海の向こうはアメリカだった。20代アメリカ～アジアの生命力を感じジャーナリストとしての精神が芽生え、奄美にたどり着きました。

●シマとつながるきっかけ

「島にとって必要な人になる、順子さんにとっても島が大切な存在になる」と仕事仲間の「奄美人」が私に言い２０００年の夏口ケハン（視察）で奄美に行きました。ばしゃ山村の三月岩から神の子集落に入りカミミチに繋がってゆく浜で光と水の洗礼を受けた。「ここなのよ」という風の声に導かれシマと心身が繋がるきっかけとなった。長老に挨拶に行くと１００歳の生神様との出逢いがあり導かれ奄美群島の生命を撮り続けて「日本の宝・１００歳長寿の島」が私のライフワークとなりました。

●夢への哲学

出会いの一瞬に感じたものは、醸成された後にやがて『ああ、そうだったのか』と自身の内側に入ってきます。『後繋がり』です。おそらく、この積み重ねが夢への世界観となっていくのでしょう。夢は何ですか？ときかれたら「シマ（奄美群島）です」と答えます。

●シマを出る子どもたちへのメッセージ

環境が人をつくり育むとしたなら…大きく豊かな感受性を島人は持っています。離島だからできない、環境が悪いなど言い訳はきかない時代。人はどこにいてキャッチできる。夢なんてそう簡単に見つかる事ではありません『響いた事にまっすぐに』答えはあとからついてきます。

左：奄美群島の 100 歳の方々の生き様をとらえた写真集
下：ネリヤカナヤという精神世界を写真と文字で伝える、奄美ガイドブック。島尾敏雄「大島だより」全文掲載！

出身地：神奈川県横浜市
生年月日：昭和 45 年6月 27 日（満 45 歳）
トネヤ（株）日本伝承プロジェクト
＜本店＞製作・流通
231-0007　横浜市中区弁天通り 4-53 － 2　DOMON B1
TEL・FAX 050-3721-2388　メール sawan@d7.dion.ne.jp
＜東京オフィス＞企画・アートデザイン
141-0021　東京都品川区上大崎 2-13-32-603
TEL 03-5791-7156　FAX 03-5423-1537

奄美ふるさと１００人応援団

大吉平造

［居酒屋　大吉　店主］

「儲けることより日々真面目に」の精神で

ぱり心強いものです。皆さんも故郷と親、兄弟を大事にして下さい。それこそがシマンチュの心だと思います。全国各地には高校出身者の会や奄美会などさまざまな会がありますので、ぜひそうした会に参加して先輩にいろいろ教わって下さい。そうすれば自然と恩返しの気持ちが沸くと思いますよ。

松山晃久

［奄美ダイニングバーかんもうれ店主］

島料理で島文化を伝えていきたい

辛卿美

［居酒屋　結い］

奄美を第二のふるさとにしたい

●これまでの取組み・実績

丸4年、5年目に突入しましたが、開業以来変わらず続けていることは島の食文化、芸能そして島の良さを伝える事です（自分も研究し勉強しつつ）。あとは、南の島は沖縄だけでなく奄美群島という素晴らしい所もあるんだよ～と。こちらの方は沖縄と奄美を一緒と見る方がまだまだ沢山いるので、そういう方々に少しずつ伝えて理解してもらうことも続けております。

●生まれたシマに対する思い

生まれは尼崎なのですが、小学校1年から中学卒業までの約9年の島の生活のなかできびかせぎや、浜下り、盆牛なぐさみ（闘牛）など、いろいろな島のしきたりや行事、その時の経験が、今の自分の人生にすごく役立っていると言っても過言ではないくらい恩を感じております。その恩返しをなんとかできないかと日々思ってます。

●シマとつながるきっかけ

出身者というのはもちろん、今の自分があるのは島での生活があってのものだと思ってます。

●夢への哲学

目標をさだめ（明確にして）、1歩でも半歩でも日々前進、今できることを無理なくコツコツやり続ける。

●今後の取り組み、予定など

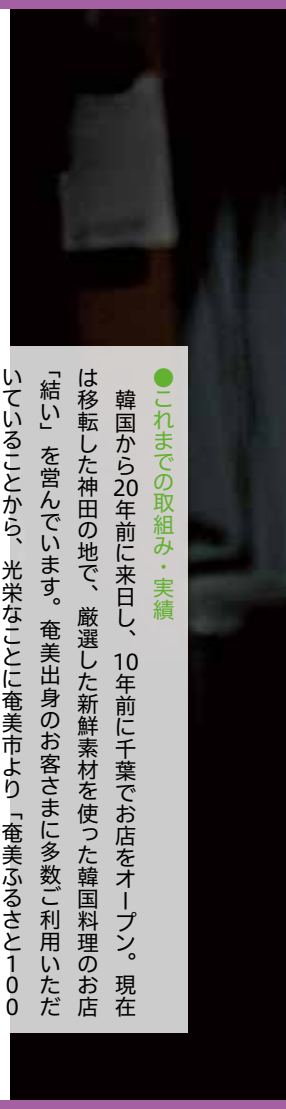
今後も変わらず島の食文化、芸能、島の良さをより多くの方々に知ってもらえるようにがんばっていきます。

●シマを出る子どもたちへのメッセージ

シマを出てこちらで努力して起業したり、その分野でトップクラスになった奄美群島出身の先輩方はたっくさんいます。そういう先輩方に甘えるのではなく1つの目標と見据えがんばってください！

出身地：徳之島天城町
生年月日：昭和 50 年 3 月 16 日
現住所：奄美ダイニングかんもうれ
台東区上野 5-18-2 御徒町第2ビル B1
TEL：03-5818-5567
FAX：電話に同じ

店舗詳細は p82 へ



店舗詳細は p82 へ

出身地：韓国天安
生年月日：昭和 38 年 11 月 16 日（満 51 歳）
現住所：東京都千代田区神田 多町 2-11-5
TEL&FAX：03-6206-9735
HP：http://kandayui.jimdo.com/

●これまでの取組み・実績

韓国から20年前に来日し、10年前に千葉でお店をオープン。現在は移転した神田の地で、厳選した新鮮素材を使った韓国料理のお店「結い」を営んでいます。奄美出身のお客さまに多数ご利用いただいていることから、光栄なことに奄美市より「奄美ふるさと100人応援団指定店舗」の称号を授かり、それ以来微力ながらも、ご来店の皆様に対して奄美の広告塔の一人として観光と物産の宣伝をさせていただいております。2012年と翌年の二度に渡りお店主催で「結い奄美大島満喫ツアー」を実施。また、黒糖焼酎を嗜みながら楽しく島を語る「ふるさと創生奄美未来塾」の会場にご利用いただくなど、イベントにもご協力させていただいております。

●生まれたシマに対する思い

以前、千葉でお店をやっているときに、奄美出身の方々が毎月定例会「ゆらおう（寄り集まりましょう）会」でお店を利用していただいたのが奄美と出会うきっかけです。2011年10月、神田に店を移転する際に、奄美の人がいつも大切にしている"絆"と"結い（助け合い）"の精神にあやかり、屋号を「結い」としました。

私自身もぜひ行ってみたいと思ったことからお店主催で奄美大島ツアーを実施しましたが、奄美の青い空、そして温かい人々の心に触れ、「奄美を第二のふるさとにしたい」と心の底から思いました。

●シマとつながるきっかけ

これからは奄美の島料理にも挑戦し、黒糖焼酎の売上拡大に少しでも貢献できればと考えております。お店のメインは韓国料理ですが、"韓国料理と奄美黒糖焼酎のコラボレーション"をいつまでも大事にしていきます。イベントについても、「今度のツアーはいつやるの？」というお客様からの問い合わせがあることから、ツアー旅行を始め奄美の観光にもお役に立てるようなイベントを企画していきたいと思っております。

●シマを出る子どもたちへのメッセージ

「結い」にはいつでも奄美の酒があり食があり、奄美出身の素敵な方たちも集まってくれています。ぜひ、心のよりどころにして下さい！

町田秀雄

［株式会社秀永　代表取締役］

神秘的な島・奄美は大好きな場所

出身地：東京都
生年月日：昭和 28 年 10 月 10 日（満 61 歳）
現住所：東京都文京区本駒込 6-24-6
TEL：03-3943-7626
e-mail：tnishikawa@work.odn.ne.jp

●これまでの取組み・実績

東京メトロ銀座駅にて常設臨時販売所を開設し、奄美大島特産品の販売をいたしました。また、同様に都内メトロ各駅で催事売店を出店、営業いたしました。その他にも毎年10月、文京区江戸川橋商店街にてイベント開催時に奄美大島物産展を出店、商店街活性化のお手伝いをさせていただいております。

●生まれたシマに対する思い

私は東京都杉並区出身ですが、奄美大島へのこれまで5回ほどうかがい、マングローブの原生林をはじめとする豊かな自然にすっかり惚れてしまいました。

●シマとつながるきっかけ

10数年前、100人応援団のお一人である、奄美大島出身の佐々木国雄様（16ページ）に奄美大島食材のご紹介をいただき、その魅力に大変感銘を受け、取り扱いのきっかけをいただいて今日に至っております。

●夢への哲学

子どもたちに夢を与える仕事につきたいとずっと思っていました。現在は学校教材の開発・出版および映像制作の会社に所属しており、この仕事を最後までやってゆきたいと思っています。

●今後の取り組み、予定など

各種イベント（臨時売店・商店街催事）への積極的参加を念頭に、奄美大島特産品販売と広報活動を継続していきたいと考えております。

●シマを出る子どもたちへのメッセージ

奄美大島の伝統文化を勉強し、他に類を見ない島の魅力をしっかり国内外へ情報発信してください。

●これまでの取組み・実績

1972年、明治大学商学部卒業後、株式会社日本香堂入社、営業畑、商品企画部など歴任。お香、お線香などにたずさわること38年、2008年12月に退社しました。

翌2009年1月に、株式会社秀永設立。

また2008年5月より、異業種交流「さつき会」を主宰。現在14社（すべて異業種）に至ります。

シマとの関わりとしては、2010年、大島紬ポケットティッシュ、念珠袋、寺院用教本入れ、ショルダーバグなどを販売。翌2011年、奄美物産ギフトを発売。2015年、加計呂麻島「きび酢黒糖」をオリジナルパッケージにて発売など。

●私にとって奄美とは？

自然がそのままで素晴らしいところだと思います。なんと言っても神秘的です。大好きな場所です。

●生まれた場所に対する思い

私は埼玉県出身ですが、奄美ほどではないにしろ自然に恵まれた土地で育ちました。そうした自分の土地を誇りに思いながら、育ててくれた親に感謝し、また隣人とのふれあいを大切にしていきたいと思います。

●夢への哲学

自分のことより「他人に喜んでもらえるお手伝い」が私のテーマです。利他の心を心がけ、これからも生きていこうと思います。

●今後の取り組み、予定など

「きびす黒糖」は1箱50g入りで、1梱100箱入りですが、年間10梱の定着を目指していきます。

出身地：埼玉県
生年月日：23年12月25日（満66歳）
住所：埼玉県朝霞市本町1−34−60−507
TEL: 048−483−5323
FAX: 048−483−5324
携帯：080−3349−4378
ホームページ：
e-mai：machida@e-shuei.com

奄美ふるさと100人応援団

西川俊夫

［全教出版　株式会社］

子どもたちに夢を与える仕事につきたい

永田トモエ

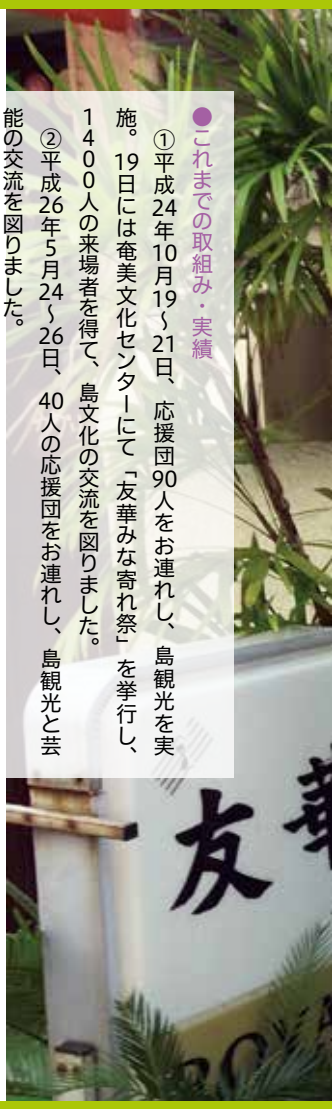
［スナック友華　店主］

島人の熱さと温かさを知ってもらいたい

前島伸一郎

［株式会社デンソーオート代表取締役］

俯瞰の目と同時に潮流を読む



●これまでの取組み・実績

①平成24年10月19～21日、応援団90人をお連れし、島観光を実施。19日には奄美文化センターにて「友華みな寄れ祭」を挙行し、1400人の来場者を得て、島文化の交流を図りました。

②平成26年5月24～26日、40人の応援団をお連れし、島観光と芸能の交流を図りました。

●生まれたシマに対する思い

青い海と空、マングローブを代表とする豊富な緑、豊かな自然に恵まれ、人に対して優しく、温かく、自分のことより他を優先する島の人間性に育まれたことを誇りに思います。独特な島唄は、島の風土と人の心を熱くし、勇気を与えてくれ、心の支えになっています。

●シマとつながるきっかけ

10代で上京し、寂しさに負けそうになったとき、同郷の人たちが励ましてくれました。島の人たちの出身者に対する温かさを知り、島の人たちの絆の強さを知りました。その熱い思いを支えに、周りの人（東京の人）たちに島の熱さを知ってもらう努力をしています。

●夢への哲学

歌が好きで、料理が好きで、島から受け継いだ人懐っこさで、カラオケスナックを開業して早20年。お客様に島料理をふるまっているうち、島の全てを、素晴らしさを知ってもらいたいということが夢となり、いま現実になっていることを実感しています。

●今後の取り組み、予定など

体の許す限り、島の自然、料理、島の人たちの素晴らしさを伝えていきたいです。毎年とはいかなくても、何年かに一度はお客様を中心に島へお連れしたい。いつまでも豊かな自然、人たちであってほしいと願っています。

●シマを出る子どもたちへのメッセージ

私が育った奄美大島の豊かな自然を大切に、風土が育んだ人を思いやる心と温かさを忘れず、奄美出身としての誇りと自信を持って欲しい。どこに行っても奄美は迎え入れてくれることを忘れないで欲しい……。

出身地：奄美大島名瀬
生年月日：昭和 21 年 10 月 24 日（満 67 歳）
現住所：東京都中野区中野 5-57-10
TEL：03-5380-8177
店舗詳細は p80 へ

出身地：奄美大島笠利町赤木名
生年月日：昭和 29 年1月5日（満 61 歳）
現住所：栃木県宇都宮市五代 3-5-42
TEL：028-688-3700
e-mail：maejima.s@donet.ne.jp

●これまでの取組み・実績

平成3年、栃木県宇都宮に車載機器の販売・取付等業務を行う株式会社デンソーオートを設立、現在は茨城、栃木県内にドコモショップ5店舗を展開しているほか、携帯電話の販売事業や広告代理店などを展開するDoNETグループの代表を務めています。事業における シマとの関わりとしては、ネット通販で奄美産の果物などを取り扱っています。また個人的には奄美大島の世界自然遺産登録推進のため奄美市に寄付をさせていただきました。

●生まれたシマに対する思い

18歳で福岡の専門学校へ通うためにシマを出て、19歳で働き始めてから41年間は栃木県。若い頃に出てきたので方言も話せませんが、シマに対する気持ちは持ち続けています。5年ほど前からは毎月帰るようになり、帰省するたびに癒されます。

●シマとつながるきっかけ

産地直送の無農薬農家の果物などを通信販売する「匠ウェブショップ」を開設し、奄美産のマンゴー、たんかん、ヤマ・シークニンなどを紹介・販売しています。また「自由に空を飛びたい」という長年の夢を叶えるべく、50歳の時にヘリコプターのライセンス取得にチャレンジ。平成23年に「奄美ヘリコプターサービス」を発足しました。

●夢への哲学

「俯瞰の目と同時に潮流を読む」

近視眼的なものの見方をしてしまうと、目先のことだけにとらわれてしまいがちです。成功するには常に全体を見て準備し、ヒト、モノ、カネだけでなく時代の流れを読むことが大切ではないでしょうか。もちろん、そのためには「一歩一歩の努力」が欠かせません。

●今後の取り組み、予定など

今後も謙虚に、時代を生きる。

●シマを出る子どもたちへのメッセージ

ひとつ、誰にも負けないものを持てるように、自信をつける。

シマで生きる人々のことを忘れずに

大槻ゆづる

［西陣織工業組合事務局長・西陣織会館館長］

●これまでの取組み・実績

18歳で島を出て京都外国語大学に進学。卒業後に西陣織工業組合に入り、専務理事となった現在も京都の地から和装文化、染織文化の振興に努めています。昭和40年ごろからは本場奄美大島紬の文化を守るための活動にも取り組み始めました。

西陣では昔から大島紬に合わせる帯を生産してきており、互いの縁は浅からぬものがあります。染織文化の世界で東の横綱が京都だとすれば、西の横綱は奄美。そんな和装の一大産地同士で連携していきたいとの思いから、西陣と奄美のコラボレーション事業を推進しています。

2013年11月には奄美群島日本復帰60周年を記念して、西陣織額やタペストリー、また本場奄美大島紬を使用した車いすを奄美市に寄贈。2014年2月には奄美市名瀬の紬会館で本場奄美大島紬業界関係者と懇談会を開き、和装文化の世界無形文化遺産登録などについて話し合うなど交流を深めました。

●生まれたシマに対する思い

島は、人生のすべて。生涯、万事島に学ぶ。

島は、オアシス、エネルギー。

島は「やさしさ」「人心」

●夢への哲学

人心。

●今後の取り組み、予定など

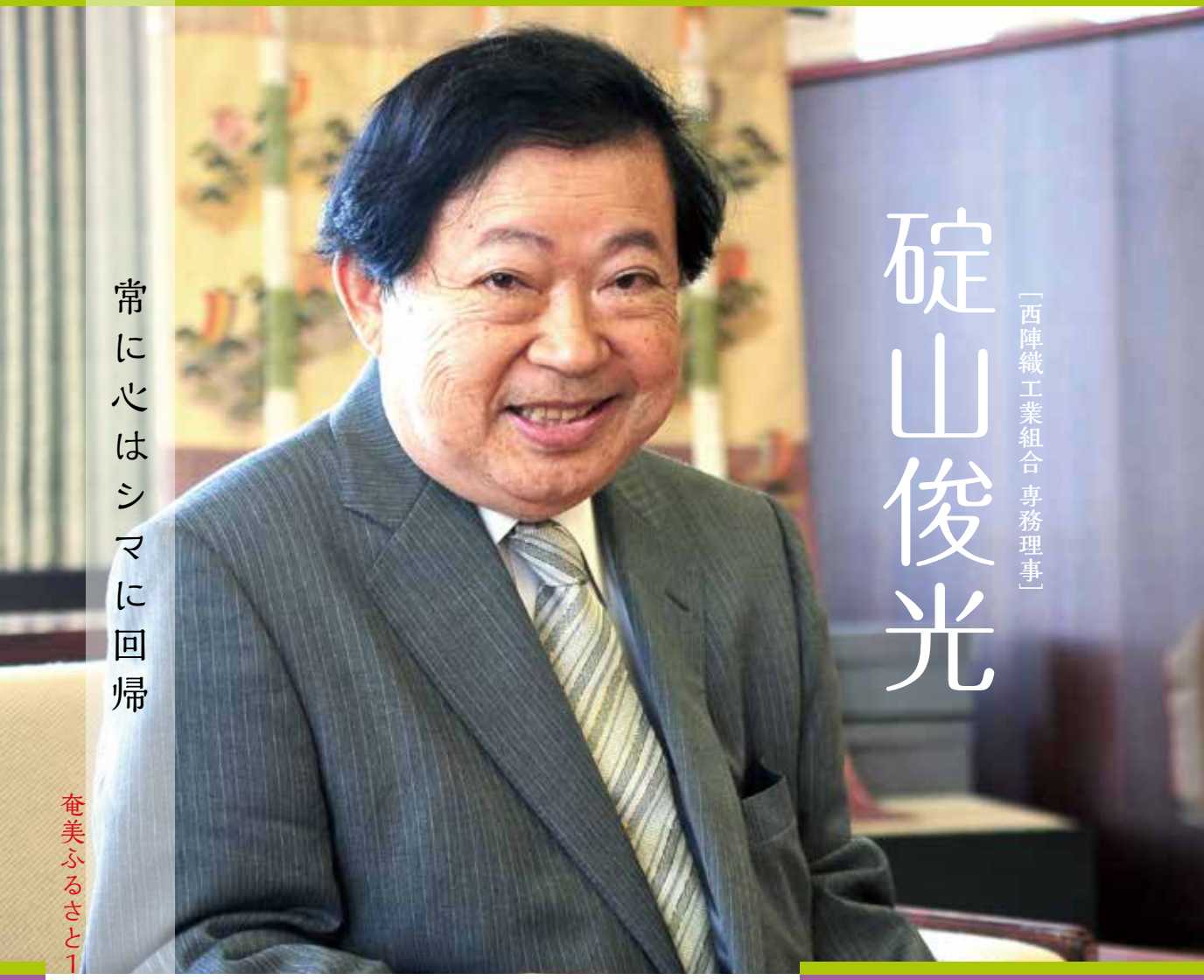
産業・観光・物産など多方面での振興。教育。シマウタ、シマグチの普及・伝承。シマの祭り復活と振興、そして伝承。さまざまな活動を通して奄美の郷土愛を伝えていきたいと思っています。

●シマを出る子どもたちへのメッセージ

常に心はシマに回帰。

常にシマグチ、シマ文化を忘れずに。

出身地：徳之島徳之島町山
生年月日：昭和 12 年3月3日（満 78 歳）
現住所：京都市上京区西堀川通元誓願寺上る竪門前町 414 番
TEL：075-432-6131
FAX：075-414-1521
e-mail：info@nishijinori-kaikan.ecnet.jp



碇山俊光

［西陣織工業組合 専務理事］

常に心はシマに回帰

奄美ふるさと100人応援団

出身地：京都府綾部市
生年月日：昭和 36 年8月3日（満 53 歳）
現住所：京都市上京区西堀川通元誓願寺上る竪門前町 414 番
TEL：075-451-9231
FAX：075-432-6156
e-mail：info@nishijinori-kaikan.ecnet.jp

●これまでの取組み・実績

学生時代から京都で暮らし、卒業後、西陣信用金庫での営業や人事、秘書などの職務を経て福祉の道に進み、ヘルパーをしながら専門学校に通い介護福祉士の資格を取得。福祉の仕事をしていた折、信金時代の知人を通じて西陣織工業組合の職員にとお声をかけていただき、西陣との縁を感じて2007年に転職を決めました。現在は組合の事務局長と西陣織会館館長を兼務し、西陣織文化の継承・普及とともに西陣と本場奄美大島紬のコラボレーション事業にも携わっています。

●生まれたシマに対する思い

生まれ故郷は、人格形成の原点。

●シマとつながるきっかけ

奄美との出会いは8年前の「奄美・西陣コラボレーション展」がきっかけです。その後、2011年8月には本場奄美大島紬のアンテナショップを西陣織会館内に開設。2012年11月には（財）奄美群島地域産業振興基金協会との共催で「本場奄美大島紬アカデミーIN徳之島～結・絆～」を開催し、西陣織とのコラボによる十二単の着付けショーや試着会も開催しました。また奄美モニターツアーなど、今後も奄美・西陣のコラボ事業を推進していく所存です。

●夢への哲学

あきらめない。

●今後の取り組み、予定など

本場奄美大島紬アカデミーを通じて、製作品の充実と人材育成を進めていきたいと思っています。また、お客様の待ち時間の長い空港での展示を充実させるなど、物産のさらなるPRに努めます。

●シマを出る子どもたちへのメッセージ

人は「家」や「故郷」から離れることで、その良さを再確認することができます。ご近所づきあいなど、常に身近な人との出会いと縁を大切にしながら、人と人、地域と地域のつながりに努めていただければ。そして、いつでもシマで生きる人々のことを忘れずに過ごしてほしいと願っています。

千秋芳子

［有限会社キャロットハウス21　代表］

「あきらめない」ということ

出身地：兵庫県尼崎市
生年月日：昭和 42 年 11 月 24 日（満 47 歳）
現住所：大阪市北区中津3－5－1　中津栄マンション 602
TEL：090-8829-1747

●これまでの取組み・実績

200人の方を集めた音楽コンサートや、島コン、バーベキュー大会などを開催してきました。

●生まれたシマに対する思い

私は兵庫県出身ですが、父は宇検村長柄、母は瀬戸内町篠川の出身。その意味では奄美の2世ということになります。専門学校時代に、寮に奄美出身の子がいたなど、場面、場面で島の子と出会ってきました。

私自身は20歳でダイビングを始め、奄美の海に潜った時に「この奄美こそが自分の原点」だと感じました。今では奄美大好き人間です。

●夢への哲学

何事も諦めずに続けること。

●今後の取り組み、予定など

島ファンをひとりでも多く増やしていくことです。そのために、今までやっていない楽しく、魅力的なイベントを考案中です！

●シマを出る子どもたちへのメッセージ

もし、島に戻ることがあったなら、「何もかも捨てて島に帰らないでほしい」というのが私の切なる願いです。今までのキャリアを捨てて島に帰るのではなく、その培ったキャリアを島で活かしてほしいですし、島にいても頑張れる環境づくりをしてほしい。

私自身は島で生まれていませんが、島出身の若い子たちには都会と島を自由に行き来できる、そんな未来を作ってほしいのです。ネットが普及している今なら、自分の可能性を島から広げていくこともきっとできると思うのです。

●これまでの取組み・実績

6歳のころから日本舞踊を習い、10代からモデル活動をしておりましたが、着物コンテストで「準ミスきもの」に選ばれたことがきっかけとなり着物振興の活動を始めました。

京都に活動拠点を移した後、着物ショーに出演させていただいたことから西陣織会館での「きものショー」に関わり、現在はプロデューサーとして着物選びから演出、モデル指導まで携わっています。「きものショー」は1回15分のショーを1日7回、来館者に無料で公開するもので、天皇皇后両陛下を始め国内外の賓客に見ていただく機会も多く、海外公演を手掛けたこともありました。一人でも多くの方に「着ても見ても美しい」着物の良さをPRしていきたいとの思いから、40年以上このショーのプロデュースを続けております。

また1984年にはショーの企画運営会社「キャロットハウス21」を設立、社長に就任し、ヘアメイクアーティストの娘とさまざまなショーの運営、プロデュース、ウォーキング指導などもしています。

●シマとつながるきっかけ

「奄美・西陣コラボレーション展」の一環として開催されるきものショーで演出を手掛けたことから、本場奄美大島紬の文化継承、普及などにも関わるようになりました。

●夢への哲学

「あきらめない」ということ。どんなにつらいことがあっても絶対に後ろを向かず、前だけを向き文句を言わないこと、そして楽しいことを考えるように努めること。人が作ってくれたレールにでも乗っていく逞しさも時には必要です。

●今後の取り組み、予定など

仕事を通じて本場奄美大島紬普及に努めるのはもちろん、自然の恵み豊かな奄美物産の普及にも携わっていければと思っています。

●シマを出る子どもたちへのメッセージ

どこに生まれ育ったとしても、その中だけで生きていたら本当の良さにはなかなか気づけません。生まれ育った場所が一番だと分かるためにもどんどん外に出ていくべき。でも、「戻る場所」であるシマのことはいつも心のどこかで思っていて下さい。

出身地：京都府京都市上京区
生年月日：昭和22年5月23日（満67歳）
現住所：京都市上京区西堀川通元誓願寺上る竪門前町414番
TEL：075-451-9231
FAX：075-432-6156
e-mail：info@nishijinori-kaikan.ecnet.jp

奄美ふるさと100人応援団

川島真司

［奄美大好き応援団］

島ファンをひとりでも多く増やしていく

萩原きよみ

［歌い手 関西奄美会広報部長］

奄美を誇りに想い、前進あるのみ！

津田浩克

［あすなろ法律事務所］

「石を穿（うが）つ意志」が夢を実現させる

●これまでの取組み・実績

幼少時代はガキ大将でしたが、小学6年生の時の作文にはなぜか「弁護士になる」と書いていました。自分でも未だにその“変身”の理由が分かりませんが、大島高校卒業後に立命館大学の法学部に進学、卒業後は定時制高校の臨時職員などのアルバイトをしながら

●シマを出てから今日までのこと

名瀬中学を卒業して鹿児島に上り、専門学校に通いました。家庭の事情で17歳で大阪に出て来て早30余年！

島の事には全く興味がなく、出身は？と問われると「九州です」というのが日常でした。それが10年ほど前に、島の同窓生に誘われて手伝った郷土会のイベントがきっかけになり、島の事に興味が出てきたのです。島の文化や島唄など少しずつ理解できるようになり、三線・島太鼓・はと笛も我流ですができる様になりました。

約7年前、島唄の唄者のサポートをさせてもらったのを機に島唄に興味を持ち、少しですが島唄も唄えるようにもなりました。

縁あって、5年前より名瀬中学校の先輩「大野　正喜さん」とユニットを組み、奄美アコースティックユニット「Nana」として唄の活動もしています。

『大人菊の丘』（別名　特攻花）大野　正喜　作詞・作曲
『デイゴの花』（元ふきのとう）山木　康世　作詞・作曲
が代表曲です。

現在私は、大阪の吹田市在住、相方の大野さんは奄美市在住（名瀬でギター専門 店経営）ですが、Nana として奄美や他府県の幼稚園・保育園・小学校・老人ホーム等への訪問を続 けています。

※私の家族構成は、奄美出身の主人（同級生）と子供3人、孫2人、犬が1匹です。

●これまでの取組み

奄美出身だと言いながら、殆ど島のことを知りませんでしたので、可能な限り各 郷土会に参加してお手伝いをしていました。どの郷土会にも若者の参加が少ないため、島出身の若者や二世が集えるようなイベント企画や、奄美のＰＲイベントのお手伝いもしていました。

※ボーリング大会・合コン（きゅらむんパーティ）・音楽際・タケノコ狩り・バザー等々

●これからの取組み

此れまでの主な活動である、奄美をＰＲするイベントや郷土会のお手伝いも出来る限り続けていきたいです。

出身地：奄美大島瀬戸内町古仁屋生れ、名瀬育ち
生年月日：昭和 39 年 3 月 3 日（満 51 歳）
現住所 ：大阪府吹田市佐竹台 2-4-6-705
※関西奄美会広報部長

出身地：奄美大島宇検村
生年月日：昭和 30 年5月9日（満 59 歳）
現住所：あすなろ法律事務所
大阪府大阪市中央区南本町1丁目4番 10 号
TEL：06-6268-5070
FAX：06-6268-5071
e-mail：tsuda@asunaro-l.gr.jp

勉強を続け、6年ほどかかって司法試験に合格しました。現在は大阪にある「あすなろ法律事務所」の代表社員として、中小企業の経営改革支援や事業再生、事業承継といった法廷外業務を主に行っています。弁護士になって丸28年です。

●シマを出る子どもたちへのメッセージ

それぞれの前途が、未来が、実り豊かなものであれかしと祈りつつ、高校卒業後島を出て、以来島と本土を行き来しながら暮らしている先輩の一人としてエールを贈らせて欲しい。時の経過は、今となっては若い時に想像していた以上に速い。まさに光陰矢のごとしだ。

島を出るとき、それぞれに前景化する問いは、「自分の途を見つける」というテーマだと思う。身の内から湧き上がってくる志を見据えて日々精進し、夢を実現する人もいるだろう。自分が成し遂げるべきことが明確な人は、ぶれずに道を究めて欲しい。先人は、「石の上にも三年」などと言い伝えてきたけれど、「石を穿つ意志」が夢を実現させるのだと思う。他方、「自分が何をしたいのかよくわからない」ことが悩みだという人もいるに違いない。それでも落ち込むことはない。大切なことは、自分の足場を固め、親や他者に依存せずに、自分の食い扶持を自らの手で稼ぎ出して自立することだから。目の前の課題に取り組みつつ、それなりの時期に自立すること、これはおろそかにしてはいけないと思う。自立の過程で、「これでいいのか？」と自問することもあるだろう。そんな時に、思い出して欲しいことがある。人は自分が何者であるかを自問するけれども、答えの多くは「鏡としての他者」を通じて得られるということ。他者のなかでも、自らにとって「師匠」と呼べる人に出会えるかどうか、これはとても重要だ。誰かが、「君は今日から私の弟子だ。」などと言ってくれることはない。師弟の関係は、「弟子たる私」が「この人のようになりたい。」、「この人の全てを吸収したい。」と切望するところから始まる。弟子が師を名指しするのだ。公然とあるいは密かに。世間で言われている「出会い」の大切は、実は「鏡としての他者」に出会うこと、「師」に出会うことなのだと思う。

健康に留意し、日々を楽しみつつ、それぞれにとっての「修行時代」を送って欲しい。健闘を祈る。

●シマを出てから今日までのこと

生まれは神戸ですが、両親が徳之島・亀津出身であることから私も1歳から13歳まで亀津で過ごし、その後、京都・東山に転居しました。

京都の平安高校を卒業後、夜間の設計学校に入り、24歳で正栄工業に。現在は同社の代表取締役をしています。同社では食品関連ボトルコンベア・コンベアシステム、及び一般産業機械の設計・製作・据付工事を扱っております。

●これまでの取組み・実績

現在は「奄美ふるさと100人応援団」の一人として、また「一般社団法人 徳之島」理事の一人として、次の活動を社団法人の理事・スタッフの皆様と共にいたしております。

おもな活動としましては、郷里・徳之島の民間業者、農家の皆様が製造、栽培した黒糖焼酎や過日、海産物などの特産品を仕入れ、JR尼崎駅そばのスーパー店内にて販売しています。こうした商品や大島紬の商品などは、折々の物産展でも販売し、好評をいただいております。

●生まれたシマに対する想い

仕事上、故郷とは接点がなかったのですが、「一般社団法人徳之島」や100人応援団の活動などもきっかけとなり、今では年に一度シマに帰っています。思い返せば、シマで友人たちと過ごした時間、彼らへの想いが、私をシマへ帰らせたのではないかと考えます。

●夢への哲学

一所懸命、働いて生きること。ひとつは自分の人生のもの、もうひとつは家族のものという気持ちを持って、「人の倍働く」ことを常に肝に銘じてきました。

人間に年齢はなし。生涯現役で仕事も、シマのための活動も行っていきたいと思います。

●シマを出る子どもたちへのメッセージ

大切な“感性”をゲーム感覚で片づけないでほしいと願います。ともすれば欠けてしまいがちな「弱きを助ける」という心を忘れずに、友達や仲間を守ること、そして心のつながりを大切に生きて下さい。

出身地：徳之島徳之島町亀津
生年月日：昭和 21 年 3 月 12 日（満 69 歳）
現住所：有限会社 正栄工業
兵庫県尼崎市久々知 2-26-6
TEL：06-6491-5930
FAX：06-6491-7717
HP：http://www.shoei-kogyo.jp

山元大安一

「エラブ百合を咲かそう広げよう友の会」

仲間を作ること！

國元正俊

［一般社団法人　徳之島　理事］

一所懸命、働いて生きること

奄美ふるさと100人応援団

出身地：沖永良部島知名町
生年月日：昭和 34 年 4 月 10 日（満 56 歳）
現住所：兵庫県尼崎市大庄中通 2 丁目 32-2
TEL：090-8579-9004

●これまでの取組み・実績

兵庫県尼崎市の阪神尼崎駅前広場では、毎年6月に「エラブ百合を咲かそう広げよう友の会」主催による「エラブ百合まつり」が開かれます。この会は、阪神・淡路大震災の時に自宅が全壊した知名町出身の山本奈津子会長が、復興を支えてくれた人にお礼としてエラブユリの球根を贈ったことがきっかけで結成され、私も世話人として微力ながらお手伝いしています。

昨年12回目を迎えたこのイベントでは、会員が育てたユリの切り花約千本を来場者に配るほか、奄美出身者らによる踊りや歌も披露され、島のPRにも一役買っています。東日本大震災の後には、被災地のための募金活動もさせていただきました。

●シマとつながるきっかけ

「エラブ百合まつり」のほか、2008年1月には自宅を改装したスペースで「ギャラリーまるごと薩摩路」をオープンしました。運営は奄美出身者らで作る「関西奄美二木会」で行い、大河ドラマ『篤姫』や鹿児島の観光PRポスター、サンゴ礁や砂浜の写真などの展示を通じて、奄美をはじめ鹿児島の魅力を伝えています。

奄美への理解を深めてもらう場として、また奄美出身者同士の心をつなぐ場として、このスペースを活かしていければと思っております。

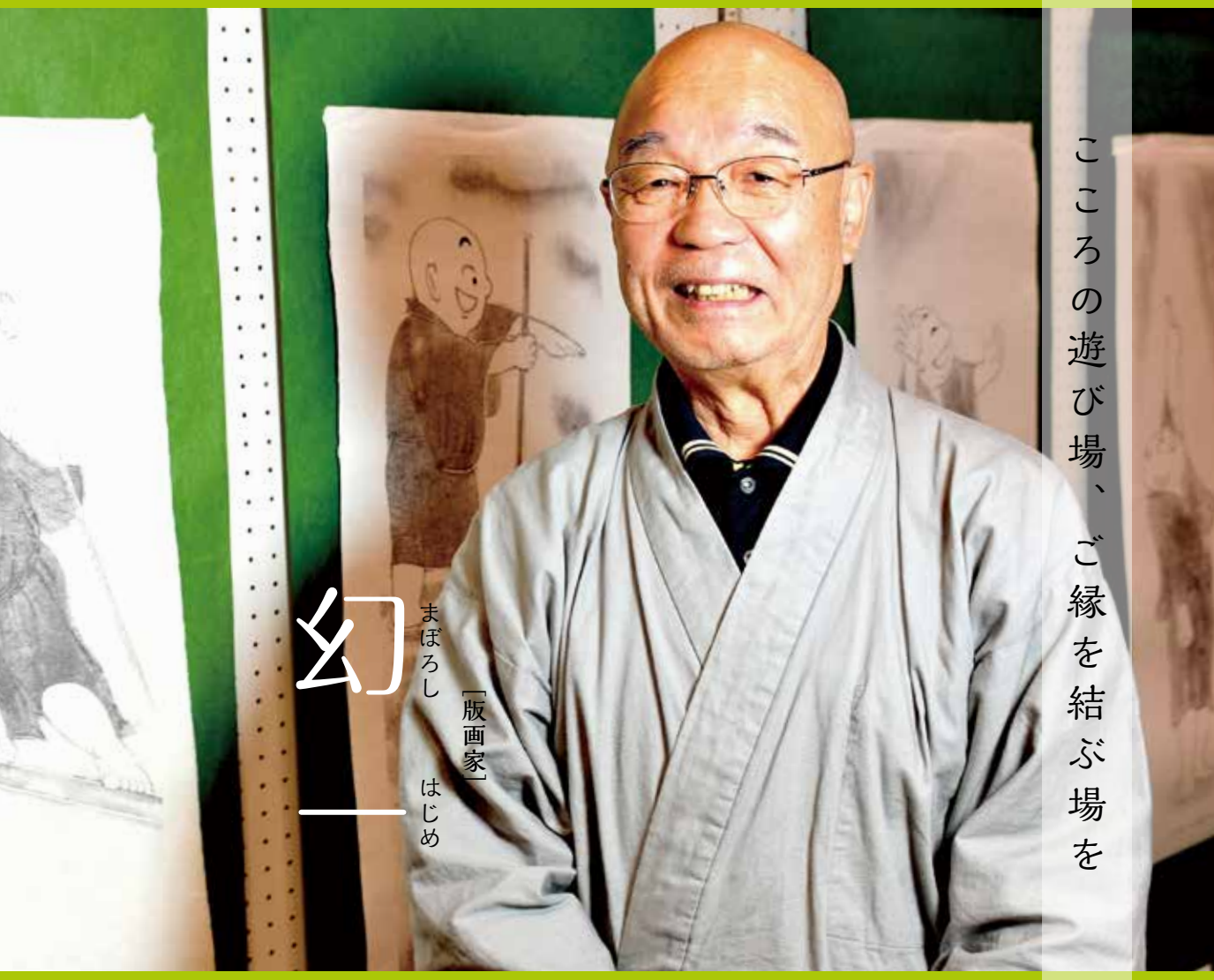
●夢への哲学

「両方とも立つ」

人を立てれば、後で自分が立つ。

●シマを出る子どもたちへのメッセージ

人間は一人では何もできない。仲間を作ること！



こころの遊び場、ご縁を結ぶ場を

幻

［版画家］

まぼろし　はじめ

本当にやりたい夢を持つこと。必ず実現できる

松本信雄

［NPO法人 奄美青少年支援センター「ゆずり葉の郷」顧問］

●これまでの取組み・実績

１９４２年に京都市で生まれ、15歳から絵描きを目指すようになりました。１９７９年から〝人々の喜怒哀楽のこころ〟を描く「五百羅漢」をテーマに木版画で制作を始め、19年間で５００羅漢全像作品が完成。「五百羅漢完成記念全国巡回展」開催を皮切りに、全国各地、世界各地を巡り、展覧会や講演会、版画講座などを開きながら、版画芸術を通して人々の交流の場や楽しむ場を提供する「こころの森美術館」建設を呼びかけてまいりました。他方、１９９１年には京都・大本山南禅寺派 宗雲寺にて得度し、禅僧に。画業は50年、禅僧としての道も20年を超えることができたのも、出逢った方々、支えていただいた方々のお陰とただ感謝するばかりです。

●シマとつながるきっかけ

私の父は東北大学の前身校の一つである旧制二高の出身ですが、十数年前、名瀬でたまたま知り合った内科医の先生が旧制二高出身、しかも父と同学年とのことでした。その方のご両親が奄美出身であることから、「奄美で展覧会をされませんか？」とお声をかけて頂き、以降毎年奄美で展覧会をさせて頂いております。７年前には「奄美まぼろし会」の発足、また6年前には奄美観光大使に任命され、第二の故郷のようにご縁を結んで頂いています。

●今後の取り組み、予定など

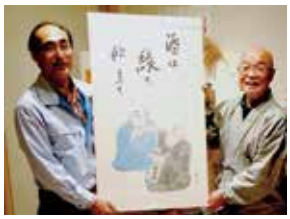
私が館長をしております「こころの森美術館」の国際版画展ツアーは、経済一辺倒の世界から脱却して、老若男女、障害の有無、人種、宗教や国を越え、いろいろな人々が「こころの森美術館」を中心に、共に出会い、語り合い、働き、憩い、癒され、愉しみ、喜び、笑顔で生き生きとできる、こころの遊びの場、ご縁を結ぶ場を提供したいとの願いから、国内外を巡っています。今後とも展覧会や講座、教室などを通じてたくさんの人に出逢い、「こころ」を描き、表現していきたいと思っております。また、第二の故郷である奄美にも美術館を作りたいという長年の夢もあります。

●シマを出る子どもたちへのメッセージ

人とのご縁を大切に

人生楽しく！　笑顔百薬！

京丹後にて、作品展



出身地：京都府京都市
生年月日：昭和 17 年 10 月 25 日（満 72 歳）
現住所：京丹後市網野町網野町浅茂川 462-1
TEL：0772-72-5686

奄美ふるさと１００人応援団

出身地：東京都田端
生年月日：昭和 24 年3月7日　（満 66 歳）
現住所：千葉県松戸市岩瀬 433-14
株式会社メタック　TEL.03-5284-5577
東京都足立区千住 1-4-1 東京芸術センター 1708
TEL&FAX：047-366-0019
e-maile：nm49away @metac.co.jp
HP：www.biography.jp

●これまでの取組み・実績

日本大学生産工学部管理工学科卒業後、商社を経て１９７９年、30歳でメタック産業株式会社設立しましたが、60歳になった年、何回目かの人生を始めたいと、30年間続けた文具ＯＥＭ事業の清算を決意。今までのビジネスとはまったく違う、日の当たらない人たちを応援する仕事をしたいと、カウンセラー、バイオグラフィ（自分史）作家の道へ。２０１１年、講談社より『結いの島のフリムン』出版。同年、奄美大島観光物産協会委嘱の第１２８代奄美観光大使に就任。２０１３年にはＮＰＯ法人 奄美青少年支援センター「ゆずり葉の郷」顧問に就任、現在に至ります。

●シマとつながるきっかけ

３年前に勉強会仲間のご縁で初めて奄美大島を訪問して以来、どこまでも澄み渡る碧い海と空に魅かれ、そこで触れ合う人々の人情の良さにさらに魅かれて気がついたら、奄美を大好きになっていました。そこで不思議なご縁で知り合った、本物の人生を歩む三浦一広氏に出会い、「彼を世に紹介しなければいけない」という使命感に駆られて『結いの島のフリムン』出版に至りました。こうしたご縁から奄美観光大使を委嘱され、大変光栄に思っております。

●夢への哲学

本当にやりたい夢を持つこと。必ず実現できる。

●今後の取り組み、予定など

三浦一広氏が率いる「ゆずり葉の郷」の活動をさらに発展させ、全国の荒れた少年少女たちの「奄美青年自然学園」を奄美に設立し、全国へ紹介する。

●シマを出る子どもたちへのメッセージ

人間はそれぞれ、苦しさを忘れて自分が熱中できるものを生まれながらに持っている。これは人によって全く異なるが、他人がどう思うかは関係なく、早くそれを見つけること。他人と何かを比べると不幸になる。幸せは自分の基準で目標に向かって努力すること。

横溝三郎

［1964年東京オリンピック日本代表］

「辛抱」の二文字を思い出して

●これまでの取組み・実績

パナソニック女子陸上競技部監督時代、毎年奄美に合宿していたご縁から、2007年に奄美大島観光大使に任命していただきました。

出身地：徳之島徳之島町山
生年月日：昭和 30 年 10 月 20 日（満 59 歳）
現住所：㈱ユニワークス
神奈川県横浜市金沢区東朝比奈 3-23-1
TEL：045-788-0773
FAX：045-788-2447
e-mail：hirata@uny-works.co.jp

店舗詳細は p81 へ

●これまでの取組み・実績

昭和49年に大島工業高校を卒業、川崎のＮＥＣに入社。料理を学びたくなり、夜間の専門学校で料理の基本を修めて昭和52年、料理の道に転職。昭和58年、自分の店を持ちたい、造るなら自分で設計した店をとの気持ちが強くなり、働きながらインテリアデザインの専門学校で2年間学び、卒業後、店舗設計の会社に勤める。平成９年に店舗設計施工の現在の会社を起業、平成14年に奄美沖縄料理の居酒屋「がちま家」１号店を川崎に開店し、現在は４店舗運営。内装工事はファストフード店（ケンタッキー）を中心に施工し現在に至る。

●生まれたシマに対する思い

帰れるふるさとがあるのは、気持ちに余裕が生まれる気がする。日常の生活の中でも、心のすみに島に対する思いが島人はあると思う。島に帰ったら、親戚友人が集まって来る。帰って来たと実感する時間です。そんな島や郷里を時の流れにただ流されて見ているのは寂しく思う。なにか出来ないか知恵を出し合う必要があると思う。

●シマとつながるきっかけ

居酒屋を始めて島の食材を取り寄せたことで島に対する思いが大きくなりました。もっと食材の開拓をしてメニューに活かしたい。島の食材はほとんどが採れる時期で終わってしまうのでお店で扱う事が難しい。年中、同じ食材が提供できればもっと増やせると感じる。

●夢への哲学

哲学は無いが、何事もスタートは基礎から。基礎がしっかりしていたら応用の幅がいくらでも広がるので、基礎が重要と思っています。私は別の仕事にチャレンジをする度、基礎を勉強してからスタートをしました。基礎を知っていればそれに対する自信が生まれてきます。基礎を勉強したことは今日良かったと思っています。

●今後の取り組み、予定など

沖縄出身のスタッフはいるが奄美出身のスタッフが残念ながらいません。島出身のスタッフを採用して、島口や島歌の飛び交う雰囲気の店にして、奄美のＰＲをしたいと思います。もっと店を展開していきたいので、興味のある方は是非一緒に島をＰＲしましょう。

●シマを出る子どもたちへのメッセージ

現在は東京国際大学駅伝部の総監督を務めていますが、大会や合宿、出張先での折々に奄美のパンフを配布したり、奄美の良さをPRしています。また、2013年には「奄美群島復帰60周年記念事業」のメインイベントである「奄美ファンサミット」で、スポーツ分科会のコーディネーターを務めさせていただきました。

●生まれたシマに対する思い

島人の方々の人の良さと、外からの者を受け入れてくれる優しさには、いつも感謝しています。海が大好きな私にとっては、白浜海岸など奄美の美しい海も大きな魅力のひとつです。

●シマとつながるきっかけ

最初のシマとのつながりは偶然でした。高校3年生のとき、全国高校総体の1500m、5000mの2種目で優勝したことから沖縄での選抜合宿に呼ばれたのですが、向かう船が台風に遭い、急きょ名瀬港に避難し名瀬で一泊したのです。その後、平成元年からはパナソニック監督として選手を引き連れ、毎年のようにホテルビッグマリン奄美に宿泊しながら強化合宿を行っていました。

●夢への哲学

2020年の東京オリンピックを迎えることが今の一番の夢です。前回の東京オリンピックで3000m障害の日本代表として出場した私にとって、人生で2度のオリンピックが経験できることは何よりの喜びです。その日を迎えるまで、奄美のために私なりにできることをやっていきたいと思います。

●今後の取り組み、予定など

私は生まれも育ちも横浜ですので、神奈川県またはその近県にいらっしゃる奄美出身の方々と交流ができればと思っています。

●シマを出る子どもたちへのメッセージ

私も長い陸上競技人生のなかでたくさんの人と出会い、交流を深めていくなかで成長させていただきました。みなさんもできるだけ多くの方々と交流し、人生を豊かなものにしてほしいと願います。また、これから先には困難や苦労も待っているかもしれません。そんなときはどうか諦めたり投げ出したりせず「辛抱」の二文字を思い出してください。

出身地：神奈川県横浜市
生年月日：昭和14年12月9日（満75歳）
現住所：神奈川県横浜市南区永田北1-17-12
TEL：090-5302-6752　045-712-1863
日本の陸上競技・五輪選手
1964年東京オリンピック・陸上3000m障害日本代表
陸上競技テレビ解説者
陸上競技指導者。駅伝指導者
現在は東京国際大学駅伝部総監督

奄美ふるさと100人応援団

平田 修

［奄美沖縄料理・居酒屋がちま屋　代表］

何事もスタートは基礎から

島に居ても色々な情報が検索できる現在ですが、島を出ると知らない人との付き合いになります。色々な人にめぐりあいます。付き合う人によって自分の人生は極端に変わります。付き合う人を選ぶ目を養って下さい。いつでも島の友人や同級生とは連絡を取り合って大切にしてください。何事も素直さがどんな仕事をしても役立ちます。素直になることは難しい場も出てきます。そういう時に思い出してみてください。素直な心を忘れずに頑張ってください。

●これまでの取組み・実績

中学・高校時代は県大会で優勝するなど柔道に打ち込んでいましたが、19歳で脊髄分離症になり1年間の寝たきり生活を余儀なくされました。医者からも見放され、「自分で何とかするしかない」と一念発起。ボディビルと出会ってからは、全日本ボディビルコンテストで25回連続入賞などボディビルと本気で向き合うかたわら、1977年には東京・御徒町にトレーニングセンター「サンプレイ」をオープンし、現在に至っています。指導者となってからは独自のウエイトトレーニング法で、柔道のオリンピック金メダリストや相撲力士、プロ野球選手ら多くのアスリート、また芸能人や文化人の方を指導してきました。奄美への取り組みとしては観光大使の役目を仰せつかり、島のためにできる限りのことをしたいと考え行動しています。

●生まれたシマに対する思い

島にいた頃の私はスポーツが大好きな少年でしたが体は弱いほうで、「強くなりたい」と常に思っていました。東京に出てきてからは、島に思いはあるものの帰れないという気持ちでいましたが、最近では島のためになればと車イスを寄付させていただくなど、島との縁はどんどん深まっており、今でも年に一度は里帰りしています。

●夢への哲学

私の主宰するトレーニングセンター「サンプレイ」には大勢のスタッフが働いてくれています。素晴らしい人間ばかりで、私にとってはスタッフこそが自慢です。将来みんなが豊かであるようにすることが大事であり、私の夢でもあります。そのためにも、健やかな日々を送り「生涯現役」を目指したいと思います。

●今後の取り組み、予定など

トレーニング指導者としては今後も競技の別なく誠心誠意、本気で伝えていきたいと思っています。また、1998年に埼玉県三郷市の「シルバー元気塾」で高齢者の筋力トレーニングを指導したのを皮切りに、全国の自治体で高齢者健康指導を続けています。どんな人でも年齢に関係なくできるようなトレーニングをこれからも伝えていきたいですね。

●シマを出る子どもたちへのメッセージ

今と昔ではだいぶ時代が違うとは思いますが、私が島を出た53年

出身地：奄美大島瀬戸内町古仁屋
生年月日：昭和16年8月21日（満73歳）
現住所：トレーニングセンター　サンプレイ
東京都台東区上野5-10-26
TEL：03-3836-4795 ／ 090-8878-2670
FAX：03-3839-7476

泉二弘明

［銀座もとじ 代表取締役社長］

「志を高くする」夢を持ち続けること

宮畑 豊

「トレーニングセンター サンプレイ 代表」

「本気」で生きるということを人生のモットーに

奄美ふるさと100人応援団

ほど前は「二度と帰れない」という気持ちがとても強かった。その真剣な、痛切な気持ちがあったからこそ今、島とつながれているのだと実感しています。みなさんも「本気」で生きるということを人生のモットーに頑張ってほしいと思います。私も本気で応援します。

息子で二代目の啓太さんと

出身地：奄美大島龍郷町中勝
生年月日：昭和 24 年 12 月 10 日（満 65 歳）
現住所：東京都中央区銀座 4-8-12
TEL：03-5524-3222
FAX：03-3535-5533
e-mail：kikaku@motoji.co.jp

●これまでの取組み・実績

1979年、東京・銀座に呉服屋「銀座もとじ」を開店。専門特化した店づくりを行い、着物の奥深さを国内外にご案内してきました。「新しい時代の新しい着物店」のモットーに、2000年には女性の織・染専門店「銀座もとじ　和織・和染」、2002年には日本初、男の専門店「銀座もとじ　男のきもの」、そして2012年には大島紬専門店「銀座もとじ　大島紬」をオープン。開店から35周年を迎えました。

●生まれたシマに対する思い

この道に入れたのも奄美生まれだからこそ。シマに生まれていなければ、今の自分はありません。そんなシマ文化を多くの人に伝えたい、また一方で銀座の匂いと風を伝えてゆきたいとの思いもあり、2012年に念願の大島紬専門店を作りました。

●シマとつながるきっかけ

毎月5（こ）日、9（く）日、10（とう）日は「奄美大島を味わう日」とし、大島紬店にてお客様に黒糖焼酎や奄美大島の郷土の味をお試しいただき、奄美大島の風を感じるひとときを楽しんでいただいています。また、昨年は大島紬店にて「きょらぎん　大島紬展」を、和織店にて「島唄と黒糖焼酎を楽しむ会」をそれぞれ開催するなど、奄美大島の文化を発信しています。

●夢への哲学

「旗を立てる」つまり、目標を具体的に持つこと。3年後、5年後の自分を思い描くこと。そして、常に「感謝」の気持ちを忘れないこと。

●今後の取り組み、予定など

作り手の思いを届ける「伝える職人作り」と共に、大島紬を絶やさないために、どんな大島紬が求められているのか、お客様の声を奄美に届け、今の時代に合った大島紬を作っていきます。そして銀座から奄美の文化や、大島紬の魅力を発信していきたいと思っています。

●シマを出る子どもたちへのメッセージ

「志を高くする」夢を持ち続けること。そして、成長のためには素直な心で人の話を聞くことが何より大切です。私自身は「反省しても後悔はするな」という奄美の恩師の言葉を、一所懸命やりなさいという意だと肝に銘じ、座右の銘としています。

佐藤理恵

［株式会社メッツ研究所］

島外、世界に出て、いろんな経験を積んで！

出身地：奄美大島名瀬
生年月日：昭和 50 年 2 月 20 日（満 40 歳）
住所 YUTYMORE
東京都町田市原町田 6-17-1 藤ビル B1F
TEL：042-851-7815　FAX：042-851-7815
Facebook　有
ホームページ：yutymore.com
e-mail：shigejet1975@mg.point.ne.jp

店舗詳細は p80 へ

●これまでの取組み・実績

1975年、母の里帰り出産で奄美大島名瀬市にて誕生（父は喜界島出身）！その後東京にて幼少期を過ごすが、小学生の頃の夏休みはほぼ島で過ごす。20歳から工業系の仕事に就くが、26歳の頃に母の実家（名瀬）を継ぐ話が浮上！　いつか島に帰る時のためにと手に職を付けるため、夜間の調理師学校へ通う。28歳で調理師学校卒業と同時に日本料理店に修行に入る。独立を考えた時に、やはりいわれがあり独自性のあるお店をやりたいと思い、34歳で「奄美シマジュウリ yutymore」をオープン！奄美と内地の架け橋、奄美のセールスマンを勝手に遂行中です。

●夢への哲学

私の夢は、島から上京して来た子供達がうちの店でバイトをしてくれることです。また島の雇用を増やすのが一番の夢です！

●今後の取り組み、予定など

第1に、沖縄と言われない奄美大島の内地の人への周知。いまだにお店では「泡盛ないの？」とか「奄美は沖縄でしょ」とか言われるので、「奄美は奄美大島です、一応鹿児島県ですけど」と言うようにしてます。

第2に、島に1回も行ったことがない人を島に連れて行く努力をすること。1回来て貰わないと何もわからないと思うので、桜マラソンなどイベントに当てて呑み明かします。第3に、当店は本島の島料理がほとんどなので、群島全部の料理を出せるようにします。

●シマを出る子どもたちへのメッセージ

ちょっとプレッシャーになっちゃうかも知れないけど、島を出た時点でみんな一人ひとりが島の広告塔です！　方言バリバリで過ごしている若い先輩方もいます。無理に共通語なんて使わなくても良いんです！　逆に方言の方が温かみがあるし優しい感じでモテますよ〜。そして奄美を知らない友達や彼氏、彼女に奄美を教えてあげて下さいね〜。P.S 困ったことがあったら yutymore（ユティモレ）まで連絡して下さいね〜

相良茂樹

［奄美 シマジュウリ yutymore 店主］

島の雇用を増やすのが一番の夢です！

●これまでの取組み・実績
友人に奄美の良さを伝えながら、奄美の旅を一緒に満喫しています。

●生まれたシマに対する思い
奄美に行ったことで、自分の故郷・香川の良さを見つけることができました。

●シマとつながるきっかけ
学生時代、地図を見ながら卒業論文のフィールドを探していたときに、「瀬戸内町」を発見しました。瀬戸内海で育っていたこと、そして加計呂麻諸島がとても美しい場所に思えて、飛び込んでいきました。そして、ハマってしまいました。

●夢への哲学
まわりに迷惑をかけず、でも信念を貫いて実行します。

●今後の取り組み、予定など
①日本の島を広く知ってもらうため「しま体操」（ひとつひとつのしまの特徴を体で表現する体操。http://shimakeijimdo.com/）奄美でも広めていきたいです♪
②東京で、島々の若者たちと都会の若者たちとの交流を図り、さまざまな価値観を共有して、一緒に新たな取り組みやビジネスを生み出していければと思います。
③奄美群島も含め、島の空き家活用を進めていきたいと思います。

●シマを出る子どもたちへのメッセージ
どんどん島外、世界に出て、いろんな経験を積んでください！

出身地：香川県
生年月日：昭和 50 年 5 月 23 日（満 39 歳）
現住所：東京都新宿区矢来町 126
NITTO ビル 5 階 ㈱メッツ研究所（勤務先）
TEL：070-6656-0278
（勤務先 TEL：03-5227-7802
勤務先 FAX：03-5227-7807）
e-mail：kakeromazima@yahoo.co.jp
sato_r@mets-ri.co.jp

奄美語を繋げて次の世代へ

形屋篤子

［奄美料理 ほこらしや 店主］

「継続は力なり」決めるのは自分

山田茂樹

［焼き鳥居酒屋 Ryoma 店主］

●これまでの取組み・実績

２００３年に念願の奄美居酒屋「ほこらしゃ」をオープンしました。東京で出会えた皆さんを奄美大島に案内するのが、まずは一番の夢でした。お店主催の「ほこらしゃ奄美ツアー」を昨年までに10回行っています。（昨年は10回目なので10月10日に奄美入りしました）。また関東での奄美イベントには率先して参加させて頂いてきました。六本木ヒルズでの奄美イベントでは、ケータリング車で鶏飯＆油そうめんを出店するなど……“アマクマ”に参加させて頂いてきました。

●生まれたシマに対する思い

島で生まれ育ち、内地に出てきて故郷の素晴らしさを痛感する。島を離れた方なら、誰もが感じることかと思います。私もその一人でした。東京で暮らして32年になりますが、方言＆アクセントを一切直さずに今日まで来ました。まわりの方から「貴方は何処の出身？」と言われ、「奄美大島です」と答えるのが好きで、自分らしさを大切にしてきました。

島の人は 本当にご先祖様を大切にします。そして家族は当然ながら近所で出会った人が困った時もほっとけない人柄が多いと思います。短所は「お節介」ってこともありますが、親子でもない近所のおばちゃんが「はっげ～、帰って来たのね～」って島料理を持って来てくれる。そのまるで家族のように当たり前に「お帰り～」と言ってくれる言葉を聞きたくて、島に帰るって感じでした。自分自身含め、皆さんとそのような思いを繋げていきたくて、念願の奄美居酒屋「ほこらしゃ」をオープンしました。

●シマを出る子どもたちへのメッセージ

あなたたちが生まれ育った島の良さは、時間が経てば経つほど後で痛感することと思います。私もそうでした。煩わしいことも多々ありましたが……。

お爺ちゃんお婆ちゃんが喋る、島の方言をいっぱい覚えて欲しいです。言葉（奄美語）を繋げて奄美大島の良さを次の世代へと、残していけたらいいですね。

出身地：奄美大島住用町見里
生年月日：昭和 39 年 7 月 24 日（満 50 歳）
現住所：奄美料理「ほこらしゃ」
東京都中野区新井 1-14-16B104
TEL：03-3319-7600

店舗詳細は p80 へ

●これまでの取組み・実績

１９９４年に焼き鳥居酒屋「Ryoma」をオープンし、丸20年になります。サラリーマンの街・四谷にシマの人たちが、土日に関わらずお客として来てくれています。この店はシマの人たちのおかげでもってきました。本当にありがたいです。２０１２年には新高円寺に「Ryoma」2号店もオープンしました。当店でバイトしていた若者が、新潟、大阪、高円寺、そして奄美で店を開き、それぞれ繁盛しているとのこと。育てた甲斐があり嬉しいことです。

●生まれたシマに対する思い

シマの黒糖焼酎や料理の鶏飯、鶏ソバ、ポークハム卵などを通して、都会の人たちに奄美をＰＲ。シマと都会の交流が進めばいいとの思いで、開店当時から紹介、作ってきています。

●シマとつながるきっかけ

30歳のときにシマを出てきましたが、そもそもシマとつながっているし、お店を通じていつでもシマの食や人々とつながっています。

●夢への哲学

「継続は力なり」です。

●今後の取り組み、予定など

今まで通り、島と都会の人との交流、ＰＲの場になればいい。それがシマへの恩返しだと思っています。お店に、成田―奄美大島路線のある格安航空会社「バニラエア」のチラシを置いていますが、来客者のほとんどが目に留め、持って帰ります。奄美がぐんと近くなった感じ。こういう取り組みを、役所を含めてやってほしいし、その手助けを及ばずながらしていきたいと思います。

●シマを出る子どもたちへのメッセージ

ただのバスケ大好き人間だった私が、焼鳥屋の仕事が面白くてこの業界に入りました。東京の人は、次の仕事の準備はするし、時間にも厳しい。そこが私の肌に合ったようです。若い子に伝えたいのは、ギアチェンジしていろいろ好きなものを見つけていけばいいということ。決めるのは自分。知らない土地でいろいろな人と知り合って、自分の人生の目的を見つけてほしいと思います。

店舗詳細は p82 へ

出身地：奄美大島名瀬大熊
生年月日：昭和 30 年 11 月 14 日（満 59 歳）
現住所：東京都新宿区四谷 1-7-27- 1F
TEL：03-3356-2506　FAX：TEL に同じ

●これまでの取組み・実績

18歳から6年間、東京で過ごした後、1996年まで名瀬で大島紬の機織り屋をしていました。その後、名瀬市役所からお願いされたこともあり、大浜海岸でBBQ（バーベキュー）レストランを10年ほど経営しました。

沖縄に現在の店をオープンしたのは2009年10月のこと。55歳の時です。奄美以外での出店を考えており、東京などからも出店の依頼がありましたが、全国から観光客が集まる日本で一番の観光地に、そしてまだ炊き肉料理店がない土地にオープンしたいと考え、那覇に決めました。

オープン当初は知り合いもおらず、お店は閑古鳥。それでも、奄美のレストラン時代に親しくなった現・巨人の村田修一さんや、現・侍ジャパン監督の小久保裕紀さんらも来店して下さるようになり、人とのつながりでここまでやってくることができました。お店も自分自身も、たくさんの人の支えで成長させてもらっています。

●生まれたシマに対する思い

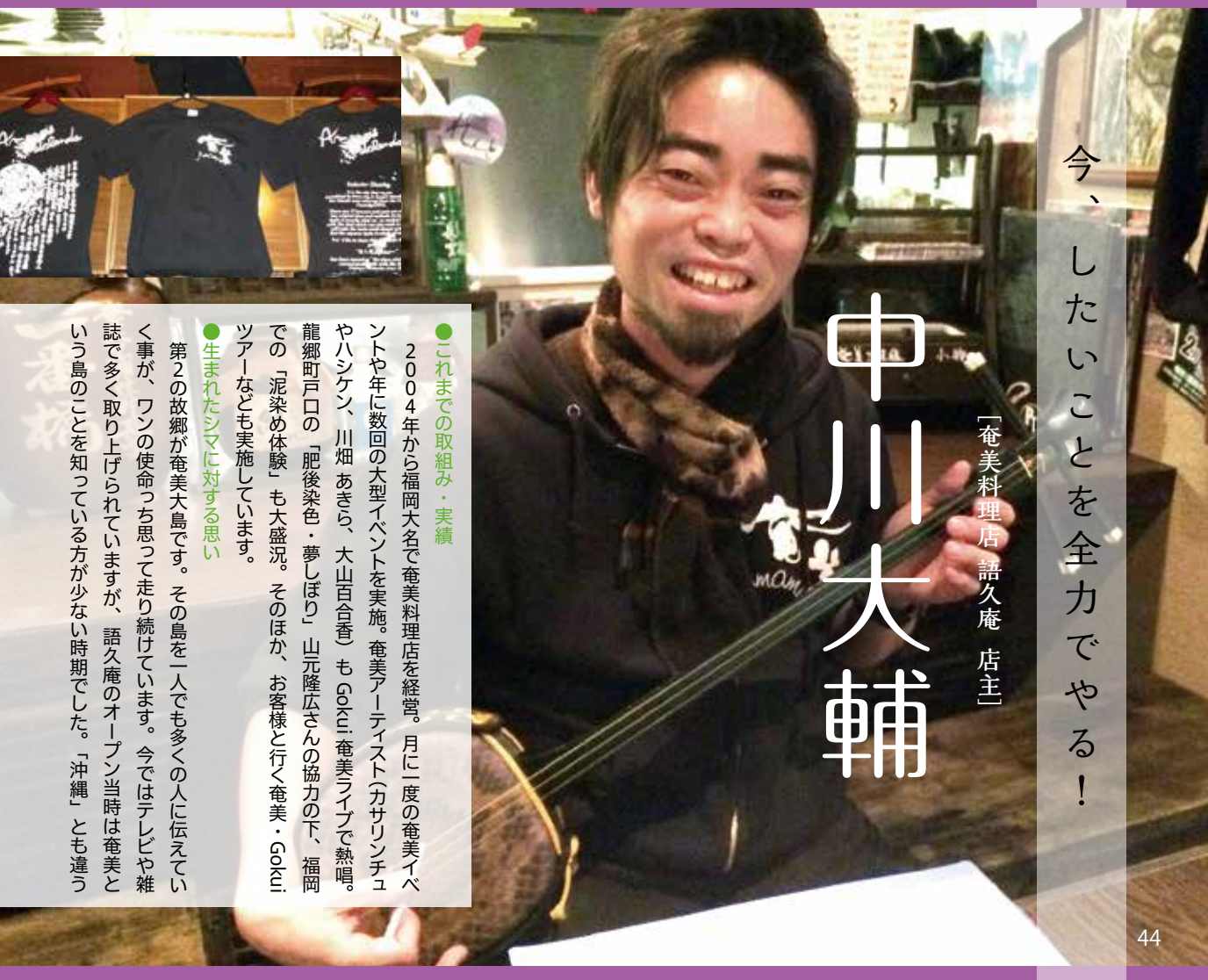
奄美の食、酒を多くの人に知ってもらおうと、店では鶏飯、油ぞーめんなどの奄美料理や数々の銘柄の黒糖焼酎を取り揃えています。

●シマを出る子どもたちへのメッセージ

人間は運よ！　あとは度量と根性！

店舗詳細は p95 へ

出身地：奄美大島名瀬幸町
生年月日：昭和 28 年 10 月 18 日（満 61 歳）
現住所：「炊き肉の店　牛ちゃん」
沖縄県那覇市西 1-16-3　那覇ウエストイン 2F
TEL：098-863-3634



今、したいことを全力でやる！

中川大輔

［奄美料理店 語久庵　店主］

●これまでの取組み・実績

2004年から福岡大名で奄美料理店を経営。月に一度の奄美イベントや年に数回の大型イベントを実施。奄美アーティスト（カサリンチュやハシケン、川畑 あきら、大山百合香）も Goku 奄美ライブで熱唱。龍郷町戸口の「肥後染色・夢しぼり」山元隆広さんの協力の下、福岡での「泥染め体験」も大盛況。そのほか、お客様と行く奄美・Goku ツアーなども実施しています。

●生まれたシマに対する思い

第2の故郷が奄美大島です。その島を一人でも多くの人に伝えていく事が、ワンの使命っち思って走り続けています。今ではテレビや雑誌で多く取り上げられていますが、語久庵のオープン当時は奄美という島のことを知っている方が少ない時期でした。「沖縄」とも違う

元治満次

［炊き肉牛ちゃん 店主］

人間は運よ！　あとは度量と根性！

奄美ふるさと100人応援団

出身地：福岡県
生年月日：昭和 53 年 1 月 12 日（満 37 歳）
現住所：語久庵（Gokui）福岡市中央区大名 1-8- 42 -1F
TEL：092-752-7400
e-mail gokui@gamma.ocn.ne.jp
トゥジ：中川珠美（旧姓：中村）
奄美大島本龍郷出身

店舗詳細は p92 へ

「鹿児島」でもない『奄美』を伝えていきたいと思えるシマです。

●シマとつながるきっかけ

トゥジとの出逢いがきっかけで、初めて訪れた奄美大島・龍郷町に一目惚れ。数ヵ月後に移り住み、島料理や黒糖焼酎の知識などを学ぶ。4年弱の間に奄美大島、喜界島の蔵元を巡り、当時福岡では珍しい黒糖焼酎を楽しめるお店としてオープン。また家で食べた鶏飯に感動。より多くの方々に食べていただきたいとの思いで現在に至る。

●夢への哲学

料理を始めたのは16歳の頃で皿洗いを2年ほどしてから、本格的に始めるために専門学校に行き基礎を学びました。現在も学ぶことばかりで、飲食業というのは終わりがないからやめられない。自分自身が「これ以上の味は、ない」と決めた時点で、終わる仕事。だからこそ日々研究し、新たなことに遠回りでも挑戦し続けることが哲学みたいなものですかね。夢は叶えるためにあるものと思うので、スタッフとともに日々走り続けています。とにかく、あまり振り返らず前に進み続けていく努力をしています。

●今後の取り組み、予定など

今後も、奄美を広げていくために大名のお店の2号店を『奄美』に出店します。島野菜や地魚・旬のものなどを直接見て、仕入をするためでもあります。福岡で働いてみたい方は福岡店へ、奄美で働きたい方は奄美店へという流れができればと思います。福岡から、奄美をもっと広めるイベントも開催します。島唄ライブや黒糖焼酎会・奄美泥染め体験・お客様と行く奄美ツアーも開催します。

●シマを出る子どもたちへのメッセージ

島にいる間に島の良さをと思っていたワンですが、一度離れてその良さが身に染みるほど感じられました。後悔をしない人生を送ることが一番。今、したいことを全力でやる！　結果は努力すればついてくる。そう信じて、2004年から大名で「奄美島料理店」をやっています。『ただいま』っち入れば、そこは奄美です。だから、疲れたり悩んだりした時はいつでも遊びにいもりんしょりよ。奄美出身スタッフたちが、まっちゅんど。内地に来ても、きばれよ!!

ありがっさまりょうた。

中島玉世

［日本民踊研究会師範］

いつでも帰りたい島。こころ豊かにしてくれる島

出身地：三重県
現住所：㈱希望荘
三重県三重郡菰野町千草 7094
TEL：059-392-3181
FAX：059-392-3180
e-mail：mansaku@kibousoh.or.jp
HP：http://www.kibousoh.or.jp/

●これまでの取組み・実績

三重県の湯の山温泉にある「希望荘」で取締役会長を務めております。希望荘とは「協同組合　三重県勤労者福祉センター　希望荘」が所有する宿泊保養施設の事業運営を全面委託され経営をする宿泊産業です。昭和42年の創業以来、施設や料理等の充実を図り、温泉を愛する全国の皆様からご愛顧をいただいてまいりました。

●シマとつながるきっかけ

希望荘では平成7年に2名の奄美出身者を雇用して以来、毎年1～6名の雇用を続け、現在は正社員42名のうち奄美出身者は26名と半数を超えています。こうした旅館としての取組みから、2012年9月には「奄美観光大使」に任命していただき、シマのPRや就労支援などを微力ながらお手伝いさせていただいております。

●今後の取り組み、予定など

希望荘では4年に1回、「奄美フェスタ　島うたのタベ」と銘打って、奄美の料理や黒糖焼酎を楽しみながら、本場奄美大島から唄者の皆様を招きディナーショーを開いています。このイベントの目的は、地域の皆様方に島の文化と伝統に浸って頂くことと、島出身の従業員に郷里を懐かしみながら郷里の良さを再発見してほしいということです。今後とも、奄美の食や文化を多くの人に伝えるこのような取組みを、奄美出身の社員たちともアイデアを出し合いながら続けていきたいと思います。

●夢への哲学

「恕」とは「他人を思いやる心」「自分がされたくない事は他人にもしない」ということです。その心を自分も磨き、縁あって出会った奄美出身者の皆様と仕事を通じて恕の心が自然と身に付くような人材と、旅館業の商品である従業員のおもてなしの心と振る舞いを出来る人材を育成し、奄美の若い原石をダイヤモンドのように輝く人材に育てていきたいと思います。

●シマを出る子どもたちへのメッセージ

希望荘で働いている奄美出身の先輩たちは皆、純粋で人懐っこく、訪れたお客様の中には「働いている人の人間性に魅了された」という理由でリピーターになって下さる方も多いのです。そうした〝島っ

〈奄美出身者の雇用実績〉平成7年＝2名／8年＝1名／9年＝2名／10年＝2名／11年＝1名／12年＝2名／13年＝2名／14年＝2名／15年＝3名／16年＝3名／17年＝2名／18年＝2名／19年＝3名／20年＝2名／21年＝4名／22年＝4名／23年＝3名／24年＝4名／25年＝6名／26年＝2名

山本春三

［希望荘　取締役会長］

出身地：沖永良部島知名町
生年月日：昭和 21 年 5 月 21 日（満 68 歳）
現住所：愛知県豊橋市富本町国隠 20-22
TEL &FAX：0532-45-8450

●これまでの取組み・実績

１００人応援団任命以前ですが、日本民踊研究会師範として以下の活動をいたしました。

平成13年7月　奄美公演　１００名参加
平成20年2月　奄美公演　１００名参加
平成23年11月　与論島公演　45名参加
※平成27年11月　奄美公演予定

●生まれたシマに対する思い

奄美公演および観光で行く時は、できるだけ奄美の旅行店等でお願いしています。

各地域に呼ばれることが多く、そのたびに奄美の特産品を持っていき、かなりの人がお取り寄せしています。

多くの人が奄美大島に一度は行きたいと思っています。仕事柄、色んな方々と出会うので、その橋渡しをと思っています。

●私にとって奄美とは

いつでも帰りたい島。こころ豊かにしてくれる島。でも何かが足りない。島全体がはじけるようなことがあると良いなと思っています。たとえば、8月3日間でも1週間でも通りを八月踊りで夜中まで踊る。大勢の観光客を呼ぶような……。日本三大流し踊りの「郡上踊り」「阿波踊り」「黒石よされ踊り」の様な……。

●シマの宝とは？

奄美の風景や食べ物、そして各行事でもやっぱり「シマの人のこころ」です。

●シマを出る子どもたちへのメッセージ

奄美のシマジマを行くと、ほとんどの子供達があいさつしてくれます。とっても素晴らしいことで誇らしい気持ちになります。返事をはっきりと、いつも笑顔を絶やさないで下さい。

〝島っちゅ〟ならではの資質は皆さんの宝物であり、働く上での武器にもなります。どうか奄美で育んだ〝心〟を大切にしてください。

黒川雅代

［菓子処 ばんじろう 取締役社長］

シマの味を忘れられないから、今の私がいる

出身地：奄美大島名瀬
生年月日：昭和 51 年 7 月 29 日（満 38 歳）
現住所：南国料理　奄人
大阪府吹田市寿町 1-3-20
TEL：06-6319-0555

店舗詳細は p85 へ

●これまでの取組み・実績

若いころから「いつかは自分の店をやりたい」と考え、高校時代にはひさ倉や大漁でアルバイトをしていました。高校卒業後は島や大阪の飲食店で和食や洋食の修業をし、２００２年６月、26歳の時に大阪の阪急吹田駅から徒歩３分の場所に「南国料理　奄人」をオープンしました。店名には、お店を通して奄美の料理はもちろん奄美の心も伝えたいという思いを込めています。

●生まれたシマに対する思い

店では油ぞうめんや鶏飯などの島料理、奄美の旬のものなど郷土の味を出すよう心がけ、親類を通じて島から素材を送ってもらうこともあります。黒糖焼酎の品ぞろえや店内に流す音楽などを含め、お客さまに奄美の良さを感じていただければと思っています。

●夢への哲学

自分は昔からお店を出したいと思い、島の中で、また外に出て、料理を勉強して念願の店を出しました。コツコツ好きなようにやることで、夢に近づいていったのかもしれません。

●今後の取り組み、予定など

今まで通りやる!!

●シマを出る子どもたちへのメッセージ

島のことを忘れず、心の中で島のことを誇りに思っていてください。

●これまでの取組み・実績

東京の短大を卒業後、慈恵医大病院で受け付けなどの仕事をしていたのですが、仕事帰りの道にケーキ屋さんがあり、いつもお菓子のいい匂いが漂っていました。実は病院特有の匂いが苦手だった私は、余計にあの甘い香りに惹かれ、ついにお菓子づくりの専門学校へ入学。現在は大阪の泉大野市で菓子処「ばんじろう」を経営しております。

●生まれたシマに対する思い

なぜ菓子づくりに夢中になれたのか。振り返ってみると、シマの「黒砂糖」の味が忘れられなかったからかもしれません。小さい頃から咳や熱が出たり、ノドが痛い時には決まって黒砂糖のかげ（かげん）を作ってもらいました。その品の良い味が忘れられないのです。試作品を作る時も、その黒砂糖が最終的な決め手の味になります。

●夢への哲学

頭に入っていた忘れられない味を追いかけて、追いかけて、今がある。シマの味を忘れられないからこそ、今の私がいるのだと思います。また、今ではだいぶ年を重ねましたから、何より「人の和」を大切にしています。

●シマを出る子どもたちへのメッセージ

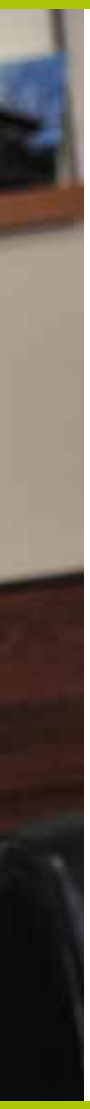
自分はシマを出てから何をしたいのか？　その気持ちを大切にしてほしい。

出身地：奄美大島笠利町赤木名
生年月日：昭和 24 年 2 月 20 日（満 66 歳）
現住所：菓子処「ばんじろう」
大阪府泉大津市豊中町2−5−8
TEL：072-531-3039

久倉進一郎

［南国料理 奄人 店主］

奄美の旬のものなど郷土の味を出す



●これまでの取組み・実績

もともと高校教師をしておりましたが、昭和41年に家業を継ぐ形で衣料・繊維メーカー「ラック株式会社」を設立、タテ・ヨコ・ナナメに伸縮自在なストレッチ素材を使った衣料製品を製造し、全国の生協や通販会社に自社ブランドの他、OEM、ODM販売をしてきました。また、京都工芸繊維大学との共同研究により「吸湿発熱繊維」を開発し初めて事業化。製品は今でもロングセラーとなっています。

平成8年には名瀬市（現 奄美市）の誘致企業として企業立地協定を締結、㈱アマミファッション研究所での操業を開始し、大島紬の泥染め技法を活かした泥パックインナーや、奄美大島黒糖もろみエキス（保湿成分）配合の化粧品など、奄美の地域資源を活用した高付加価値なものづくりで奄美の産業創出・雇用拡大に貢献できるよう奮闘中です。

●シマとつながるきっかけ

約20年前、事業拡大のため九州や中国本土に工場立地場所を探していた折、偶然、奄美出身の方と知り合いになり、その方の勧めで奄美大島に視察に出かけました。その時に、本場奄美大島紬の複雑で繊細な製造工程や、泥染の技術、亜熱帯植物の多様さを目の当たりにし、「豊かな自然と、奄美で育まれた本場奄美大島紬の技術を活用すれば、高付加価値の商品を開発でき、ブランド化できる。新たなビジネスチャンスがここにはある」と閃いたのです。

この閃きを契機に、名瀬市（現 奄美市）の誘致企業として朝戸集落にて㈱アマミファッション研究所を操業することとなりました。現在は奄美観光大使の任も預かり、ものづくりを通して奄美の活性化のお役に立てればと思っております。

●今後の取り組み、予定など

繊維と化粧品の事業をより高め、奄美発の商品をどんどん全国へ販売することで雇用を増やしていくこと、そして、大島紬を始めとする「ものづくり」で成長してきた奄美において、ものづくり＝製造業を盛り上げていきたいと考えています。

●シマを出る子どもたちへのメッセージ

旅はつづく。

現住所：ラック産業株式会社
奈良県磯城群田原本町八尾507−3
TEL：0744-32-6611
FAX：0744-33-6253
ホームページ：http://www.luc-group.co.jp

下薗紗奈江

［和風居酒屋花まる 店主］

自分のファンをたくさん作って

吉川卓伸

［ラック株式会社 会長］

ものづくり＝製造業を盛り上げていきたい

奄美ふるさと100人応援団

出身地：奄美大島笠利町用安
生年月日：昭和 30 年5月 28 日（満 59 歳）
現住所：花まる
愛知県名古屋市中区丸の内2−8−27
TEL：052-220-7338
e-mail：info@hanamaru.mobi

店舗詳細は p91 へ

●これまでの取組み・実績

平成11年、名古屋市営地下鉄「丸の内」駅から徒歩3分の場所に地場産品応援の店「和風居酒屋　花まる」をオープン。以来、奄美の黒糖酒をお客さまに提供してきました。また、島豚の豚骨煮やカシャ餅、なり味噌などを島から取り寄せて提供しています。油そうめんや豚足は、店で作って提供しております。

●生まれたシマに対する思い

いまだに名古屋の気候（冬の寒さ）に慣れないです。私の体は島での18歳までの食生活や風土が染みついているのか、冬を迎えるたびに思い知らされます。

●シマとつながるきっかけ

店を始めて、島の先輩たちとの出会いがあり、皆さんの島に対する想い、応援の仕方に接して、自分も何か役に立ちたいと強く思いました。

●夢への哲学

人生長く生きている間には失敗もたくさんしてきました。でも必ず解決する方法があると信じています。

「自分の力を信じ前へ進む」です。

●今後の取り組み、予定など

島の食文化をもっと都会の人たちに知ってもらうこと。そして、店を通してお客さまに一人でも多く奄美ファンになっていただくことです。

●シマを出る子どもたちへのメッセージ

奄美に比べたら都会は広すぎますが、人を恐れず、人間を好きになって、自分のファンをたくさん作って下さい。

佐平仁志

［（株）ユウジンコーポレーション　代表取締役］

君たちは世界を目標にしてください

出身地：喜界島喜界町
現住所：ダイニングバー　和
東京都北区赤羽 1-41-6 サクセスプラザ犬飼 2F
TEL：03-3903-2535
e-mail：hidamari@bb.emobile.jp

店舗詳細は p81 へ

岩崎和典

［ダイニングバー和 店主］

●これまでの取組み・実績

2011年4月1日、東京・赤羽で焼酎バー『和』をオープンしました。震災直後の開店だけに不安もありましたが、故郷を懐かしむ奄美出身のお客さまや、時に島唄や踊りで盛り上がる店の雰囲気を楽しみたいと足を運んでいただくお客さまにご愛顧いただき、お陰さまで店も丸4年を迎えました。

かつて東京奄美会の青年部副部長をしていたこともあり、店には東京奄美会、埼玉奄美会など県人会の会長、幹事長、青年部長など役員の方々も来て下さいます。また、喜界島の上嘉鉄、手久津久、浦原、の三地区出身者で組織される関東嘉手浦会の会合などにも、当店をご利用いただいております。こうしたさまざまな交流を通じて、今後とも奄美群島出身者の憩いの場として、情報交換の場として、そして奄美の発信基地として皆さんに活用していただければと思っています。

●生まれたシマに対する思い

故郷の喜界島にゆかりのある人、頑張ってる若い人は応援したい。

●今後の取り組み、予定など

昨年5月9日、10日の「奄美黒糖焼酎の日」には、黒糖焼酎を一杯300円（一部の特殊な銘柄を除く）、ボトル一本につき1000円引きでご提供させていただきました。今後とも、こうしたイベントも継続して行っていきたいと思います。奄美ふるさと100人応援団のひとりとして、また奄美観光大使として、奄美のことを知っていただき、好きになっていただく活動に取り組んでいきます。

●シマを出る子どもたちへのメッセージ

島の情報が知りたい人は、ぜひ店に遊びにきてください。話好きのマスター（私）と元カウンセラーでお悩み相談にも乗ってくれるママ、そして懐かしい島料理が待っていますよ。

●これまでの取組み・実績

2003年に㈱ユウジンコーポレーションを設立。中華ダイニング「YUJIN 東京」、琉球ダイニング「美ゆら」（2011年より五島列島料理を合わせ「美ゆら伊勢丸」と屋号変更しリニューアルオープン）、「日本橋焼餃子」（日本橋本店含め都内5店舗）、「陳麻家 × 日本橋焼餃子」のコラボレーション店舗（神保町店）など飲食店経営をしています。また2010年には徳之島の健康食材を世界にお届ける通販会社「㈱長寿食材研究所」を設立。一般社団法人奄美観光物産協会（ぐーんと奄美）のご協力で、2014年11月にオープンした奄美型アンテナショップ「ぐーんと奄美」にて、特産品の普及PRや体験交流イベントを通して、奄美群島地域全体の観光・交流を推進していきます。

●生まれたシマに対する思い

徳之島高校卒業後、大阪へ向かうために鹿児島まで船、鹿児島から福岡まで列車、そこから新幹線に乗り継ぎ「遠いな」と思いました。「早くクルマを買って、部屋に電話が欲しい」というのが当時の夢でした。東京の生活も長くなりましたが、不思議と島を出てからの方が島の事を考え、勉強し、郷土に対する想いも強くなっていきました。

●夢への哲学

奄美の素晴らしい資源を東京や海外から評価できるように、シマのことがわかるような仕組みができればいいと思います。また、「夢は逃げない。逃げるのは自分である」が私の信条です。

●今後の取り組み、予定など

「ぐーんと奄美」のアンテナショップを活用して箱崎から成田への導線となり、バニラエアを利用して奄美の観光誘致や地域の物産を掘り起こし、ふるさと納税につながるような商品の開発、12市町が連携できるような場所の提供を東京・日本橋の地につくります。また、2020年の東京オリンピックに向けて奄美の長寿食が食べられるヘルシーレストランをオープンさせたいと思います。

●シマを出る子どもたちへのメッセージ

私たちの時代は大和（やまとぅー）を目標にしました。君たちは世界を目標にしてください。私自身は「反省しても後悔はするな」という奄美の恩師の言葉を肝に銘じ、座右の銘としています。

出身地：徳之島伊仙町
生年月日：昭和 37 年1月5日（満 53 歳）
現住所：株式会社ユージンコーポレーション
東京都中央区日本橋浜町2−1 7−8
KTX ビル1F
TEL：03-3664-3285
e-mail：sahira@yu-jin.net

奄美ふるさと100人応援団

出身地：奄美大島根瀬部
生年月日：昭和 26 年 6 月 8 日（満 63 歳）
現住所：六調（ろくちょう）
渋谷区宇田川町 33-10　J+R ビル
J サイド8F
TEL：03-3770-0868
e-mail：ebara@sixbeat.com
店舗詳細は p82 へ

恵原睦男

［㈱6B 代表取締役・六調 店主］

●これまでの取組み・実績

東京・渋谷で、黒糖焼酎や奄美の郷土料理などを提供する居酒屋『六調』を経営しており、奄美出身者はもちろん、奄美の食や酒、自然、人の温かさに惹かれた奄美ファンの方々に団らんの場としてご利用いただいています。

また、代表を務める㈱6B（ろく・びー）は、ロック、ポップなどのジャンルを問わず音楽の楽しみを伝え、自分の音にこだわるアーティストを育てるべく設立したレコード会社です。そのなかで『奄美レコード』というレーベルを作り、徳之島出身の安田竜馬や、ピンポンズ、ネリヤ☆カナヤなど奄美出身アーティストをプロデュースしてきました。

その他、奄美群島の日本復帰60周年に際しては、「東京奄美会日本復帰60周年記念実行委員会」のメンバーとして舞台監督も務めました。

●生まれたシマに対する思い

経営する店舗では、島料理や黒糖焼酎を通して奄美の食の魅力を、三線やチジン、島唄の演奏を通して奄美の文化を伝えられたらと思います。また『奄美レコード』は、言ってみれば奄美人〈シマんちゅ〉の、奄美人〈シマんちゅ〉による、奄美人〈シマんちゅ〉のためのレーベルです。こちらのほうでも、音楽を通して生まれ育ったシマの魅力をひとりでも多くの人に感じていただきたいと思います。

●シマを出る子どもたちへのメッセージ

東京に出てきた時には、六調に気軽に足を運んでください。島出身のお客様も多く、いつでも奄美の風を感じられます。また、音楽の面でも「奄美の若者に夢を！」をキーワードに、今の奄美の若者たちが自分たちの島を誇りにし、奄美からもっともっとたくさんのアーティストを輩出できるようなレコード会社を目標に活動中です。夢の実現に奮闘する皆さんをいつでも応援し、サポートしていきます。

奄美群島復帰年表

日本復帰六十周年記念

1945 昭和20

4・20 名瀬大空襲（4月20日）
焼夷弾が後に発火した火災で市街地の90％焼失
8・6 広島に原爆投下
8・9 長崎に原爆投下
8・15 天皇、「終戦」の詔書放送
9・22 米軍、武装解除のため徳之島に上陸
12・20 太平洋米軍総司令部、選挙文書発送を北緯30度以北までと発表。奄美大島、選挙から除外

1946 昭和21

2・2 奄美諸島、本土から行政分離、「2・2宣言」
2・28 奄美諸島、「臨時北部南西諸島」となる
3・13 大島支庁内に米軍政府設置、奄美諸島、米海軍の軍政下に置かれる
4 本土との航海、全面禁止
6 奄美大島連合青年団結成
7 名瀬町、市制を施行
10 大島支庁を臨時北部南西諸島政庁と改称し、支庁長を知事とする
11・1 「南海日日新聞」創刊

民族分離反対を訴える決起大会

1947 昭和22

4・10 奄美共産党を結成
5・17 司法庁設置、司法権独立
6 名瀬で劇団「熱風座」結成
7 名瀬市官公庁職員組合結成
8 市町村長会、日本復帰嘆願を決議、軍政長官に口頭で伝える
8 大島中学校講堂で民主化要求市民大会
名瀬で劇団「演技座」結成
10・11 集会・言論・出版の自由等を規制
東京で奄美青年同盟結成
11・1～20 名瀬で奄美復興博覧会

奄美群島が一枚岩となって闘った復帰運動

1951 昭和26

5 復帰署名完了、14歳以上の住民の99・8％。奄美連合教職員組合、軍政府に日本復帰を陳情
7・13 名瀬市議会信託統治反対決議、名瀬小校庭で信託統治反対市民総決起大会
7・18 大高講堂で信託統治反対全郡青年大会
8・1～5 復協の泉芳朗議長、名瀬市の高千穂神社で復帰祈願の断食（ハンスト）
8・5～6 全郡民、集団ハンスト
8 復帰陳情団、密航して渡日
8・9 名瀬で日本復帰郡民総決起大会
12・5 トカラ7島の日本返還決まる

米軍政下時代の紙幣「B円」

1952 昭和27

2・14 復協結成1周年大会。講和条約第3条撤廃要求
2・29 琉球政府設立の布告
3・27 奄美群島政府解庁式
4・1 琉球政府発足
日本政府連絡事務所、名瀬に設置へ
4 名瀬小で祖国独立記念郡民大会
4・28 日米講和条約発効、郡民大会を開き弔旗を掲げる
4・29 日の丸掲揚は非政治的、非公開の場で許可
5・8 喜界の集団密航、60人が桜島沖で捕まる
5・10 名瀬市の人口3万3931人、7年間で2・5倍
5 東京で完全日本復帰を求める奄美連合全国総決起大会
5・28 エール大学・小野正行嘱託員の奄美の動物調査結果報告。クロウサギ、トゲネズミなど
6 本土渡航緩和される
6・28 名瀬で復帰郡民総決起大会、第3条撤廃決議
7・19 日本政府南方連絡事務所設置に伴い、奄美大島母国政府連絡会（会長・大津鉄治）結成。臨時措置として実質復帰の運動へ
7・30 奄美大島商工会議所発足
7・31 名瀬漁協設立
9・8 9市町村首長選挙、名瀬市長に泉芳朗当選
9・22 琉球政府奄美地方庁を設置。庁長に沖野友栄就任
9・28 復帰は徳之島以北との情報
9・29 復協が鹿児島県大島郡の完全復帰・3条撤廃要求の要求声明

1948 昭和23

4・1 教育の「6・3・3」制実施、国民学校を小学校と改称
5・17 奄美大島連合教育会、奄美大島教職員組合として発足
6・19 深佐源三、森田忠光の2教師、教育関係図書購入のため本土へ密航
6 軍政府、大島無尽会社大島支店を接収、大島中央銀行、琉球銀行大島支店となる
9 北部南西諸島全官公庁職員組合発足
この年、新民謡「本茶峠」発表

復帰のはちまき

11・11～30 名瀬で第1回奄美体育大会
伊集田実、創作劇「犬田布騒動記」書下す
月刊誌「自由」創刊（～1945）

1949 昭和24

4・29 軍政府、食糧3倍値上げを指示
5・2 食糧3倍値上げで市町村長と経済復興委員会代表、軍政府官に陳情
5・17 奄美大島連合教育会、奄美大島連合教職員組合となる
12・25 昇曙夢「大奄美史」刊

1950 昭和25

1・11 軍政府、食糧3倍値上げ実施（1月11日）
3・27～28 名瀬、小宿、古仁屋で共産党員ら約20人検挙される
7・1 染織指導所、業務開始
8・1 市町村に公民館を設置
8・15 社会民主党結成
9 戦後初めて大島紬の原料糸入荷
10・1 民間貿易許可
10・22 奄美群島知事・議員選、知事に中江実孝当選
10・25 奄美群島政府設置
10・28 全官公庁職員組合全郡大会
10・29 奄美群島議会発足

悲願の日本復帰を果たし、名瀬の「おがみ山」にひるがえる日の丸

1951 昭和26

2・14 奄美大島日本復帰協議会（復協）を結成、議長に泉芳朗。復帰署名運動始まる
2・22 全郡教職員大会が日本復帰を決議
3・30 群島議会、復帰要請決議

1953 昭和28

1・15 復協全郡代議員会、政党色排除決定
2・3 「新生丸」沖永良部近海で沈没、死者3人、行方不明77人
4・21 復帰促進週間2日目、名瀬市で16回目の郡民大会
7・28 本土の全国奄美連合、奄美大島復帰全国対策委員会を一本化、奄美大島復帰期成会を結成
8・8 ダレス米国務長官、奄美大島返還を声明。「沖縄・小笠原についてはこれまで通り」
8・9 名瀬市でダレス声明感謝郡民大会
8・11 米大使館、「復帰は大島郡全体」と言明
9・10 鹿児島県の大島復興対策本部発足（9月10日）
9・13 母国調査団来島。歓迎郡民大会で日の丸掲揚許可
9 在沖縄奄美人、正式移住者だけで3万7500人
9・21 奄美ー本土の無線電話、9年ぶりに開通
10 神戸で奄美復興全国青年協議会結成大会
11・3 衆院、奄美の復帰暫定法案を可決（11月3日）
11・10 「12月1日復帰貫徹」で郡民大会
11・12 奄美小児童、「12・1復帰貫徹」で12時間断食
11・25 奄美返還日米交渉始まる（11月25日）
12・6～7 復帰促進断食祈願大会
12・21 通貨交換船、日本円9億円を積んで名瀬港入港
12・21 復帰の影響調査で学術団来島
12・24 午後6時56分、奄美群島返還の日米協定に調印
12・25 奄美群島日本復帰。名瀬で返還式、県大島支庁開庁
鹿児島県立大島病院設置

10・1 与論で島民総決起大会
10・2 与論の学童、自発的断食
10・4 沖永良部・与論の2島分離返還反対決起大会。児童も断食参加
10・9 日本政府南方連絡事務所名瀬出張所開設
10・15 民族分離（2島分離）抗議奄美大会開催
10・15～16 知名町で復帰祈願断食
10・23 重成格鹿児島知事、実質復帰方策など調査に来島
11・7 鹿児島県議会、復帰促進決議
11・18 和泊・知名町民合同断食祈願
11・30 復協の泉議長、東京・三田の完全復帰国民大会「大島はもぎとられた片腕。胴体も痛いと言ってもらいたい」と訴える

協力：南海日日新聞社、奄美手帳

全国奄美会 2015

東京奄美会、神奈川奄美会を率いて復帰50周年の
一大イベントを成功させ、神奈川人として、
医療人としての功績も名高い、
第17代 東京奄美会会長（平成14年10月～18年10月まで）
田中達三氏に、島への思いを伺います。

出身地：奄美大島　瀬戸内町瀬相
生年月日：昭和5年1月24日（85歳）

私の履歴書

神奈川奄美会・東京奄美会 前会長
社会福祉法人湘南福祉協会 総合病院 湘南病院 理事長

田中達三

★密行で故郷の先輩のいる神奈川へ

私は現在、「社会福祉法人湘南福祉協会　総合病院 湘南病院」の理事長を務めさせていただいております。設立者である瀬田良市先生には遠く及ぶべくもありませんが、瀬田先生の意志を継ぎ、地域の医療福祉に微力ながらでも貢献できればと施設やサービスの改善に取り組んでおります。

思えば昭和26年（1951）、密行の形で船と列車を乗り継ぎ横浜駅にたどり着いた私は、さっそく同郷（瀬戸内町）の先輩である瀬田先生を訪ねました。諸先輩の存在に勇気づけられながら、神奈川県立の宿泊所で新生活をスタートさせ、掃除やボイラー焚きをしつつ中央大学第二法学部に学び、その後神奈川県職員として採用され、ながらく地方自治に携わる半生となりました。

神奈川県監査委員の任期を終えたあとは、神奈川県観光株式会社の社長として私なりの観光福祉を実行、その後は神奈川県漁業信用共同組合代表理事長を経て、瀬田先生の強いご要請もあり現職に就いた次第です。

★私の務め・若い皆さんの務め

私が自ら生きた証にしている一つに、神奈川県議会局長当時、昭和59年（1984）に『神奈川県非核兵器宣言』の議会議決を取りつけたことがあります。言うなれば核兵器廃絶と平和宣言です。

世界の主要国に伝達されたこの宣言の可決は、職責をかけての仕事であり、また奄美に生まれ育ち、戦禍に生き抜いた一人の人間の仕事であったと今でも誇りに思っています。

私は、瀬田先生に「人間は故郷を忘れたら駄目だよ」と教えられながら半生を生きてきました。

故郷を思うということは、すなわち一大民族運動を始めとするシマの歴史にまでさかのぼり思いを馳せるということです。自主独立と領土保全に駆け回った同胞の存在を含め、日本の近現代史の中で奄美の復帰運動は改めて評価されなければなりません。

私たちの世代が若い世代に当時の体験をいかに伝えていくか、また彼ら戦争を知らない世代が歴史を踏まえていかに「戦争」と「平和」という問題について真剣に考えるか。それは「生きている」あるいは「生かされている」私たちの最も大切な、切実な務めだと思うのです。

このことを日夜、胸に留め置きながら、

仕事においては医療福祉と高齢者福祉事業に働き、東京奄美会や神奈川奄美会に携わってきた経歴においては故郷・奄美の振興に努めてまいる所存です。

神奈川奄美会のあゆみ

★戦後の混乱期、神奈川の医療福祉に奔走した先輩方

神奈川奄美会について語ることと、奄美の復帰運動と上京者の支援に情熱を傾けた、神奈川の諸先輩方について語ることはまさに同義です。

昭和20年の終戦直後、外地から戻るも故郷が焼け尽され帰る家とてない人など千人を超える人々が続々と神奈川の地に降りたちました。そうした人々に援助の手を差し伸べたのが、当時神奈川で社会福祉に携わっていた有志のメンバーでした。

そのひとりであり、後に東京奄美会、神奈川奄美会の会長も務められた、瀬戸内町出身の瀬田良市先生は、こうした状況下、「大切なのは、やはり医療だ」と発心、戦後の大混乱のさなか病院を設立されたのです。その設立の目的は、「すべての人が貧困の差なく、より良い医療を受けられること、そして医療を通して社会福祉に奉仕すること」でした。

高い志を持って医療福祉に専心しながらも、決して故郷・奄美のことは忘れない。すなわち、広い仕事として故郷のために精一杯奔走したのです。

瀬田先生が70年前に建てられた病院は、現在も横須賀市・追浜駅前にあり、「社会福祉法人湘南福祉協会　総合病院 湘南病院」として設立者の意志と使命を継いでいます。

★同胞の血の叫び、嘆願署名録が横浜港へ

ひるがえって故郷・奄美では、講和条約調印の昭和26年を前後に、祖国復帰を貫徹すべく群島同胞あげての祖国復帰運動が熾烈を極めていました。

群島では祖国日本復帰嘆願の署名、断食祈願の決行、決起大会が繰り返され、本土においても街頭署名運動や国民的総決起集会などが開かれ、広く国内外の世論に訴えたのです。なかでも群島在住満14歳以上の99・8％、14万人に及ぶ「日本復帰嘆願署名録」は窮乏のどん底からの血の叫びであり、多くの人々を感動させるものがありました。

昭和26年5月、くだんの嘆願署名録が奄美から波涛を超えて横浜港に着くや、神奈川の諸先輩は瀬田先生のご自宅で今後の対策を討議。すぐさま署名録を携え、政府、国会、連合軍、司令部、対日理事会、米国政府首脳等へ幾度も請願陳情を行ったのです。

この署名録の存在、そしてあらゆる機関に働きかけた諸先輩のご尽力により、一大復帰運動はその実力をおおいに発揮し、その後の沖縄、小笠原の復帰へのたしかな轍（わだち）ともなりました。

★勤労青少年激励大会で奄美の若者にエール

復帰運動のさなかには、奄美を離れ密行の形で横浜にたどりついた人々もたくさんいました。神奈川在住の諸先輩は、そうした方々の新生活の基盤づくりを支援するなど、さまざまな形で故郷の人々を救って下さいました。

昭和30年代以降の高度経済成長期には、奄美の青少年たちが集団就職で横浜、東京のあらゆる成長産業に従事するようになりました。彼らが故郷を離れ寂しい思いをしているのではないか。そんな思いが契機となり、神奈川奄美会で主催したのが「勤労青少年激励大会」です。

この会は神奈川県の支援もあって10年間続き、参加した若者の中には後に「現代の名工」に選出されるほどの技術者に成長した方もいます。瀬田先生は平成18年、101歳でご逝去されましたが、生涯を通じて故郷・奄美と奄美の人々を見守り続けて下さいました。

神奈川奄美会はこうした諸先輩のご尽力により歴史を刻み、現会長の西元壮一郎氏はじめ事務局の皆さんが中心となり独自の伝統を引き継いで下さっています。自分たちが異郷の地で幸せになることで、逆説的に言えば故郷の島が栄えるとの信条を会員の誰もが胸中に抱いている。それが現在の神奈川奄美会といえるのではないでしょうか。

湘南病院のお弁当。健康管理が一番大事です。

神奈川奄美会

神奈川奄美会スローガン

昭和 21 年に発足し 69 年。出身者の親睦交流と、郷土奄美と神奈川との交流の懸け橋を深め、シマに対する問題を皆で学習し考え、思いの拠り所として活動しています。

・会長　　西元壮一郎　三浦市南下浦町金田 22-5　TEL.046-888-4306
・幹事長　山下
・事務局長　林

ホームページなし・Facebook なし

奄美群島日本復帰50周年記念　明日をつなぐ　再録①　発行：東京奄美会

平成15年（2003）11月16日、名瀬市・奄美振興会館にて開催された『奄美群島日本復帰50周年記念式典』において、田中達三さんが東京奄美会会長として述べられた祝辞と、東京奄美会により発刊された記念誌『明日へつなぐ』に寄せた文章をここに再録。
（東京奄美会刊『明日へつなぐ ～奄美群島日本復帰五十周年記念～』より引用）

不滅の日本復帰嘆願署名録が訴えたもの

東京奄美会会長　田中達三

本日ここに多くの来賓のご臨席を頂き、ご参列の皆様とともに奄美群島日本復帰五十周年記念式典と文化祭を開催できましたことに主催者を代表いたしまして心から御礼申し上げます。

愛郷と愛国の心に燃え、熾烈な復帰運動を行い、悲願とも言われた郷土の日本復帰を果たした私達奄美同胞は、年を経るごとに日本復帰を記念する国家的、国民的な慶祝行事を待ち望んでおりましたところ、来る十一月十六日に、名瀬市において、天皇、皇后両陛下のご臨席を仰ぎ、名実ともに盛大な奄美群島日本復帰五十周年記念式典が開催されることになりました。この有り難く、感慨深い式典のご盛会をご参列の皆様と共に謹んでご祈念申し上げる次第であります。

復帰運動の歴史を顧みますと、講和条約調印の昭和二十六年を前後に、条約に定められていた信託統治に断固反対し、祖国復帰を貫徹すべく群島内外の同胞は一致結束して決起し、熾烈な復帰運動をしたのであります。

群島にあっては祖国日本復帰嘆願の署名、断食祈願の決行、決起大会が幾度も繰り返され、本土におきましてはこれに呼応して街頭署名運動や国民敵総決起集会などが開かれ、広く国の内外の世論に訴えたのであります。

なかでも群島在住満十四歳以上の九十九・八パーセント、十四万人に及ぶ日本復帰嘆願署名録が訴えたものは窮乏のどん底からの地の叫びであり、或は自由と天賦の人権の主張でもあり、波涛を乗り越えてきた嘆願署名録の声なき声が訴える説得力は多くの人々を感動させるものがありました。

昭和二十六年五月十三日にこの署名録に接した諸先輩は、その翌々日から感激も新たにこの署名録を携え、政府、国会、連合軍、司令部、対日理事会、米国政府首脳等へ幾度も請願陳情を行ったのであります。請願陳情の論拠と願意は、奄美の島々に残る風俗、習慣、言語、シマ唄などに有史以前から日本文化のたどってきた道と姿があり、一体として国のかたちをなしてきた奄美の島々の復帰を強く訴えるものでありました。

奄美群島の復帰は、今日的課題ともなっている我が国の領土の主権と排他的経済水域を平和的に確保したことであり、その後の沖縄、小笠原の復帰への道を開いたことにもつながるものとなったのであります。

戦争に敗れ、国家意識も低く、領土である島嶼の帰趨にも関心が薄かった戦後のこの時代に、奄美同胞の愛郷と愛国の心が多くの国民に衝撃と感動を与えたことも意義深いものがあったと思う次第であります。

戦後の奄美群島の荒廃と窮乏のくらしを知る人々にとりまして今日の姿は隔世の感がありますが、これは半世紀にわたって群島振興の特別措置法による国家的支援と鹿児島県の積極的な施策によるものであり、ここに衷心より感謝申し上げる次第であります。また営々と努力され今日の姿を築き上げた市町村当局と住民の皆様に対しましても心から敬意を表してやみません。

鹿児島県は本年三月に奄美群島振興開発総合調査報告書を発表されましたが、そのなかで郡民所得水準がなお低く、社会資本の整備も立ち遅れていることなどから、群島の自律的発展に向けた特別措置法の必要性と今後の課題と開発の方向などを明示されております。

時宜を得たこの提言に感謝申し上げますとともに、本年度をもって時限となる奄振法の発展的延伸とこれに基づく施策の充実によりまして、群島の自立的発展が促進されますことを強く期待し要望申し上げる次第であります。また群島市町村におきましては、自立振興の主体として中長期的な展望に立った体制の充実を期待するものであります。

私達は本日ここにあらためて復帰運動に尽力され愛郷と愛国に生き、世のためにつくされた人々に心から感謝申し上げますとともに、復帰運動の意義を尋ねることで今日の私たちの生き方を学び、また、後代につなげたいと存ずる次第であります。

本日は後半、奄美を語る講演と島唄の祭典もありますが、どうぞ皆様のお心にふれる大切なものをお持ち帰りになることを願ってやまない次第であります。

終わりになりますが、ご列席の皆様のご健勝と御多幸を心から祈念申し上げますとともに、本日の式典と文化祭を支え盛り上げて下さる皆様に対し、心から御礼を申し上げて私の式辞といたします。

再録②

記念誌発刊に当たって

平成十五年は奄美群島が日本復帰してから五十周年に当たる年でありましたので、東京にあるシマごとの郷友会はそれぞれに出身者が参加して、記念のお祝い行事などを開催しました。

東京奄美会は奄美群島広域事務組合の共催、国土交通省、鹿児島県、東京都など多くの団体の後援、協賛、協力を頂いて、十一月九日渋谷公会堂で二千三百余名もの会員の参加と多くの来賓の御参列を頂き、郷土からは島ごとのシマ唄の先生方の出演もあって、盛大な記念式典と文化祭を開催することができました。

引き続いて十一月十六日には、名瀬市で奄美群島日本復帰五十周年記念事業実行委員会主催によりまして、天皇陛下、皇后陛下をお迎えして、歴史的な記念式典が盛大に開催されました。私は東京奄美会会長として群島の外に居住する奄美出身者を代表して、祝辞を申し上げましたが、昼時NHKで全国に東京奄美会の名が放映されたのであります。

この式典の前日十一月十五日の夜、両陛下とご懇談ができる記念祝賀会があり、参列者は両陛下の御前で一人ひとり御礼のごあいさつを申し上げました。天皇陛下が私の「東京奄美会会長」の名札をちょっと身をかがめてご覧になりましたので、私は東京奄美会のことを次のように申し上げたのです。

「東京奄美会は、奄美の島々から出てきた首都圏で暮らす人々が、お互いに励まし合い、助け合い、郷土に何かあれば応援しなければという志を持った人々の団体であります」と。

陛下はやさしい微笑みで幾度もうなずいて下さいました。まことに申し訳ないことですが、私はその親しみ深いお姿に思わず手をさしのべ握手したい衝動にかられ、ジーンとくるものがありました。

私はかねて東京奄美会を「妙なる」もの、即ちなんとも言えないほど優れている会と自分なりに思っておりましたので、更にこの思いを深くした次第であります。会員の皆さんが東京奄美会の名を誇りにしてほしいと願ってやまない次第です。

この尊い思い出を後世に残すべく、東京や奄美での「奄美群島日本復帰五十周年記念式典」等の内容を記録にとどめるとともに、改めて五十年前の復帰運動の流れをひも解き、そして復帰当時やその後の五十年間を振り返りつつ、奄美の将来への展望や提言等について、会員をはじめとして多くの方々からご寄稿いただき、これらを記念誌としてまとめました。このささやかな記録が力強い奄美の将来へつながるようにとの思いを込めて、タイトルを「明日へつなぐ」と名づけました。

この記念誌が現代の私達の備忘のみならず、後代の人々に東京奄美会歴史の証言として役立つものであれば、編集に汗を流した諸兄姉にとりましても大変うれしいことと思います。

平成十六年七月吉日

天皇陛下より御製（ぎょせい）のお歌と皇后陛下御歌（みうた）「日本復帰五十周年を迎えし奄美にて」と、式典にご出席になった翌朝、土盛海岸におでましになり、日の出をご覧になった折の御歌が書かれています。

2,300 人収容の渋谷公会堂は 1 階・2 階まで超満員

東京奄美会

スローガン

～島興し～ふるさと奄美の力になろう

東京奄美会は、奄美の島々から出てきて首都圏で暮らす人々がお互いに励ましあい、助け合い、郷土の発展に積極的に役立ちたいという志を持った人々の集まりです。13の郷友会の連合体であり、文化広報部会、青年部会、女性部会を設置し、それぞれ積極的な活動をしており、明治37年の設立以降、今日まで継続してきました。

女性陣は奄美大島紬を着て、新年のご挨拶

会　長　森　眞一
幹事長　花岡 正美
〒286-0201　千葉県富里市日吉台4-18-12
☎090-3552 -4834　出身地　笠利町佐仁
事務局長　中濱 寛
〒157-0061　東京都世田谷区北烏山3-14-17

東京奄美会の経歴

明治37年（1904）	1月	正式の団体を結成。名称を「在京大島郡青年会」とする
大正 9年（1920）	1月	総会にて「大島郡青年奨学会」設立を決議
昭和 4年（1939）	11月	総会にて会の名称を「東京奄美会」と改称
21年（1946）	12月	「全国奄美連合総本部」及び「奄美連合東京本部」を結成
		復帰運動に本格的に取組む
38年(1963)	11月	中央大学講堂で奄美群島復帰10周年記念祝賀会・芸能祭
平成 5年（1993）	6月	お茶の水湯島聖堂「斯文会館」で奄美文化フォーラム第1回講座開講
9年（1997）	6月	目黒さつき会館にて「青年部」立上げ
10年（1998）	11月	東京国際フォーラムで東京奄美会創立100周年記念大会
19年（2007）	6月	豊島公会堂で第1回奄美フェスタ開催（青年部設立10周年記念）
21年（2009）	10月	目黒さつき会館で東京奄美会女性部創立15周年記念総会。
22年（2010）	11月	奄美豪雨災害義援街頭募金：於／池袋・新宿・渋谷・東京・上野駅頭
25年（2013）	10月	渋谷公会堂で奄美群島日本復帰60周年記念式典

唄者の大和君

奄美市東京事務所所長
松原昇司さん

ホームページ http://www.tokyo-amamikai.com/・Facebook なし

私の履歴書

会長 森 眞一

出身地：沖永良部島　和泊町畦布
生年月日：昭和 17 年 8 月 20 日（満 72 歳）
現住所：千葉県四街道市和良比 256-215
e-mail：mori.shinichi.@beige.plala.or.jp
TEL&FAX：043-433-2288
出身校：和泊町立和泊小学校→
和泊町立和泊中学校→
鹿児島県立沖永良部高等学校→
立正大学経済学部

★生まれたシマに対する思い

学ぶことの大事さを老いるごとに実感しています。学ぶことへの私の思いは、次のような環境において育まれたと思っています。

かまどの火で新聞の端切れ（買い物の包み紙）を読む母の姿、「勉強ができれば東京の叔父さんが待ってるよ」と口癖のように励ましてくれた両親、世界の偉人・西郷隆盛の上陸地、伊延港の身近な存在、小学校の行き帰りに通った西郷南州神社、南州橋、小学校校歌の「黒潮洗う磯の辺に、偉人の垂れし、道教え」の一節――。貧乏ながらも本当に良い環境に育ち、向上心を植えつけられました。

近隣の皆さんの温かい目、よき先輩、後輩もまた人生の師であり、忘れられない存在です。第二の人生を含め、社会に貢献できたと自負できるのは、沖永良部で授かった素養がベースであると感謝しております。

★シマの財産とは？伝えていきたいこと

生まれ育った沖永良部、和泊町が志向し、実践して来た教育の充実、すなわち「人つくり」の源流は、文久年間、流人や遠島人とも言われた川口雪篷、西郷隆盛翁であると考えますが、1年半余の牢生活にありながら、「敬天愛人」の思想を打ちたて、心ある若者を教え導いた西郷さん、早魃（かんばつ）時に備える「社倉」の構想は“相互扶助”“結い”の精神を島民に植え付けております。

その遺訓を受け入れ、後世に脈々と伝えてきた島の先人達に敬意と感謝の念が沸いてきます。いつまでも語り伝えられ、形として残して行くべきでしょう。

★日本復帰への思いや、活動された取り組みなど

小学校低学年のころ、学区内の海岸沿いの石ころの小道を「なんで　かえさぬ、えらぶ　と　よろん、おなじはらから　あまみしま」と、声高らかに歌いながら旗行列をした。それが記憶する唯一の私の復帰運動です。

その後、学生生活で学ぶ中で、また社会人として先輩たちと交友し苦労話などを聞く中で、純粋で一途な民族意識の高さ、強い団結心を持って、悲願の祖国復帰を実現した事実を知り感動し、敬意を表し、感謝してきました。

★私の成功への哲学

「何事も使命感を持って、事を為そう」

この言葉は、私にとっては「自分に与えられた仕事は誠心・誠意、責任を持ってやり遂げよ」という意味であり、過去のさまざまな経験から生まれた心情です。

たとえば、就職間もない検疫所時代は常に上司が引き立ててくれ、「もっと都会で勉強しろ」と転勤を推薦してくれました。その言葉に支えられ2年間隔で転勤でき、満足する職場で悔いのない仕事ができました。

また厚生労働省、環境省、日本精神科病院協会、日本リウマチ財団では医師、看護師等、医療関係者との協働を経験し、仕事を誠実に実行する中で良い人間関係を構築することもできました。

「労働が人間を教育する」という言葉がありますが、職場において異職種の皆さんと対等に、臆することなく、歯車として機能できたのは、仕事の中に学ぶ努力をしたからではないかと思う今日この頃です。

★シマを出る子供たちへのメッセージ

自分の環境を悲観せず、おごらず、裸一貫、自分の道は自分で開くんだとの気概を持って、真一文字に進みましょう。

あなたが育った町には何か誇れるものがあるはずです。その知識を持ってください。その知識があなたの自信となり、他郷の人に対し卑屈にならず、自分は田舎者と思わなくて済みます。

和泊町では、和泊町歴史民俗博物館、西郷南洲記念館が有名ですね。あなたが日々通る道端にも史跡があるのではないですか。島を離れる前に振り返って見ましょう。自分の国を自慢し、相手のお国自慢を受け容れることで、良い人間関係が築けるでしょう。

★シマを出てからこれまで

昭和 36 年 3 月　厚生省鹿児島検疫所与論出張所
38 年 12 月　同・名瀬支所
43 年 6 月　同・東京検疫所
48 年 8 月　同・環境衛生局　水道課
51 年 6 月　同・公衆衛生局　保健情報課、結核成人病課
55 年 6 月　環境庁環境保健部特殊疾病対策室
57 年 4 月　厚生省水道環境部水道整備課
59 年 4 月　環境庁大気保全局企画課
61 年 4 月　厚生省生活衛生局食品保健課　書記
平成 元年 4 月　同・保健医療局　公衆衛生監査官
3 年 4 月　同・生活衛生局　生活化学安全対策室、指導課
6 年 4 月　同・保健医療局エイズ結核感染症課、精神保健課社会復帰対策指導官
10 年 4 月　厚生省成田空港検疫所次長
12 年 4 月　社団法人　日本精神科病院協会　事務局長
19 年 4 月　公益財団法人　日本リウマチ財団　専務理事（26 年 6 月退職）

（その他）
平成 26 年 11 月　東京奄美会　会長　就任
東京沖洲会　副会長
元・関東沖永良部高等学校同窓会　会長
元・東京和泊校区交友会　会長
元・東京湾門会　会長

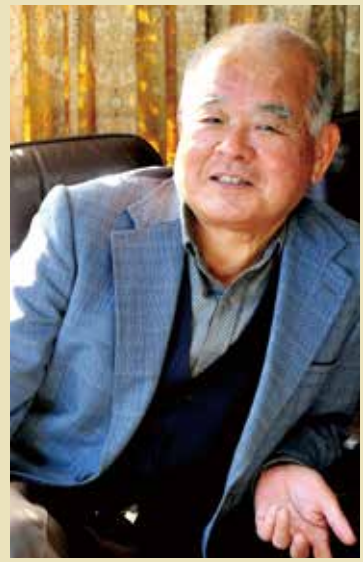
埼玉奄美会

スローガン

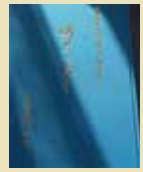
奄美群島の景勝地、伝統行事および温暖な気候を活かした農作物、果樹等、群島（五島）の自然環境を観光資源に有効に活かす情報発信を積極的に行うこと

私の履歴書

会長 松村 久



出身地：徳之島
生年月日：昭和 14 年 12 月 20 日（満 75 歳）
現住所：埼玉県川口市東川口 4-30-35
TEL & FAX：048-295-7767
出身校：鹿児島県立市来農芸高等学校→東京農業大学



★埼玉奄美会が誕生した経緯と想い

埼玉県在住の奄美出身者情報交換の場および親睦を深め、さらには故郷奄美を愛する話題、お互いの生まれ育った「島」の話題を提供する場とする。

★シマを出てからこれまで

昭和21年、小学校に入学しましたが、義務教育初期の基礎的知識を学ぶ重要な時期に、閉鎖的な占領時代で生活・教育環境、指導者等不足で大変困難な8年間でした。昭和28年に奄美群島復帰によって、学校施設の充実、教育内容の改善等で生活環境、教育環境が改善され、生活や教育等の活動範囲が広域になりました。昭和30年4月に奄美の近代農業を目指して市来農芸高校に学びましたが、農業生産物が過剰で、これからは住みよい緑豊かな街づくりの時代と考えたことから都市計画に興味を持つようになり、東京農業大学農学部造園学科に入学。公園、街路、造園等を学び、昭和37年に卒業しました。

学んだ専門知識造園を活かすべく公共事業のできる公務員を希望して、埼玉県川口市役所に昭和37年4月に就職しました。

★生まれたシマに対する思い

自然環境に恵まれた、温暖気候の島で生まれたことが自慢です。島のために、これからも私にできることがあったら協力したいと思います。

★シマの財産とは？伝えていきたいこと

山、海、農地、川が調和した自然と、心豊かな人情です。温暖な気候を活かした農作物、果樹園芸、花卉園芸生産などを観光資源として人々に伝えていきたい。

★私の成功への哲学

鹿児島、東京で学び、埼玉県に就職してからは地域、環境、生活習慣等を学んだ。そして人々との情報や意見交換等の経験を活かし、市の行政都市計画である緑豊かな街づくりの企画立案をし、実施計画、事業に参画。専門知識が発揮できる職場で36年間、これらの事業すべてに携わることができた。1964年には東京オリンピックも開催され、高度成長時代と共に多数の人々と出会ったことがよかったと思います。

★日本復帰への想いや、活動された取組みなど

小学校、中学校時代は生活困難で、自給自足生活で勉強より家族全員での農産物生産が日課でした。

日本復帰後は復興事業の環境、生活、教育関連事業等が盛んになり、島の人々に生活、教育等に対して意欲が出て、島全体が明るくなりました。

★シマを出る子供たちへのメッセージ

自然豊かで温暖な環境と人情味ある島の人々に育まれている君達は、都会から見れば何とうらやましいことでしょう。島から離れると島の良さがとてもよく分かります。島の宝です。今は自分の仕事（勉強）を頑張って力をつけること、そして人々を大切に思う心を持ち、いろいろな経験を積み重ねて、将来自分がどうしようか、前を向いて進んで欲しい。

埼玉奄美会の経歴

埼玉奄美会として活動する以前は、埼玉県在住の奄美出身者の親睦を目的として

1. 一重、一瓶を持ちあって、飲み、食べて楽しい一日を過ごすこと
2. 焼肉パーティー（公園）いっぱい
3. ゴルフ大会していっぱい

お互いに飲んだり、食べたり楽しく過ごすことが出身者の拠り所となっていました。

○年会イベント
・2015 年の総会は第 40 回
・年 1 回総会 8 月後半
・ゴルフ大会年 1、2 回

幹事長　里村哲生
出身地　天城

ホームページなし・Facebook なし

中部奄美会

スローガン

故郷との懸け橋

省みますれば故郷奄美を後に内地の津々浦々にやって来て、そしてこの中部地区に安住を求め各分野で活躍しておられる数多くの出身者がおられます。

奄美の同胞が一堂に会する場をつくり「絆」を深めようと準備委員会を結成し、平成12年（西暦2000年）に「第一回中部奄美会」を開催しました。

平成17年には愛知万博・中部国際空港・第二東名高速道路の拠点等、日本の中心地として発展して参ります。少子高齢化社会、情報通信改革化と二段と厳しくなる世の中で、私達は郷土意識に燃え関東奄美会の伝統を見習い、老若男女参画でこの会を発展したいと思います。

《故郷は遠きに在りて思うものなり》すばらしい故郷です。美しい伝統芸能や文化を後世に伝えて行かなければなりません。この中部奄美会がその一助となれば幸いです。

中部奄美会　名誉会長・顧問
寺師一蔵氏

奄美フェスティバル

私の履歴書

会長 南 典憲

出身地：奄美大島　笠利町川上
生年月日：昭和 23 年 4 月 13 日（満 67 歳）
現住所：名古屋市緑区大清水 1-1412
e-mail：mimami_amami@yahoo.co.jp
TEL：090-3554-6892
FAX：052-823-7374
出身校：屋仁小学校→赤木名中学校→鹿児島実業高等学校

★シマを出てからこれまで

昭和37年鹿児島実業に入学。鹿児島弁に苦しみながら昭和42年卒業、名古屋鉄道に就職し、昭和45年に名鉄の先輩有志らでボウリング場を立ち上げ、ボウリングブームも去った。昭和49年にボウリング場に居た先輩達が立ち上げた建築会社に就職し7年間修行、55年独立ミナミ店装を創業、平成元年㈲ミナミ店装設立、主に店舗の改装工事、住宅リフォーム工事を行っている。

★生まれたシマに対する思い

集落の皆んなが家族で結いの心の中で育ち、自然の中で生活して来て今の自分が有り、一人間として成長させたすばらしいシマ。感謝感謝。

★シマの財産とは？

伝えていきたいこと

手つかずの豊かな自然、人情味あふれたもてなしの心。島唄などの奄美の伝統文化。

★私の成功への哲学

不撓不屈、誠実、相手の立場になって行動をする。

★シマを出る子供たちへのメッセージ

何事にも挫けず一生懸命で、良い友達を沢山つくること。

中部奄美会の経歴

歴代会長

第 1 回	2000 年	中部奄美会創立 寺師一蔵
第 2 回	2001 年	寺師一蔵
第 3 回	2002 年	寺師一蔵
第 4 回	2003 年	寺師一蔵
第 5 回	2004 年	寺師一蔵　※奄美で総会開催
第 6 回	2005 年	寺師一蔵
第 7 回	2006 年	寺師一蔵
第 8 回	2007 年	寺師一蔵
第 9 回	2008 年	寺師一蔵
第 10 回	2009 年	寺師一蔵　※ 10 周年記念総会
第 11 回	2010 年	栄 健三
第 12 回	2011 年	栄 健三
第 13 回	2012 年	栄 健三
第 14 回	2013 年	奥田新一
第 15 回	2014 年	奥田新一　※ 15 周年記念総会

新年会

会 長　南　典憲
幹事長　仁村　保郎
〒471-0066　豊田市栄町四丁目 2-19
☎ 090-3552 -4834　出身地　笠利町左仁
事務局長（書記、会計）　西　達成
〒478-0052　知多市八幡新町二丁目 1-40 エスケート早川 202
☎ 090-8961-5381　出身地　笠利町須野

◆恒例のゴルフイベント

2015 年ゴルフイベントについて、今年は国民文化祭の関係で市民体育祭が 15 日となることから、11 月 14 日（土曜日）開催予定です。昨年は名古屋からチャーター便で６０名参加するなど、奄美と中部、出身者やファンとの交流多数参加の予定です。　担当：森　克事

ホームページ http://www.e-erabu.net/amamikai/・Facebook なし

関西奄美会

スローガン

会員相互の親睦融和と共栄を図り、併せて郷土の振興発展に寄与する事を目的とする

★関西奄美会とは

関西奄美会は、関西在住の奄美出身者および、その縁故者を会員とし、奄美群島12市町村の全ての会をもって組織されています。喜界島、北大島、南大島、徳之島、沖与（沖永良部島、与論島）の5地区、計16団体からなり、会の運営はこの5地区が輪番で担当しています。

【関西奄美会5地区　傘下16団体】

喜界地区　関西喜界町郷土会

北大島地区　近畿笠利会、関西名瀬連合会、関西住用会、関西龍郷会、関西大和大棚校区会

南大島地区　関西宇検村会、関西瀬戸内会

徳州地区　関西徳州会、関西徳之島町郷土会、徳之島町関西東天城連合会、関西天城町連合会、関西伊仙町連合会

沖与地区　尼崎沖洲会、大阪沖洲会、

関西与論会

当会は、大正5年に「大阪大島郡人会」として発足し、世相とともに組織名の変更などを行いながら昭和20年の終戦まで存続してきました。

戦後は本土にある全国の奄美会と連携し、早期の奄美群島祖国復帰を求めて活動。昭和28年に祖国復帰を果たした後は、会員の親睦融和と共栄を図り、郷土の振興発展に寄与することを目的として、郷土と共に、関西在住16市町村郷友会団体の活動および関係団体の行事など、さまざまな活動を展開しています。

今後とも、「故郷奄美の夢の架け橋」となるべく、会の存続・発展に努めてまいる所存です。

関西奄美会新年互礼会は、本年も盛大に開催され、皆で郷土を育みました

関西奄美会の経歴

大正 5 年10 月	関西奄美会のルーツ、大阪大島郡人会が「同胞を網羅し」設立総会
15 年 9 月	奄美大島で暴風雨のため死者・不明 146 人
11 月	関西大島郡人会は大阪で慈善興業を催し、義援金 3,400 円を送金
昭和 21 年 2 月	敗戦で奄美・沖縄が本土から分離
26 年 7 月	祖国復帰を求め雨の中、大阪府立大手前会館で 4 万人の総決起大会
28 年 8 月	ダレス米国務長官が奄美返還を声明。 大手前会館で感謝祝賀会「泣いて祝う 4 万」（12 月に復帰）
33 年 11 月	武庫川河川敷で大運動会（毎年恒例となる）
44 年 3 月	奄美と阪神を結ぶ定期航路のサービス改善運動（49 年 8 月まで）
50 年 9 月	徳之島から闘牛 16 頭を神戸丸で運び神戸の須磨浦海浜公園で闘牛大会
平成 7 年 8 月	尼崎市産業郷土会館、周辺公園で「キバランバ・関西」開催
15 年 10 月	復帰 50 周年で御堂筋パレードに参加
22 年 12 月	北大島豪雨被災義援金 10,760,605 円送金
23 年 11 月	東日本大震災義援金 593,000 円送金
26 年 3 月	大島高等学校選抜 21 世紀枠出場応援

執行部

会長　栄　俊彦（近畿笠利会）
幹事長　久保秀基（関西名瀬連合会）
事務局長　山田只一郎（関西名瀬連合会）
女性部長　内田サユミ（関西名瀬連合会）

◆今後のイベント

平成 27 年 4 月 12 日　第 98 回総会並びに芸能大会

ホームページ http://www.kansai-amamikai.jpn.org・Facebook 関西奄美会

私の履歴書

会長 栄 俊彦

出身地：奄美大島　笠利町須野
生年月日：昭和 20 年 1 月 24 日(70 歳)
現住所：〒551―0012
大阪市大正区平尾 2 － 23 － 17 － 207
e-mail：69262124tosihiko @ gmail.com
TEL& FAX：06 － 6554 － 3515
出身校：笠利小学校→笠利中学校→大島高等学校

★関西奄美会での取組み

北大島地区執行部発足以降の活動をご報告いたします。

【会員相互の親睦融和・共栄のために】

関西奄美会の第一の目的は、会員相互の親睦融和と共栄を図ることです。平成26年（2014）には、当会を構成する16郷友会の各会が開催する総会に出席いたしました。各会ともすばらしい歴史と伝統を誇り、大運動会、芸能大会、敬老大会、懇親会を兼ねて盛大に開催されました。

また平成27年には当会主催により1月11日に関西奄美会新年互礼会を開催、4月12日には第98回関西奄美会総会並びに芸能大会も、16郷友会のご協力を頂きながら盛大に開催することができました。

【郷土の振興発展のために】

当会の第二の目的は、郷土の振興発展に寄与することです。このためには郷土の現況把握が重要であり、平成26年6月20～28日、久保秀基幹事長、内田サユミ女性部長の3名で奄美群島12市町村、関係団体を表敬訪問致しました。

また、平成27年1月31日～2月4日にも、役員2名とともに喜界町、笠利町、龍郷町、瀬戸内町、宇検村等の行政機関を表敬訪問致しました。これら表敬訪問では市町村長、幹部職員の皆様方とも意見交換でき、大きな成果がありました。

これからも郷里の関係団体との連携を深め、奄美群島成長戦略ビジョンの実現に協力して郷土の振興発展のため努力いたします。

【各種イベントへの協力・参加】

平成26年10月4～5日、豊中市・せんちゅうパル南広場（千里中央駅）で開催された『第1回奄美の観光と物産展in大阪』では、奄美物産販売、お楽しみ大抽選会、奄美群島のシマ唄芸能祭などを実施し、ご好評をいただきました。

また、27年3月7～8日の『大阪国際空港就航都市物産展』に奄美市が参加。当会も女性部が踊りで応援しました。

★生まれたシマに対する思い

稲作や砂糖キビ栽培の盛んな昭和20～30代に、18歳まで笠利町須野で過ごしました。小学生、中学生時代は年中農作業、牛の餌にする草刈り、薪取り、海や川での魚釣りと恵まれた自然環境の中で先輩、後輩と一緒に遊ぶなど、楽しい思い出が多いです。

★シマの財産とは？

伝えていきたいこと

奄美・琉球と同緯度の所はほとんど砂漠地帯だといわれています。

故郷の恵まれた自然環境と先祖の生活の中で育まれた食、言葉、祭り、民謡、踊り、大島紬等の伝統産業を大切にしましょう。

★夢を実現するには

大きな夢を持って、努力を続ければ夢は必ず実現する。仕事、交際、読書などで正しい生き方をして下さい。

★シマを出る子供たちへのメッセージ

大きな夢を実現するため、人間として一番大切なことを見聞き体験して元気で頑張りましょう。奄美出身を誇りとして生きよう。

★シマを出てからこれまで

昭和 38 年（1963）4 月　大阪市都島区役所、朝日区役所アルバイト
　39 年（1964）4 月　大阪市役所に奉職
平成 17 年（2005）3 月　大阪市役所退職
　17 年（2005）4 月（財）大阪市公園協会就職
　21 年（2009）3 月（財）大阪市公園協会退職

※昭和 38 年（1963）10 月開催の近畿笠利会総会に参加してから先輩方のご指導を受けて参りました。

関西奄美会の歌

作詞　福岡正信
作曲　徳山博良

一、砂浜白く　海青き
　サンゴの島の　はらからが
　夢もふくらむ　歌ごえは
　われ等　関西奄美会

二、遠きふる里　偲びつつ
　つとめひと筋　打ち込みて
　島の栄えの　一翼を
　担う　関西奄美会

三、集いたのしく　腕を組み
　握る手と手に　血が通う
　堅くこころの　輪を結び
　伸びる　関西奄美会

四、郷土奄美に　捧げたる
　燃える情熱　承けつぎて
　島の誇りを　高らかに
　歌う　関西奄美会

★ PC、スマートフォンで聴く Youtube『関西奄美会の歌』
https://www.youtube.com/watch?v=dAZLsDOp9lQ

神戸奄美会

スローガン

地元（神戸市民）にも奄美の魅力を伝える

●神戸奄美会が誕生した経緯と想い

航空路の無い時代。奄美の島々から関西へと向かった客船は、神戸港中突堤（神戸の中心部）へと入港した。そのため神戸は多くの奄美出身者が住む。神戸市では最大のまつり（観客100万人、5月開催）である「神戸まつり」には「神戸奄美会」として参加、南国の魅力を発信している。年1回総会・芸能大会を開催（500人規模）。平成6年から神戸奄美会館を所有、活動拠点としている。

●神戸奄美会が大切にしていること

地元の人達（神戸市民）に奄美の魅力を伝えるのも郷土員の役割のひとつ神戸まつりには20数年間連続で参加。今年は約70人の女性部員たちが大島紬姿で「島のブルース」（三沢あけみ）を踊った。

神戸奄美会館の発展的維持運営会館の発展的維持運営には経費がかかるが、今後とも会員交流の場として維持管理を図っていく。

全国の郷友会中でも唯一、会館がある神戸奄美会

前会長中井氏と新会長南氏の団結力に今後も大きな期待が寄せられる

神戸奄美会の経歴

昭和　6年（1931）　5月	神戸奄美連合会（または大島郡人会と称す）結成
昭和 28 年（1953）　3月	神戸奄美連合会を「神戸奄美会」と改称する
昭和 55 年（1980）11 月	神戸奄美会創立 50 周年記念大会開催
平成 6 年（1994）2 月 27 日	神戸奄美会館竣工祝賀会開催
平成 7 年（1995）3 月 19 日	阪神淡路大震災犠牲者（死者 146 人）慰霊祭開く
平成 20 年（2008）11 月	法律改正により会館の名称が「一般財団法人神戸奄美会館」になる
平成 25 年 8 月 18 日	会館設立 20 周年記念「文化芸能発表会」を開く

会長　南敬一郎
〒674-0083　明石市魚住町住吉 3-1295-10
☎ 078-947-7511　mobile: 090-9719-7110
出身地：鹿児島県沖永良部島　知名町住吉
幹事長　池田純厚
〒655-0048　神戸市垂水区西舞子 9-16-19
☎ 078-783-5478　mobile:090-4562-1054
会計部長　福田正晴
〒658-0014　神戸市東灘区北青木 3-8-22-1
☎ 090-3843-8037（要確認！）
女性部長　宮田和枝
〒657-0837　神戸市灘区原田通 3-3-2
☎ 078-871-8925

ホームページなし・Facebook なし

私の履歴書

前会長 中井和久

出身地：奄美大島　名瀬古田町
生年月日：昭和 21 年 11 月3日（満 68 歳）
現住所：兵庫県神戸市垂水区山手 4-4-24
TEL&FAX：078-751-4208
Mobile：080-3133-5101
出身校：鹿児島県立大島高等学校→北九州市立大学

★シマを出てからこれまで

昭和45年に北九州市立大学文学部を卒業後、神戸新聞社に記者として入社。編集局社会部、東京支社、姫路支社、阪神総局などで事件・事故、政治、行政などを担当。最終ポストは神戸新聞阪神総局長（5年半前に退職）。

大学に入学したころは「奄美との関係は切れた」と思ったが、昭和45年神戸に来てからは、私の古里観が一変した。取材で会う人、会う人、奄美群島や鹿児島県出身者の多いこと。記者生活を続けるにつれ「神戸と奄美・鹿児島は密接不可分。これからは奄美にどっぷり浸かりながら仕事をしよう」との考えに切り替えた。

阪神総局長をしながら、平成17年10月～同19年10月は関西名瀬連合会会長、平成20年10月～同22年10月は関西安陵会会長（鹿児島県立大島高校の同窓会組織）を務め、「皆で仲よく」「奄美はひとつ」を合言葉に会の運営に当たってきた。平成24年11月から26年11月までは、全国の奄美会でも古参格に当たる神戸奄美会の会長を致しました。

★これまでの取組み

神戸には「神戸沖洲会館」「神戸奄美会館」という二つの奄美関連の郷土会館がある。このことは、全国の奄美会の中でも特筆すべき事柄である。

先に沖永良部島出身者で建設された「神戸沖洲会館」を手本に、徳之島、本島出身者が建設推進活動を展開。平成6年2月、「神戸奄美むつみセンター」として発足させた。「阪神・淡路大震災」による建物半焼、出身者の熱意、尽力による再稼働を経て、平成13年3月には現在の場所に移転。新たに名称を「神戸奄美会館」とした。会館はシマ唄、踊り、着付けなどの貸し教室としても使われ、奄美だけでなく、沖縄民謡なども教えられていて、さながら南国情報の発信拠点となっている。

神戸奄美会は地域の人たちとの触れ合いを大切にしている。毎年5月に100万人の見物客で賑わう「神戸まつり」には、神戸奄美会創立60周年を迎えた平成2年に初参加。以来、唄や踊りでまつりを盛り上げている。

神戸には様々な県人会や郷土会があるが、実行委員会の審査をクリアしなければ参加できない神戸まつりのパレードに20数年も連続出場しているのは、わが奄美会だけ。「地域密着型」の郷土会を今後とも目指していく。

★二つの震災を通して実感したこと

神戸を語る時、避けて通れないのは、平成7年1月17日未明に兵庫県南部を直撃したあの忌まわしい「阪神・淡路大震災」である。6344人が亡くなった戦後最大の災害となったが、うち奄美出身者は確認されただけでも146人。同3月19日、神戸市中央区、布引中学校講堂において、神戸奄美会主催による合同慰霊祭が行われた。寒々とした講堂に嗚咽が漏れ、自然災害の恐怖に戦（おのの）いた。

震災直後から奄美の各市町村長が、出身の被災者を激励するためにこぞって来神。瓦礫の街を移動されて心のこもる多大な義援金を贈られた。「故郷と私たち出身者は繋がっていた」と、私たちが実感した瞬間だった。

平成22年10月20日、奄美は24時間雨量としては過去最多となる集中豪雨で大きな被害を受けたが、神戸奄美会からは第一次義援金、第二次義援金を奄美市役所へ送金した。せめてものお返しだが、出身者、在住者が「奄美はひとつ」との思いを共有しながら、行動を展開していけば「これからの奄美」の活路が開かれていくような気がする。

★日本復帰への活動

平成25年は奄美群島が米軍政下から逃れ、祖国復帰を果たして「60周年」という節目の年となった。神戸奄美会では、これを記念して、復帰が果たされた昭和28年に大島高校の自治会会長をされていた大勝方興氏（大高4回卒、徳之島出身、神戸市在住、元小学校長）を招き、復帰運動などについて語ってもらった。

昭和28年は小生が名瀬の小学校に入学した年。1年生も短縮授業となり、午後は復帰祈願の「日の丸行列」へ狩り出された。

日の丸行列のことを後輩に語ると「復帰70周年では、若い人たちへの語り部役をして下さい」との言葉が返ってきた。復帰70周年ともなると、復帰を経験した語り部も減る。要請があれば、少年時代のことも語ろうと思っている。何せ、奄美が熱く燃えた時代だから。

★シマを出る子供たちへのメッセージ

今、私が自身に言い聞かせている人生哲学は「コツコツと努力し、淡々と生きる」。仕事、仕事の人生を歩んで来たので、定年後はスポーツ、カルチャーを満喫し、その成果を高めていきたい。テニス、ボクシング、カラオケ、川柳、スペイン語、中国語。どれも楽しいし、貪欲にすべてをものにしたいと思っている。頭に浮かぶキーワードは高校時代の校是でもある「文武両道」。高校時代を含めた人生というステージで、文武両道に通じるとのスタンスがあれば、理想的な生活が送れると確信する。

若い人たちに言いたいのは、一日一日は平凡な努力の積み重ね。そこの延長線上に目的達成や夢の実現があることを忘れずに邁進して下さい。

広島奄美会

スローガン

会員相互の親睦を図り郷土奄美の発展に寄与すること

●広島奄美会とは

・島口・島唄（民謡）・踊りが「懐かしゃ、哀しゃ」で、生まれ島の雰囲気を味わえる場所。

・奄美群島の情報や話題に一喜一憂しつつ、それを共有すると共に奄美群島出身以外の会員や友好団体に奄美群島を知っていただく場所。

・奄美群島の文化・芸能を奄美2世・3世へと伝承する機会を提供する場所。

※郷土愛を大事にしながら、生活の場である広島で「結の心」を大切にする郷友会。

●日本復帰の取り組み、活動など

（以下、敬称略）

【平成25年（2013）懇親・忘年会】

（1）奄美市から借用した奄美群島復帰60周年記念の旗を会場に掲示。

（2）関西奄美会編集の「奄美群島日本復帰60周年記念映像（DVD）」を放映。

（3）「奄美ファンサミット」・「奄美群島日本復帰60周年記念式典」報告。

（4）奄美群島日本復帰60周年式典で放映されたDVDを放映（奄美群島広域事務組合製作）

（5）「奄美群島日本復帰60周年によせて」と題して、

①8月頃から会員の方（5人）に戦中戦後の体験の聞取りを開始。

②第8回懇親・忘年会で5人の中から、3氏（兒島義夫、永野幹雄、永田てつ子各氏）に復帰当時の想いを熱く語っていただいた。

【平成26年（2014）定期総会】

（1）前年の懇親・忘年会で3氏に語っていただいた内容を部分的に編集して、定期総会の綴じ込み資料とした。（部分編集や「」のタイトルの追記については3氏の了解をいただいた。）

○兒島義夫…「我は海の子」、

○永野幹雄…「あの時の日記」

○永田　てつ子…「中・学生の思い出」

4月9日。設立総会　　来賓の祝辞でスタート！

広島奄美会の経歴

平成18年（2006）	この年の4月9日に創立総会、花見会（参加者19人）からスタートしました。 永田　巌初代会長就任（平成18～23）
20年（2008）	広島県奄美会会則承認（定期総会）、「広島エイサー琉風会」友情出演（忘年会）
22年（2010）	婦人部承認（定期総会）、奄美豪雨災害義援金活動、広島県奄美会の旗製作（2旗）
23年（2011）	森田忠喜二代目会長就任、「牧岡奈美（喜界島出身）」島唄ゲスト出演（定期総会・懇親会）
24年（2012）	「奄美諸島の方言について」（解説は会員の　町 博光、重野裕美）、「澤井毎里子&上地愛美ﾗｲﾌﾞ」 沖縄民謡　（いずれも懇親・忘年会）。
25年（2013）	牧岡奈美（喜界島出身）島唄ゲスト出演（定期総会・懇親会）。 奄美ファンサミット出席（森田）、奄美群島日本復帰60周年記念式典出席（森田）、 広島県奄美会法被お披露目（懇親・忘年会）。
26年（2014）	大島高校甲子園出場寄付金活動、「竿田美也子（沖永良部島出身）」ミニライブ（定期総会・懇親会）

※友好団体：広島沖縄県人会、広島宮崎県人会、広島宮古郷友会

※来年2016年4月に創立10周年を迎えます。

ホームページなし・Facebookなし

私の履歴書

会長 森田忠喜

出身地：奄美大島　龍郷町幾里集落
生年月日：昭和 23 年 9 月 4 日（満 66 歳）
現住所：広島県安芸郡熊野町呉地五丁目 36-16
e-mail：chu-morita@hi3.enjoy.ne.jp
TEL：082-854-7109　090-3554-6892
FAX：082-854-7109

★シマを出てから　これまで

①漁業後継者の育成

シマの各集落では「港湾・漁港」、「道路・河川」の整備・拡張事業が着実に行われています。これらの事業は、島民の生活や陸・海上輸送の充実に重要です。一方、一部の集落は別として、多くの集落では過疎化が進んでいます。事業の中で、漁港に関しては、いずれ「漁港は出来たが漁師がいない」、という状況になるのでは、と危惧しています。私の集落（秋名・幾里）の土地改良事業の二の舞にならないためにも、漁業後継者の育成が急務ではないかと想います。

②学校教育で奄美群島の「歴史」と「経済活動」の学習を。～若者定住のために～

私は「奄美群島の歴史」の学習を通して、苦難の歴史を乗り越えた奄美群島の先人達の生き方を学び、その先人たちを誇りにすべきだと思います。また、奄美群島の経済活動を学習することで、何が奄美群島の島おこしに、つながるかを知ることができると思います。これらを、小・中学校で学習しておけば、島内に自分の生きる道を定める若者が増え、また島を出た若者の中にも所定の目的を達成すれば、島に戻る人が現れるかも知れません、と考えるのは単純でしょうか。

③奄美産の土産物の豊富さに感動

三十数年前のこと、私が帰省した時にシマで買う土産物は数種類しかありませんでした。そこで、広島へ戻る途中の鹿児島で菓子類を買って土産物の穴埋めをしたものです。しかし、昨今のシマでの土産物は品物が豊富で選ぶのに大変です。あの当時に比べて隔世の感がします。紬業がかつての賑わいを失った今、土産物を含めた観光産業に力を注ぐシマの人達の活力・逞しさに感動します。

★夢への成功哲学

私は「夢への成功哲学」を語るほどの人物でありません。ただ、夢の実現へ向けての心構えの一つとして、「実るほど頭を垂れる稲穂かな」の生き方が大事ではないかと思っています。

★今後の取り組み、予定など

①原則的には各島からの会長選出

・各島々の会員の掘り起し、ひいては会の組織拡大につなげたい。

②懇親会において、喜界島から与論島までの5島による「一島一芸」が躍り出るような体制づくり（ムードづくり）

・各島々の幹事・副幹事を中心に要検討。

③副幹事を中心とした「若い人」のグループの結成と活動の支援

・広島県奄美会の将来の基盤作りにつなげたい。

・懇親会で「若い人」の出番を多くする。

④婦人部を中心とした伝統的なシマの食文化や舞踊等を共通話題とした地道な活動

・広島県奄美会の組織力の強化とシマの伝統芸などの次世代への伝承。

⑤懇親会が各島々の芸能を共有し楽しむ場、明日への活力の場となるための創意工夫

・奄美群島の情報伝達（島々の近況報告など）。

・本土音階の民謡（喜界島、奄美大島、徳之島）や琉球音階の民謡（沖永良部島、与論島）の共存共演の演出。

・婦人部を中心とした島の踊りなどに関する地道な練習会の開催。

★シマを出る子供たちへのメッセージ

シマを出る子どもたちの想いや、その理由は、進学や就職など、各人それぞれだと思います。私自身は、いずれは「シマへ戻る」の気持ちで「シマ」を出ました。しかし、「一時的に……」と思って就職したハズの職場に満足し、いつしか「シマへ戻る」の気持ちは薄らぎました。そして、その後の生活環境の変化もあり、現在は「シマ」へは戻れなくなってしまいました。

私自身の反省からは、「すとごれ!!」の気持ちで、「初心貫徹」を目指して欲しいです。

会長　森田忠喜
☎082-854-7109　出身：奄美大島（龍郷町）
副会長　長田富安
☎0823-34-1014　出身：沖永良部島（和泊町）
事務局長　櫨元幸二
☎082-276-1985　出身：鹿児島県日置市

福岡奄美会

スローガン

奄美の振興を願い、故郷を同じくする者として
お互いを支えあい、励ましあう

●福岡奄美会とは

奄美出身者が一堂に相集い、交友を温め、親睦を深め、奄美を偲ぶために組織され、今日に至っています。現在、正確に住所が把握されていて案内を出している会員は、約６００人。遠くは佐世保や熊本、北九州……からもお見えになります。最近は、若者が福岡の専門学校などへ来る事が多いのですが、その把握には苦慮しております。

会長　佐藤　義敏
福岡県大野城市乙金 1-7-2
幹事　松浦　宣夫
福岡市東区三苫 2-24-18　あまみ長寿庵
顧問　園田　慶一
福岡市中央区平尾１丁目 7-20-206
事務局　　福岡市中央区平尾５丁目 5-30
西日本ビジネス印刷（株）内連絡先
住所：福岡県福岡市中央区平尾5丁目5－30
西日本ビジネス印刷（株）内
☎ 092-531-4757　FAX：092-524-2545

福岡奄美会の経歴

平成13年４月　田中一村展開催協力（福岡市美術館）
14年５月　奄美観光物産展協力（奄美市と共催）
18年８月　奄美物産展と島唄協力（九州国立博物館）
19年５月　徳之島闘牛大会への協力（福岡県筑後市）
21年６月　朝崎郁恵さん福岡公演協力（博多百年蔵）
10月　島唄ライブへの協力（福岡市役所西側広場）
22年８月　大島高校吹奏楽来福応援（福岡サンパレス）
10月　奄美島唄の世界協力
23年１月　奄美豪雨水害義捐金募集
６月　奄美音楽祭協力支援
11月　奄美物産と黒糖焼酎 in 福岡協力
24年１月　加計呂麻島観光物産展協力
25年２月　奄美物産と黒糖焼酎 in 福岡協力
５月　プロ野球スポンサーゲーム応援（ヤフオクドーム）
12月「復帰６０周年奄美群島２１世紀の可能性」
共催（九州国立博物館）
26年１月　奄美物産と黒糖焼酎 in 福岡協力
９月　鹿児島物産展「奄美物産」協力（JR 博多シティ）

ホームページなし・Facebook 福岡県奄美会

私の履歴書

前会長 園田慶一

出身地：奄美大島　大和村名音名音
生年月日：昭和 21 年 12 月 21 日
現住所：福岡県福岡市中央区平尾 1 丁目 7-20-206
e-mail：misterkei0918@n-global.co.jp
TEL：092-521-5195　mobile：090-3412-2569
FAX：092-524-2545
HP：http://www.n-global.co.jp
出身校：名瀬小学校→金久中学校→鹿児島県立大島実業高等学校

★生まれたシマに対する思い

若い頃は島に生まれた事に自分自身でも偏見があり、出身地として奄美大島です!!とは積極的には中々言えなかったものです。ですが、年齢を重ねるにつれ、実社会の厳しさや冷たさ、あるいは家庭や社会活動の中で自ずから奄美の心や血、ＤＮＡが脈々と心身に染み込んでいる事を自覚するものです。人は、誰しも自分の家族や生まれ故郷の事は心の底に横たわっているものです。いつしか、島との接点が目の前に現れた時に、ふと故郷の懐かしさや幼い頃の思い出が突然の彷彿として湧き出してくるものです。島との接点は、各地の奄美会への参加や、島んちゅとの偶然の出会い、また時には、メディアに登場する想い出深い島の風景や風土、民謡や物産かもしれません。

あるいは、日常生活の中で艱難辛苦に襲われたり、心ならずも奈落を経験すると、やはり故郷に想いを馳せたり、親兄弟の姿を思い浮かべ、困難を乗り越えようとする気力や勇気がそこはかとなく湧いてくるものです。

昔は、「故郷は遠くにありて想うもの」でしたが、今ではその気になれば日帰りだってできる近さになってしまいました。でも。島への想いは距離の長短ではなく、心に存在する深さや広さの事である事に気づきます。今では、奄美の生まれだからこそ備え持った人格や性格、思い入れがある事が分ってきました。

★シマの財産とは？伝えていきたいこと

島の財産は、まず一番は自然の豊かさと世界にも類例が無いほどの動植物の固有種の多さではないでしょうか。これからもその保存に全精力を傾注して戴きたいものです。そのための世界自然遺産への登録だと思いますが、決して経済優先の奄美になって欲しくないものです。二つ目は、島唄に代表される民謡や民芸、郷土のお祭りや民舞だと思います。大切にいつまでも残していただきたいものです。都会の喧騒の中で、メディアで垣間見る島唄や六調、八月踊は郷愁の余り涙してしまいます。でも、何と言っても最も大きな財産は、奄美の人々の人柄でしょうね。人や団体のお世話事でも、そこはかとない寛容の心が漂っていたり、人を心底憎む事もしませんし相手の心や想いを斟酌して行動するのもそうかもしれませんね。こんな奄美の貴重な財産は永久に伝えて行かなくてはいけませんし、驕ってはいけませんが自分達がそういう民族である事には誇りを持っていたいものです。

★私の成功哲学

奄美に対する夢ではありませんが、最もそうあって欲しいと思う事があります。それは今の自然がいつまでも大事にされて、島の心を失うことなく、しかも経済的な自立ができるととても嬉しく思います。

今の奄美は、十分に世界に誇れる島であると信じています。

★日本復帰への想いや取組みなど

復帰50周年に際し福岡県奄美会としては「復帰記念例会」等を開催し、ご参加の皆さんと心を一つにして喜びを噛みしめたものです。

また、復帰60周年の折には、奄美での復帰諸行事に福岡県奄美会会長として数度に亘って参加させていただき、島の皆さん、行政の方々と大きな喜びに浸って参りました。その年の年末の福岡県奄美会例会では、「復帰60周年記念例会」として当時の映像やパネルを島から送って頂き懐かしい復帰当時の様子などをつぶさに拝見し多くの参加者が涙したものです。

日本復帰を勝ち取られた奄美の諸先輩が命をも投げ出して勝ちとった日本復帰という栄光、世界的にも存在しない凄い偉業は、いつまでも子供や孫にも語り伝えていかなくてはいけません。

★シマを出る子供たちへのメッセージ

島の先人達がそうであったように、奄美を後にしても怯むことなく自信を持って羽ばたいて戴きたいと思います。

戦後70年、幾多の奄美の人々が本土へ渡り、学問や仕事、事業に精を出し名をなし功を上げた方々は枚挙に暇はありません。それは、法曹界、政治、行政、医学、実業……全ての分野で顕著な功績を残した方々です。そうでなくても、社会で立派に務めあげた方々、地域や業界団体で十分な足跡を残された方々にも多くの奄美の方々が存在します。勇気をもって、奄美の気概を失うことなく羽ばたいて戴きたいものです。社会は、皆さんの努力や活躍を大きな期待を持って待っています。

自分の思うような結果が残せないときだって、世の中にはあるものです。だからと言って、人生を諦めたり、卑屈になったり、いじけたり、自暴自棄になってはいけません。だってあなたが生きる道は一つではないからです。多くの奄美の先輩たちもあなたと同じように、幾つもの挫折や失敗を繰り返しながら、試行錯誤を重ね努力を継続的に重ねてきた賜物が今なんです。

決して諦めない事、人生は努力の積み重ねですから。奄美のあなた達は、奄美という素晴らしい環境の中で逞しく育って来たのです。その事を常に念頭に置いて頑張って下さいませ。

霧島奄美会

スローガン

会員相互の親睦と融和を図り奄美人としての絆を深めるとともに、ふるさと奄美の発展に寄与する。

●これまでの取り組み
1 新年会・忘年会懇親会
2 花見大会
3 ふるさとアユ祭り
4 地区対抗駅伝（男子・女子）
激励壮行会車両等支援・応援
5 離島先生方の歓送迎に伴う
激励交流会
6 懇親旅行
7 イベント支援・参加等
8 広告協賛

●これからの方向性
1 組織の編成・確立
2 会員の若返り
高齢会員の2世・3世の取り込み
3 ふるさと奄美との連携
現役自衛官（国分自衛隊）との交流強化

霧島奄美会の経歴

昭和 48 年頃　国分の九州学院大学坂元理事長、同じく九州学院大学付属高校東校長、隼人の堅志自動車社長堅志幸一氏等奄美出身 3 名が発案、大学の体育館にて奄美出身者の懇親会を開催

昭和 50 年　国分隼人奄美会発足
　会長　　堅志幸一（住用）/ 会員約 200 人
平成 18 年　霧島市奄美会に名称変更
　会長　　堅志幸一 / 会員約 250 人
平成 24 年　会長勇退に伴う交代
　会　長　　濵畑秀夫（笠利）
　副会長　　久保一元（喜界）
　副会長　　重田勝也（名瀬）
　応援団長　勝　秀成（徳之島）
平成 26 年　新組織編制
　会　長　　濵畑秀夫（笠利）
　副会長　　久保一元（喜界）
　副会長　　勝　秀成（徳之島）
　幹事長　　前島利夫（龍郷）
　地区幹事　各郷友1名

会　長 濵畑秀夫
副会長 久保一元
応援団長兼副会長 勝 秀成
幹事長 前島利夫

ホームページなし・Facebook なし

私の履歴書

会長 濵畑秀夫

出身地：奄美大島　笠利町手花部
現住所：鹿児島県霧島市隼人町神宮 2-3-46
TEL&FAX：0995-42-4980
Mobile：090-2516-8754
出身校：手花部小学校→赤木名中学校→大島実業高校笠利分校（現大島北校）
NPO 法人 Joy ステーション　お助けマンきりしま

★生まれたシマに対する思い

昭和42年3月7日、奄美群島から7名が国分自衛隊の門をくぐり同期の桜として入隊。3ヶ月の新兵教育のなかで、島口で話す仲間との日常会話が本土の隊員から馬鹿にされ揶揄されるにつけ、生まれ育った故郷奄美を否定されたような思いがわき上がり、諍いも絶えない中で磨かれたのが「すとごれ魂」で、これが私の精神のよりどころとして、現在に至っている。

★シマの財産とは？伝えていきたいこと

1 人情に厚い島んちゅの心
結いの精神に基づく奄美の心
2 豊かな自然環境開発の波に流されることのないありのままの姿
3 地域の生活に密着した伝統文化
それぞれの風土に培われた伝統の島唄
五つの島々に根付く生活文化
語り継がれた島のことわざ

★日本復帰への想い・取組み

【想い】

日本復帰の昭和28年12月25日、私は6歳。おぼろげながら日の丸行進のみ記憶に残っている。群島民20余万の悲願、先人の壮絶な復帰運動等苦難の歴史に思いをいたし、風化させることなく後世に語り継ぐべき。

【取り組み】

鹿児島奄美会主催の奄美群島日本復帰60周年記念コンサート各種サポート
1 60周年記念事業の周知
2 広告協賛
3 コンサートチケット販売
4 開場に伴う受付業務

★私の成功哲学

座右の銘は「迷ったらやれ（すすめ）」人生において進退の選択で悩むこと多し、やらずに後悔するより、失敗を恐れずやってみよの意。

★シマを出る子供たちへのメッセージ

鹿児島には「泣こよっかひっとべ」という昔からの教えがあり、この教えの基に日本を代表する多くの偉人たちを輩出している。何をなすにも下積み時代がある。島から海を渡り一歩外に出るからには「すとごれ魂」をもって。「わーかんとうきぬ　なんぎやこーていでもすいりゃ」である。また、鹿児島には鹿児島奄美会、霧島市奄美会、姶良奄美会、加治木奄美会、薩摩川内奄美会があり、また日本各地に奄美会が組織されており就職相談、その他等各先輩方からアドバイスや手助けもできると思います。島んちゅの絆のもと、がんばりましょう。

★シマを出てからこれまで

【卒業後の履歴】

1967(S42).3	陸上自衛隊へ入隊（国分）
1971(S46).7	陸曹昇任（国分）
1972(S47).3	国分教育隊へ転勤（助教）（国分）
1980(S55).4	幹部候補生（久留米）
1981(S56).	幹部任官（国分）
1981(S56).4	北海道へ転勤（小隊長）（札幌）
1989(H 1).8	鹿児島へ転勤（運用訓練幹部等）（国分）
1992(H 4).	国分駐屯地奄美会会長就任
1994(H 6).8	国分教育隊へ転勤（中隊長）（国分）
1997(H 9).8	沖縄へ転勤（広報幹部）（那覇）
1999(H11).8	鹿児島へ転勤（中隊長）（国分）
2001(H13).11	定年退職
2002(H14).1	国分公共職業安定所就職（国分） 求人開拓推進員
2006(H18).3	〃　退職
2006(H18).4	都築教育学園第一工業大学就職（国分） 就職課勤務
2009(H21).3	都築教育学園第一工業大学就職課長
2010(H23).12	第2代　霧島市奄美会会長就任
2012(H25).3	都築教育学園第一工業大学定年退職
2012(H25).5	NPO 法人 Joy ステーション就職（隼人） 4月の開設から関与し、現在に至る。

鹿児島奄美会

スローガン

会員相互の親睦を図るとともに郷土発展に寄与する

●鹿児島奄美会が誕生した経緯と想い

大正7年（1918年）、鹿児島市内にあった各郷友会（1町19村）の連合組織として創立され（名称「在鹿大島郡人会」）、以来鹿児島在住奄美出身者の互助活動等を中心として活動を継続し、今日に至る。

現在、鹿児島笠利会、鹿児島喜界会、鹿児島龍郷会、鹿児島名瀬会、鹿児島瀬戸内会、鹿児島徳之島会、鹿児島天城会、鹿児島徳南会、鹿児島沖洲会及び鹿児島与論会の10郷友会の緩やかな連合会として構成され，活動している。

【主な活動】

（1）新年会…毎年1月下旬の第4（又は第5）日曜日に開催

当会を構成している10郷友会の会員のほか、近隣の薩摩川内市奄美会、姶良市加治木奄美会、姶良市奄美会並びに宇検、住用、大和の代表者（有志）の参加があり、200人程度参加し、会員の余興もあり楽しく賑やかに行っている。

（2）総会…毎年5月下旬の第4（又は第5）日曜日に開催

総会は役員と代議員で構成。各郷友会会長は役員（副会長）として参加し、代議員は各郷友会4人となっている。60人程度で開催。

（3）おはら祭りへの参加

平成12年以降毎年参加している（平成26年まで連続15回）。

10月から練習を重ね、150人前後の踊り連として参加し、揃いの法被で鹿児島奄美会の存在をアピールしている。

奄美群島日本復帰記念事業については、15周年、30周年、40周年、50周年、60周年に会として総力を挙げて取り組んでいる。特に平成25年の復帰60周年記念事業は、宝山ホール（県文化センター）で島唄の大御所3人、若手実力者3人による島唄のほか奄美歌謡、吹奏楽演奏、郷友会による郷土芸能などを盛り込んだ記念コンサートを実施し、1500人を上回る来場者で盛況であった。

会　長　池山 泰正
〒891-1104　鹿児島市油須木町 683-2
090-5384-0553
幹事長　喜入 章夫
〒890-0031　鹿児島市武岡五丁目 36-3
090-3079-4035
会計　秋山 静夫
〒890-0068　鹿児島市東郡元町 7-1-505
080-5257-6966

鹿児島奄美会の経歴

大正 7 年（1918）旧 8 月　在鹿大島郡人会創立（1 町 19 村）
　会長：關祐一郎（笠利村）幹事長：武山宮信（常任幹事／和泊村）
昭和 21 年（1946）5 月　鹿児島県奄美連盟創立総会
　会長：武山宮信（和泊村）幹事長：吉村佐衛豊
連盟創立後まもなく 「鹿児島奄美会」に名称変更
　会長：武山宮信（和泊村）幹事長：寿常次郎（事務局長）
昭和 26 年（1951）8 月　鹿児島県奄美大島日本復帰協議会結成。
　委員長は岩切 重秀（龍郷村）
　会長：榊純則（天城村）　幹事長：平窪池島（和泊村）
昭和 26 年（1951）11 月　在鹿大島郡人会（名称変更）
　会長：福島又二（徳之島）幹事長：永井文次（事務局長）
昭和 29 年（1954）1 月鹿児島奄美会（名称変更）
　会長：福島又二（徳之島）幹事長：永井文次（事務局長）
昭和 43 年（1968）12 月奄美群島日本復帰 15 周年記念（54 名参加）
　会長：福島又二（徳之島）事務局長：福田義茂（副会長兼事務局長／瀬戸内町）
昭和 47 年（1972）3 月　本場大島紬を守る総決起大会（紬関係者、奄美会会員 2,000 人）
　会長：比地岡栄雄（笠利町）　事務局長：福田義茂（副会長兼事務局長／瀬戸内町）
昭和 47 年（1972）10 月国体秋季大会（太陽国体）8 月踊り（男女 360 余名出演）
　会長：比地岡栄雄（笠利町）　事務局長：福田義茂（副会長兼事務局長／瀬戸内町）
昭和 58 年（1983）7 月　芸能祭（1、500 余名来場）民謡日本一築地俊造氏ほか
　会長：嘉野長夫（龍郷町）幹事長：真鍋松男（名瀬市）
昭和 58 年（1983）12 月奄美群島日本復帰 30 周年記念祝賀忘年会（140 余名参加）
　会長：嘉野長夫（龍郷町）幹事長：真鍋松男（名瀬市）
昭和 60 年（1985）7 月芸能祭（1、500 余名来場）築地俊造氏、西和美氏ほか
　会長：嘉野長夫（龍郷町）幹事長：幾村清徳（与論町）
平成 5 年（1993）11 月　奄美群島日本復帰 40 周年記念鹿児島大会（300 余名参加）
　会長：中原時秀（天城町）幹事長：喜入章夫（副幹事長／瀬戸内町）
平成 12 年（2000）11 月　おはら祭り初参加（90 余名参加）
　会長：泉信喬（伊仙町）　幹事長：秋山静夫（幹事長兼会計／喜界町）
平成 15 年（2003）9 月　奄美群島日本復帰 50 周年記念講演・芸能祭（350 余名参加）坪山 豊氏ほか
　会長：島田俊秀（和泊町）幹事長：福崎榮市（伊仙町）
平成 21 年（2009）12 月　鹿児島奄美会誌発行（創立 90 周年記念）編集委員：大野 照好、泉 信喬、島田 俊秀、西 春陽、川上 哲三、福崎 榮市、秋山 静夫、喜入 章夫、宮里 直治
　会長：大野照好（龍郷町）幹事長：喜入章夫（瀬戸内町）
平成 25 年（2013）12 月　奄美群島日本復帰 60 周年記念コンサート
　会長：池山　泰正（笠利町）　幹事長：喜入章夫（瀬戸内町）

※1　新年会、総会は毎年実施　※2　おはら祭りは平成 12 年以降毎年参加（平成 26 年まで連続 15 回）

ホームページなし・Facebook 鹿児島奄美会

私の履歴書

会長 池山泰正

出身地：奄美大島　笠利町赤木名
生年月日：昭和 14 年 12 月 3 日（満 75 歳）
現住所：鹿児島市油須木町 683-2
e-mail：y-ikeyama@tune.ocn.ne.jp
TEL&FAX：099-298-3460
出身校：鹿児島県立大島高等学校

父親の仕事（警察官）の関係で朝鮮にて出生。終戦により昭和20年12月、6歳の時に父母の故郷笠利町（赤木名）に引揚げてきた。

地元の小・中学校・高校（大島高校）を卒業後、昭和36年に鹿児島県庁に入庁。昭和45年、異動で本庁勤務となり、現在の鹿児島市に居住。故郷を離れて今年で45年になる。県庁では、離島振興課、地方課、財政課など主として企画・総務畑で勤務。

平成4年、52歳の時、県からの出向で郡山町の助役に就任。その縁で平成7年4月の郡山町長選に出馬。幸いに多くの皆さんのご支援で当選することができ、鹿児島市との合併により退任した平成16年10月まで、3期9年半、郡山町長を務めた。

その後、合併後の特例選挙に出馬。平成20年4月まで鹿児島市議会議員を務めた。現在、鹿児島奄美会会長や鹿児島県庁奄美OB会会長などをしている。

★生まれたシマに対する思い

故郷奄美は温暖な気候、豊かな自然環境、生活に密着した多彩な伝統文化、豊かな人情、個性的な食文化……これら全てが私にとって自慢であり、誇りです。奄美には、日本人が失いかけている本来の日本の良さが色濃く残っている。今、奄美は世界自然遺産登録に向けて大きく動き出しているので、この機会に奄美の素晴らしさを全国に発信していく必要があると思う。

私たち郷友会会員も故郷の応援団として、奄美の発展に寄与していきたい。

★日本復帰の取り組み、活動など

私は終戦の年、昭和20年12月に外地から引揚げてきた。翌年2月、日本から行政分離。その年に小学校に入学した。当時は食べるものがなく、ソテツの実で作った「ナリガイ」やからいもで飢えを凌ぎ、教科書もなく、かやぶきの校舎で学ぶという厳しい環境の中で育った。

当時の日本は、どこも厳しい状況にあったが、とりわけ奄美は本土から行政分離され、渡航や生活物資輸送などの厳しい統制で郡島民の生活は苦難と困窮の極みであった。その頃の様子が今でも思い出される。

奄美が日本に復帰した時は中学生でしたが、学校での弁論大会で復帰を訴えたり、奄美の実情を知ってもらうため、本土の学生との文通などもしていた。

復帰した12月25日には提灯行列で町中を練り歩き、歓喜の声が沸き上がっていたのが今でも忘れられない。

★私の成功哲学

しっかりとした目標を持ち、その目標達成のため日々精進すること。社会に対する奉仕の精神を忘れないこと。常に思いやりの心を持つこと。

★シマを出る子供たちへのメッセージ

奄美は、日本のどこにも負けない素晴らしいところです。故郷奄美に自信と誇りをもって活躍してほしい。目標を定め、その目標に向かい全力で努力してほしい。

沖縄奄美会

スローガン

模合（モアイ）＝結（ユイ）＝助け合いをモットーとし出身者の親睦と想いの寄り所としています。奄美と沖縄の交流のお手伝いをしていきたい。

●沖縄奄美会の経歴

〈昭和28年、在沖奄美連合会を結成〉

「戦後果たしてどれ程の人が沖縄に渡り、どんな苦労をしたのか、本当の事は解からない……」と識者の間で今も語られている奄美出身者、特に沖縄県の復帰まで「非琉球人」として厳しい制約の中で生き抜いた先人達。

当事者が「語らない、書かない」、沖縄の人達も沖縄の戦後復興と今日の社会基盤の基礎作りに貢献した奄美出身者の功績を事実として認めながらも「語ってくれない、書いてくれない」実情、公文書館の資料では解からない、一般民衆の状況を知るにはあまりにも記録が少なく知られていない。

昭和28年12月1日、奄美群島祖国復帰を前にして、自己の身分・将来への不安等で混乱する出身者の状況を憂い、有識者や心ある有志が結集して、在沖奄美連合会を結成し「どれ程の人が、どこの地に住んでいるか確認できないまま」本島各地に地区奄美会を結成し、それぞれの地で外人登録（在琉申請）・パスポート申請・渡航手続き・就職・身元保証など多岐に渡る相談窓口として、全てボランティアによる組織として設立された。

奄美復帰から沖縄の祖国復帰までの間は日常の生活に関わる問題の相談に対応する傍ら、軍政府による「在琉奄美人に対する処遇」に見られる布令等に対する処遇改善（身分保証・税処遇・選挙権の付与）を求めて軍政府と民政府はもとより日本政府に陳情要請を繰り返し訴えながら、その活動は多岐にわたっている。

注：昭和37年1月、在沖奄美連合会長の泉有平会長は、立法院行政法務委員会において参考人として「在琉奄美人の実情と、処遇改善を求めた」意見陳述を行っている。選挙権一つをとっても昭和44年の三大選挙でようやく実現をみている。沖縄奄美連合会の設立の経緯から、一般に言われる郷友会の設立と異なる目的で結成されている。

〈先達の生き様、足跡を残す活動〉

奄美人と公然と語れない厳しい環境の中で過ごしてきた人達が、沖縄県の復帰後やっと奄美出身者として堂々と胸を張れる時代を迎え、抑えに抑えていた島への郷愁を一気に爆発させるかのように「島唄・島口大会」の実施、「奄美の民謡と民話」の本の発刊等を精力的に行っていった。

先輩達の「奄美は一つ・同胞愛」、「絆の深さ」等、島人としての誇りと故郷への想いを知るにつれ、また私自身、島唄をきっかけに、絶海の孤島と厳しい台風常襲地帯という地理的条件、琉球・薩藩時代の過酷な歴史を経て、戦後祖国と分離された環境の中で世界に誇る民族運動と語られる「奄美の復帰運動」や、豊かな自然と素晴らしい伝統文化を残された先人の逞しさに感銘しました。

こうして島を知ることで奄美人としての自信と誇りを持つようになったこと、また昭和50年代初頭から沖縄ー奄美の交流が活発になり、行政・民間を問わず関わって来た経緯もあり「島さばくり」を生き甲斐とするようになりました。「歴史の陰」とも語られている在琉出身者の沖縄における生き様に関心を持ち、その足跡を記録として残したい思いから、創立60周年を機に40年余収集した資料を元に約6年近くかけて、初の連合会記念誌として『愛郷無限ー沖縄に生きる奄美人ー』を発刊しました。島の現状と将来を憂いながら沖縄の地で何か手伝いできることがあるはずと、島さばくりに明け暮れる日々を送っています。

〈今後の課題〉

時代の流れか、自由な生き方を求める時代、人それぞれ生き方があり、強制もできない、心ある人たちが集まり互助、親睦・融和を目的とする親睦団体である郷友会。個人情報保護法の関係で名簿作成にも気をつかう時代となり、それでも、時代の流れと共にその存在意義を認識して、活動も変化していかざるを得ない。

戦後の苦しい時代を「知る・語る人」が少なくなり、故郷への思いや「生まれ島」という言葉も忘れられがちな時代に、大島高校の甲子園出場で島外に出た人達を含め、奄美人としての同胞愛・郷愁を奮い起させた功績、奄美人の持つ特異な民族意識なのか。今の時代、どこの地でも郷友会の今後の存続は後継者問題が最大の課題であり悩みであることに変わりはない。

私自身70歳を超え60周年事業をもって前会長と共に卒業を考えていましたが、後継者も決まらず継続自体が憂慮される中、今までの生き方を否定する事も出来ず、会長という大役を引き受けざるを得ない立場となった。しかし、会としての存在が心配される中でも、誰かが企画し、引っ張る人がいれば、これまで実施してきた事業成功を考えるとまだまだ組織としての底力はあると確信している。

沖縄県内における、県庁始め行政、経済・商工・文化団体、マスコミ各社の沖縄奄美連合会に対する存在意義は高く評価されており、今更「灯を消す」事も出来ない。これも、先人のこれまでの沖縄県内における活動と功績のお陰である事を考えると、今この地に住む者としての責任は大である。気負わず、できる範囲で、思いが解かる後輩が育つ事を願うのみである。

ホームページなし・Facebook なし

私の履歴書

会長 奥田末吉

出身地：奄美大島龍郷町龍郷
生年月日:昭和 18 年 10 月 9 日(満 71 歳)
現住所：沖縄県糸満市兼城 492-9
TEL& FAX：098-994-7650

故郷を離れて52年余、「人生はこれで良かったのか……」と振り返るこの頃、「郷友愛（同胞愛）とは、辞書に「自然的な感情の発露として同胞を応援する行為」とある。祖先崇拝は日本人として受け継がれてきた素晴らしい文化である。

奄美に生まれた者として、島外に出ていかざるを得ない宿命を背負った者の一人として、帰りたくても帰れない「産んでくれた父母に、育ててくれた故郷に」何かをしなければと思う気持ちを持つのは人として当然のことと思う。ならば「住んでいる地域に居て何かできる事があるはず……」と、渡沖以来42年余、行政・民間を問わず奄美と沖縄の交流事業すべてに関わりながら、今も365日、故郷の動向に気をもみ、台風情報や大雨注意報に釘づけになり何もなければと祈る。

島の人達によく話すのは「島の人が島を好きになること」でありそのためには、住んでいる人達が島の歴史を知り、先人の偉大さを知り、島に生まれた誇りと自信を持つ、それを後世に伝えるという思いを一つにする。全てがこの事に集約される事ではないかと、他力本願でなく自分たちの手で力を結集し、知恵を出し合って奄美の未来を築く事であると思います。漸く奄美群島の行政が広域としてまとまり、経済・商工団体が一つにまとまり一丸となって奄美振興に取り組む「奄美群島成長戦略ビジョン」が国に認められた、奄美が生き残るための知恵を出し合っていくしかないと考えます。

大島高校の選抜出場は、全国同胞の生まれ島への郷愁を呼び起こし、奄美人の底力をまざまざと証明した証であり、青少年に夢を与えた功績を讃えたいものです。

超高齢化時代を迎え、若者は便利さを求めて都会に集中し、過疎地問題・限界集落や町村消滅が話題となる昨今、ふるさと奄美が生き残る為には如何に在るべきかと思う心ある出身者は多いと思う。「島狂れ者、島バカと言われようとも」微力でも、誰かがしなければとの想いで過ごした人生に誇りを持ち、余生を過ごしていきたい。

★私の成功への哲学

哲学とか大それた事は持ち合わせておりません。人としてそれぞれ生きる中で、その人相応の生き方があり、その人なりの環境の中での人生があると思います。成功とは何か、財力？ 名誉?か、「子としての親への孝行は、子の親として家庭人として、社会の一員として、生まれた故郷に何をしたか」

選んだ仕事に精いっぱい打ち込み、ささやかながらも生甲斐を見つけ打ち込めるものを持てた事に感謝し、70歳を超えて生きた証として自分を振り返る今日この頃、20代後半で「生まれ島」に関心を持ち、多くの人との出会いと学び、離れていても故郷に関われた事に感謝し、悔いのない人生だったと、小さな人生でも誇りであることを子や孫に伝えれば幸せです。

★今後の取り組み

沖縄の地で、先人が築いてきた「生まれ島への思い・奄美は一つ」との想いを継承し、奄美人としての誇りと自信を伝えながら、故郷奄美と沖縄の交流発展に出身者として貢献していきたい。

★シマを出る子供たちへのメッセージ

島に生まれた者として島を出ていかざるを得ない宿命を背負った奄美の人達、全国はもちろん世界各地で活躍している奄美出身者は多い。グローバル化の時代、思いっきり羽ばたける可能性を秘めた時代に生まれて前途洋々と未来に向かってはばたいて頂きたい。

島の歴史を知り、台風常襲地帯という地理的に厳しい自然環境と歴史的経緯の中で生き抜いてきた奄美人のストゴレ精神を理解し、世界に誇れる自然と伝統文化を残し、人材の島と語られている先人の偉大さ、奄美出身者としての誇りと自信を持って、与えられた人生、大きな夢と希望を持って社会の荒波を乗り越えてもらいたい。ただ、どこに居ても父祖の地・生まれ育った島を忘れないでほしい。

★シマを出てからこれまで

昭和 39 年（1964）3 月　大島高校卒業後、陸上自衛隊入隊（鹿児島 - 茨城 - 熊本 - 沖縄勤務）
平成　9 年（1997）定年退官。
武道：相撲 2 段、銃剣道 5 段、空手 3 段、元陸上自衛隊格闘指導官
趣味：地域ボランティア、島唄、島さばくり
昭和 47 年（1972）5 月　沖縄復帰と同時に自衛隊第一陣として沖縄移駐
昭和 48 年（1973）頃～　在沖奄美出身者と交流を深め、以来郷友会活動に関わる。当時沖縄奄美連合会長の荒垣顕治氏（同郷先輩）との出逢いを機に、当初は裏方として活動の手伝いをしながら在沖の奄美群島出身（明治、大正、昭和初期）生まれの先輩方の薫陶を受ける。以来、「島狂れ者（島馬鹿）」と言われながら沖縄における、①郷友会活動、②奄美の島唄、奄美芸能の普及啓蒙、③奄美の情報伝達（観光･物産･行事等情報）、④奄美－沖縄交流関係事業の手伝い、⑤奄美群島（人･物）に関する問い合わせ相談等奄美群島に関して「奄美よろず相談家ボランティア」開設
平成 19 年（2007）3 月～　沖縄名瀬会会長
平成 26 年（2016）6 月～　沖縄奄美連合会会長

南カリフォルニア奄美会

スローガン

本会は会員相互の親睦と融和を目指し、奄美及び関係諸団体との連携を保ちながら相互援助、伝統芸能保存に寄与することを目的とする。

★奄美会ＵＳＡが誕生した経緯と想い

米国にて奄美会が発足されたのは１９７５年の暮れ、沖永良部・和泊町出身の源栄蔵氏の自宅で奄美出身者５～６名が集まり、「島んちゅうの飲み会を時々持とうではないか」と話しあったことがきっかけです。１９９１年11月16日には発会式を行い会則も作成、正式な親睦団体として発足し現在に至ります。

南カリフォルニア奄美会では、ホームページ（http://www.amamikaiusa.com/）によりまして奄美大島及び奄美の伝統を世界に向けて紹介し、皆様との交流の場としてご利用頂けたらと願っております。

本国奄美の人々及び会員の方々との交流を深め広めて行く事を主旨に、各種イベント企画を執り行わせて頂きたく何とぞ、皆様のご参加ご支援をお願い申し上げます。これからもいくつ

★奄美会ＵＳＡの目的

本会は会員相互の親睦と融和を目指し、奄美及び関係諸団体との連携を保ちながら相互援助、伝統芸能保存に寄与することを目的とする。

★奄美会ＵＳＡのイベント企画

奄美出身のアーティストや団体で、日本で活動的にされている方々を私たちは応援しています。私たち南カリフォルニア奄美会は、そういう皆さんがさらなる発展を遂げるために、アメリカ国内でイベントを行いたいと思っている時の窓口や相談役となり、お手伝いをしたいと思っています。

〈これまで私たちが関わったイベント〉

・総勢32名の奄美大島民謡団による、ニューヨーク市カーネギーホール公演に続くロサンゼルス公演を応援（１９９０年）

・与論島出身のかりゆしバンドと小野綾子さんの公演（ＬＡ・キークラブ）を後援（２００４年）

・喜界島出身の画家まこすがの女史の個展（ソラデザイン　ギャラリー）を応援（２００５年）

・奄美島唄と紬祭りチャリティショーを　催　行（Holiday Inn Torrance）（２００７年）

※日本から中村瑞希、吉原まりか、ネリヤカナヤの平田輝、武田まゆみ、禎一馬の5名の元気な唄手により奄美の風を感じた約５００人の観客は、奄美島唄に酔いしれ、最後は六調で締めました。また、紬デザイナーの本田涼子氏により、素晴らしい伝統文化の大島紬をＬＡの皆様に紹介していただきました。

南カリフォルニア奄美会の経歴

1975 年	沖永良部・和泊町出身の源栄蔵氏の自宅に奄美出身者が集まり、島んちゅうで定期的に飲み会を開くことを話しあう
1976 年	第２回目新年親睦会（参番館）。その後、ロサンゼルスの栄菊レストラン（１回）、サンタモニカの安芸レストラン（３～４回）、ガーデナの天津レストラン（４～５回）、あつがレストラン、K ちゃんレストラン（１回）、栄光レストラン（１回）等が当時の新年会、忘年会の会場に。初代会長の源氏には、1975 年から 1989 年迄長期に亘り、会の為、すべての面で尽力いただいた
1990 年 5 月	親睦会（天津レストラン）にて 2 代目会長に徳之島伊仙町出身の中川四郎氏を選出
10 月	石原良一郎氏を団長とした奄美大島民謡団（総勢 32 名）による、ニューヨーク市カーネギーホール公演に続くロサンゼルス公演（観客 700 余名）。この時の純益を PANA USA、日系引退者ホーム、オレンジ郡日系協会に寄付する
1991 年 11 月	南カリフォルニア奄美会の発会式（ホリデーイン）。会則を作り正式な親睦団体として発足
1992 年	鹿児島県人会主催のピクニック、バレーボール大会。チャリティーゴルフ大会（奨学資金捻出）へ参加
1995 年 1 月	阪神大震災被災者（島出身者）への義援金を募り、神戸奄美会（渡会長）へ送る
1997 年 5 月	鹿児島県より県市長村議会議長一行による米国視察団が訪れる。一行 20 名の内、奄美関係者 11 名
1998 年 2 月	奄美会総会にて 4 代目会長に龍郷町出身の黒木猛氏を選出。初代会長の源栄蔵御夫妻が帰島される
10 月	ソフトボール大会（ファンテンバレー市のマイルスクエア・パーク）に 2 チーム参加し、B チームが念願の優勝（全 12 チーム）
1999 年 10 月	県人会創立 100 周年記念行事の一つ、母国訪問団が鹿児島を訪れる
2000 年 6 月	南カリフォルニア奄美会創立 25 周年記念祝賀会を開催
2003 年 5 月	鹿児島県人会主催のバレーボール大会で奄美チームが優勝
11 月	天皇、皇后両陛下ご臨席のもと名瀬市内の文化センターで執り行われた「奄美群島日本復帰 50 周年記念式典」に南カリフォルニア奄美会より 15 名が参加
2005 年 5 月	南カリフォルニア奄美会創立 30 周年記念祝賀会（シーエンペラス・シーフードレストラン）
5 月	創立 30 周年記念の一環として新撰組ゴルフ・トーナメントを協賛（リンクス・アット・ビクトリア・ゴルフ・コース）
2006 年 1 月	AMAMIKAI USA オフィシャルサイト　オープン（http://www.amamikaiusa.com/）
1 月	奄美会新年会を新撰組（ガーデナ市）にて行なう。
3 月	牧野先生の歓迎会を新撰組（ガーデナ市）にて行なう
6 月	奄美会ゴルフトーナメントを開催。The Links at Victoria（カーソン市）
7 月	ブリッジ USA 夏祭りに出店。カルチャー・アーツ・センター（トーランス市）
2007 年 8 月	「奄美島唄と紬祭り」開催。Holiday Inn　（トーランス市）
12 月	役員会と原成仁さん歓迎会（奄美市より Japan Expo に大島紬を出展）
2008 年 6 月	奄美会主催　第 4 回ゴルフトーナメントを開催。The Links at Victoria（参加者 77 名）
2011 年 3 月	奄美会新年会にて、幹事の西元さんより前年の奄美大豪雨の被災者に対して奄美会他、県人会協議会、各県人会等より合計約 $6,000.00（日本円に換算して約 500,000 円）を奄美市の朝山市長に手渡し報告
2013 年 12 月	奄美会の忘年会を奄美群島日本復帰６０周年を祝うために新撰組レストランにて開催

ホームページ：http://www.amamikaiusa.com・Facebook なし

※情報はホームページより引用

♫さあ、グラスを持って（ハナハナハナ）
みんな一緒に（ハナハナハナ）
みんな笑顔で（ハナハナハナ）
ハナハナハナハナハナ～
ハナハナハナハナハナ～

奄美応援団 SONG nana の「ハナハナハナ」より
※（　）はかけ声ですよ♪

全国奄美店舗 2015

店舗情報アイコンの見かた

- 本誌持参の方、お会計より 10% OFF（店舗によりその他のサービスもあり）
- ランチあり
- ライブあり
- シマ楽器あり
- カラオケ
- 駐車場あり（CP ＝コインパーキング）
- ホームページあり
- フェイスブックあり

※注……代表者名のカッコ内は出身地

さあ、お店巡り 関東、関西、中部、福岡、鹿児島，沖縄へ GO!!

※皆様からの情報や Web 検索などで情報収集しています。詳しい内容については直接お店にご確認ください。

応援団

奄美居酒屋 ほこらしゃ

代表者：形屋篤子（奄美大島　住用町見里）
住所：　中野区新井 1-14-16 ライオンズマンション B104
☎ 03-3319-7600
アクセス：JR・東西線「中野駅」北口徒歩 8 分（新井薬師あいロード内）
営業時間：17:00 ～ 24:00
定休日：水曜 & 島のイベント時
オススメ：豚骨（ワンフネ）の島野菜煮、イリコ & フル入り油そうめん、タナガ入りあおさの天ぷら
★店名の由来：奄美の方言「嬉しい、幸せ」から。
★こだわり：なるべく島からの仕入れを心がけ、島の食材で島の調味料で、伯母の味にこだわっています。油そうめんで必ず外せないのがイリコ。島からのフルがない場合はニラを使用。鶏飯は島から鶏肉を仕入れますので毎週土日のみです。パパイヤは外せません。
（近隣に CP）

応援団

yutymore（ユティモレ）

代表者：相良繁樹（奄美大島　名瀬）
住所：町田市原町田 6-17-1 藤ビル B1F
☎ 042-851-7815
営業時間：18:00 ～ 24:00
定休日：第 2、5 月曜・日曜
アクセス：小田急「町田駅」東口徒歩 3 分、JR「町田駅」徒歩 5 分
オススメ：黒糖焼酎 60 種、鶏飯、なり味噌漬け盛り合わせ
★店名の由来：島口で「お寄りください」という意味が気に入りました。
★こだわり：島の食材で愛情手作り料理です！ 油そうめんはごくシンプルにザコ（キビナゴ）、ニンニク、少々の鷹の爪を。鶏飯は島の鶏を送ってもらい丁寧に出汁を取り我が家の味付け（薄口醤油）です。お盆とコンロで提供します。
（時々開催）（CP）

応援団

ゆらい処 よりより

代表者：泉 成勲（奄美大島　名瀬大熊）
住所：神奈川県茅ケ崎市共恵 1-8-19 中島ビル 1 F
☎ 046-788-0636
営業時間：11:30 ～ 14:00/17:00 ～ 23:00
定休日：日曜、水曜
アクセス：ＪＲ東海道線「茅ヶ崎駅」北口徒歩 4 分
オススメ：鶏飯など奄美大島の家庭料理
★店名の由来：奄美の方言「ゆっくり集い寛ぐ」から。
★こだわり：主に奄美大島から取り寄せた食材を使用し、身体にやさしい安心・安全な料理をモットーにしております。長寿の島・奄美大島で古くから食されている家庭料理をご賞味ください。黒糖焼酎を料理の伴として舌鼓を打ち、店内に流れる音楽で一日の疲れを癒して頂ければ幸甚です。※ HP より引用
（近隣に CP）

応援団

カラオケ 友華（ゆうか）

代表者：永田トモヱ（奄美大島　名瀬）
住所：中野区中野 5-57-10 志方ビル 102
☎ 03-5380-8177
営業時間：18:00 ～ 24:00
定休日：なし
アクセス：JR・東西線「中野駅」北口徒歩 5 分
オススメ：ゴーヤ、油そうめん、シマ筍、ツワブキ、みき
★店名の由来：“ 友 ” だちの “ 華 ” が咲く。
★こだわり：豚骨（ウヮンフニ）はシマ出身のお客様が来た時のみ出します。

応援団

奄美琉球居酒屋 土濱笑店

代表者：土濱あかり（奄美大島　笠利町土浜）
住所：渋谷区神泉町 12-4 アーガス神泉ビル2F
☎ 03-6416-1027
営業時間：17:30 ～ 23:45（L.O.23:00）
定休日：日曜（不定休あり）
アクセス：京王井の頭線「神泉駅」徒歩 3 分 /JR 他「渋谷駅」徒歩 10 分
オススメ：わんふね（豚骨）、鶏飯
★店名の由来：お仕事を頑張っている方々が笑顔になれる居酒屋にしたいという思いから「笑」の字を店名に取り入れました。
★こだわり：油そうめんは、いりこだしで懐かしい味付けにしています。鶏飯は濃ゆめに取った鶏ガラのだし、本場の具（鶏肉、玉子、しいたけ、パパイヤ漬け、たんかんの皮、ねぎ、のり）を使用。豚骨は骨がすぐ外れるくらい柔らかく煮ることと、煮る前のひと手間にこだわっています。
HP （近隣に CP）

応援団

居酒屋 大吉

代表者：大吉平造（徳之島　天城町）
住所：渋谷区恵比寿西 1-7-11
☎ 03-3496-8904
営業時間：17:00 ～ 24:00
定休日：日曜・祭日（予約のみ営業）
アクセス：JR「恵比寿駅」徒歩 2 分
オススメ：ゴーヤチャンプルー、油そうめん、豚骨（角煮）、豚足煮
★店名の由来：名字の読みは「おおよし」だが、恵比寿だから「だいきち」にした。
★こだわり：長寿と健康食の徳之島料理と黒糖焼酎。焼酎は 5 本飲んだら 1 本進呈！
（近隣に CP）

応援団

ダイニングバー 和

代表者：岩崎和典（喜界島　上嘉鉄）
住所：北区赤羽 1-41-6 サクセスプラザ犬飼 2F
☎ 03-3903-2535
営業時間：17:00 ～ 24:00
定休日：火曜
アクセス：JR「赤羽駅」北改札東口・南北線「赤羽岩淵駅」各徒歩 5 分
オススメ：奄美晩酌セット…奄美大島から直送の五品盛（豚味噌、パパイヤ漬け、アーサー卵焼き、ランチョンミート、島らっきょう）、ウヮンフニ、油そうめん
★こだわり：油そうめんは喜界島小野津式。出汁が決め手です。ソーキの煮物（ウヮンフニ）は豚骨付き肉をあっさり塩＆醤油スープでトロトロに煮込みました。
（近隣に CP） HP

応援団

奄美・沖縄料理の店がちま家川崎店

代表者：平田修（徳之島　徳之島町山）
住所：川崎市川崎区駅前本町 12-1 川崎駅前タワーリバーク B1F
☎ 044-230-1235
営業時間：［月～金］11:30 ～ 13:30 / 17:00 ～ 23:00
［土・日・祝］17:00 ～ 23:00
定休日：無休
アクセス：JR「川崎駅」東口徒歩 1 分／京急「川崎駅」徒歩 1 分
オススメ：アグーのマース焼き、あつあつ島豆腐の湯豆腐、にがうりの味噌炒めなど
（平日のみ） （同ビル他、近隣多数） HP

□**関内大通り公園店**　☎ 045-264-1244
横浜市中区蓬莱町 2-5-1 ガーデンパーク1階
□**新杉田店**　☎ 045-772-8071
横浜市磯子区新杉田町 3-5　ライオンズマンション新杉田1F
□**上大岡店**　☎ 045-846-2161
横浜市港南区上大岡西 1-17-24 第3ミツワビル

応援団

奄美ダイニング かんもうれ

代表者：松山晃久（奄美大島　天城町）
住所：台東区上野 5-8-12 御徒町第 2 ビル B 1
☎ 03 － 5818 － 5567
営業時間：17:00 ～ 23:00
定休日：日曜、1/1 ～ 3
アクセス：日比谷線「仲御徒町駅」2 番出口徒歩 3 分
オススメ：油そうめん、塩豚
★店名の由来：「こっちに来て」という意味です。
★こだわり：油そうめんは太麺を使用しボリュームがあります。豚骨（ウァンフニ）はシマのもの、塩漬けにしたものを使用。塩豚に使うじゃがいもも天城産が出ている時期は取り寄せます。
★ひとこと：この店が島の発信元になればと思っています。
（月 1 回）

応援団

焼き鳥居酒屋 RYOMA

代表者：山田茂樹（奄美大島　名瀬大熊）
住所：新宿区四谷 1-7-27 第 43 東京ビル 1 F
☎ 03-3356-2506
営業時間：11：30 ～ 23：30
定休日：8/13 ～ 15、12/30 ～ 1/3
アクセス：JR・南北線「四谷駅」徒歩 1 分
オススメ：ポークハム卵、さつま地鶏のたたき、黒糖焼酎
★店名の由来：坂本竜馬の優しいイメージが好きだから。
★こだわり：鶏飯はさっぱりの醤油味で鶏の味が出ています。具もたっぷり、沢庵の刻み入り。豚骨（ウァンフニ）は東京の方に合わせた味付けに、地鶏たたきはふんわりニンニク味で女性にやさしく味付けしています。
（11：30 ～ 16：00）（近隣に CP）

応援団

六調

代表者：恵原睦男（奄美大島　根瀬部）
住所：渋谷区宇田川町 33-10 J+R ビル 8F
☎ 03-3770-0868
営業時間：18:00 ～ 24:00
定休日：無休
アクセス：：JR 他「渋谷駅」徒歩 5 分
オススメ：黒糖焼酎、ブタ味噌、塩豚煮、トゥビンニャ
★店名の由来：奄美の唄と踊り「六調」から。
★ひとこと：奄美の島唄、黒糖焼酎、ちょっと島料理をお楽しみください。音楽の好きな人がよく集まっています。興味のある人はいつでも来てください（芸能関係者がたくさん来ます）。
（近隣に CP）

応援団

韓国居酒屋 結い

代表者：辛卿美（韓国天安）
住所：千代田区神田多町 2-11-5　☎ 03-6206-9735
営業時間：11:30 ～ 14:00/17:30 ～ 22:00
定休日：日曜（予約あれば営業）
アクセス：丸ノ内線「淡路町駅」・都営新宿線「小川町駅」各徒歩 1 分 /JR 神田駅北口徒歩 5 分
オススメ：〈韓国料理〉特製チヂミ、特製キムチ、特製ケランチム〈奄美料理〉油そうめん、鶏飯、焼き豚足
★店名の由来：結いの心、助け合い。
★こだわり：店主自らその日に必要な分の新鮮な素材を厳選して仕入れています。国産にこだわり、日本にない原料は韓国直営店経由または本国から直送してもらっています。化学調味料などは一切使用せず、スープのだしややソースなどもすべて自前で作っています。
★ひとこと：当店を心のよりどころにして下さい！
（近隣に CP）

● 店舗情報アイコンの見かた
本誌持参の方、お会計より10% OFF
（店舗によりその他のサービスもあり）
ランチあり
ライブあり
シマ楽器あり
カラオケ
駐車場あり（CP =コインパーキング）
HP ホームページあり
f フェイスブックあり
※注……代表者名のカッコ内は出身地

ジャパンアクションクラブ 関根大学

代表者）関根大学（沖永良部）
※ジャパンアクションクラブ（JAC）に所属し、俳優として現在も活躍中
住所：北区赤羽 1-41-6-401
☎ 03-3901-0333
営業時間：20:00 ～翌 1:00
定休日：日曜（予約にて OPEN）
アクセス：JR 京浜東北線「赤羽駅」徒歩 6 分 / 南北線「赤羽岩淵駅」徒歩 5 分
★店名の由来：自分の名前を使用。
★ひとこと：夢を追う方大歓迎です。芸能界に興味のある方いらっしゃい！

沖縄居酒屋 島人

代表者：山名純真（奄美大島）
住所：板橋区成増 2-18-14 成増マーケット 1F
☎ 03-6681-0267
営業時間：11:30 ～翌 5:00
定休日：不定休あり
アクセス：有楽町線・副都心線「成増駅」徒歩 1 分
オススメ：沖縄直送海ぶどう、石垣牛コロッケ、グルクン姿造り他
★こだわり：沖縄＆奄美直送厳選素材を使用した沖縄＆奄美の料理を提供。生シャコ貝やグルクンの刺身は素材を毎日八重山諸島から空輸しています。
（近隣に CP）

高倉

住所：新宿区新宿 2-12-11 林ビル 2 F
☎ 03-3354-1973
営業時間：
定休日：
アクセス：丸の内線、副都心線、都営新宿線「新宿三丁目駅」C 8出口徒歩 1 分
オススメ：黒豚とんこつ、南国野菜チャンプル、オーサ（青海苔）天ぷらなど。黒糖焼酎は高倉、BLACK 奄美、れんと、きらめきの島など。
★ひとこと：店主は徳之島花徳出身。奄美出身者もたくさん来店いただいております。

居酒屋 島たぁーち

代表者：瀬川新一郎（沖永良部島）
住所：新宿区新宿 2-12-14 アコードビル 1F
☎ 03-3341-7273
営業時間：
ランチ［月～金］11:00 ～ 17:00
［土］11:00 ～ 14:00
ディナー［日～木］17:00 ～翌 1:00
［金・土］17:00 ～翌 5:00
定休日：無休
アクセス：都営新宿線「新宿三丁目駅」C8 出口徒歩 1 分
オススメ：タームコロッケ、トーフチャンプル、人参しりしり等

やまん

代表者：下間秀樹（茨城県）
住所：千葉県柏木市東上町 2-3
☎ 050-5798-8502
営業時間：17:30 ～ 24:00
定休日：月曜
アクセス：ＪＲ常磐線・東武野田線「柏駅」東口徒歩 8 分
オススメ：油そーめん、魚みそとクリームチーズ、地魚のグリル、鮮魚のカルパッチョ
★こだわり：〈黒糖焼酎〉龍宮、まーらん舟、らんかん、長雲、朝日など〈食材〉トビンニャ、モズク、テナガ海老、アオサ、フルなど。
★ひとこと：奄美旅行で奄美が大好きになり数十回行っています。富田酒造の富田氏にとてもお世話になっています。

ぴーす Z

代表者：里光仁（奄美大島　名瀬大熊）
住所：品川区小山 6-6-6
☎ 03-3784-7302
営業時間：18:00 ～翌 2:00
定休日：不定休
アクセス：東急目黒線「西小山駅」徒歩 4 分
オススメ：〈料理〉油そうめん・鶏飯（予約のみ）。〈黒糖焼酎〉レント・里の曙・じょうご
★店名の由来：子供達に覚えてもらい易いようにつけました。
★こだわり：奄美の醤油を使っています。
★シマを出る子供たちへ：言葉のなまりが出て辛い時がたくさんあると思います。自分がそうだったので！ だから辛い時は何時でも遊びにおいで！

庄や 京王明大前店

代表者：森山明（奄美大島　名瀬町）
住所：世田谷区松原 2-45-2
レインボー 591 1F
☎ 03-3323-8031
☎ 050-5841-0673（予約専用）
営業時間：16:00 ～翌 4:00
定休日：無休
アクセス：京王線・井の頭線「京王明大前駅」徒歩 1 分
オススメ：大漁盛り（9 種 4 貫盛り）を始めとする魚料理
★ひとこと：島の方、大歓迎です。
★シマを出る子供たちへ：内地に出て、頑張って島を繁栄させてほしいです。

和ごころ あまみ

住所：港区新橋 3-22-2 つるや TK ビル 4F
☎ 03-3435-0005
営業時間：18:00 ～翌 4:00
定休日：日曜、祝日、第 2・4 土曜
アクセス：JR、銀座線「新橋駅」烏森口徒歩 1 分
オススメ：黒豚大根煮、自家製ジャンボつくね（梅肉入り）、自家製ゴマ豆腐

ばしゃ山亭

代表者：池田
住所：目黒区原町 1-6-10
☎ 03-3714-8363
営業時間：17：30 ～翌 1:00
定休日：月曜（祝日の場合は火曜）
アクセス：東急目黒線「西小山駅」徒歩 1 分
オススメ：島そば、人参しりしり、ゴーヤピザ、ゴーヤチャンプルー、海ぶどう等

和風ダイニング むく

住所：豊島区西池袋 3-25-8
☎ 03-5949-4418
営業時間：[月～土] 17:00 ～翌 2:00
[日・祝] 17:00 ～ 24:00
定休日：無休
アクセス：JR、有楽町線他「池袋駅」
西口徒歩 3 分
オススメ：和タパスいろいろ、自家製ポテトサラダ、美味しいお野菜のピクルス
★こだわり：旬のおいしいお魚、野菜、果物、肉……。飽きのこないよう、宴会メニューは毎月替えています。
HP

amami product shop FREEMOON

奄美物産店フリームーン
代表者：池畑郁人（奄美大島名瀬）
住所：足立区西新井 1-5-9
☎ 03-5691-6135
営業時間：10:00 ～ 17:00
定休日：水曜（不定休）
アクセス：東武大師線「大師前駅」徒歩 2 分
商品例：かけろまきび酢、福留さん家のにんにくラー油みそ、徳之島地福シークニンジュース、原ハブ屋オリジナルグッズなど
★ひとこと：H26 年 12 月 29 日オープン。まだまだこれから創り上げていくところです。奄美だけにこだわらず群島の物産、情報を発信したいと考えています。
f

いづみ家

住所：杉並区天沼 3-3-11
☎ 03-3391-1890
営業時間：18:00 ～翌 1:00
定休日：日曜（月曜が祝日・振替休日の場合は月曜）
アクセス：JR 中央線・丸ノ内線「荻窪駅」北口徒歩 2 分
オススメ：豚バラ蒸し、蒸したて野菜、自家製厚揚げ
★こだわり：築地直送のお魚の他、旬の食材を使った店主おすすめメニューを日替わりでご用意します！
HP f

伊吹

住所：新宿区荒木 16 コーポエスペロ 102
☎ 03-3358-6994
営業時間：11:30 ～ 13:20、
17:00 ～ 23:00
定休日：土日・祝日
アクセス：都営新宿線「曙橋駅」徒歩 2 分 / 丸ノ内線「四谷三丁目駅」徒歩 7 分
オススメ：とんそく煮、特製玉子焼、牛すじ辛スープ、豚しょうが焼等

南島酒房 黒うさぎ 麹町店

住所：千代田区麹町 4-8 麹町
クリスタルシティ東館 B 1 F
☎ 03-3263-2188
営業時間：[月～金]11:30 ～ 14:30/
17:00 ～ 23:00[土]16:00 ～ 21:00
定休日：日曜・祝日
アクセス：有楽町線「麹町駅」徒歩 1 分
オススメ：ラフティー、鶏飯、ジーマミー豆腐のカプレーゼ、トンニンギャナ（ふかし芋）
★こだわり：黒糖焼酎、泡盛（古酒・新酒）豊富な品揃え、沖縄から新鮮な旬の野菜を入荷！
（平日のみ） HP f

あがんま

住所：中野区中野 3-19-5 増田ビル 1 F
☎ 03-3382-5223
営業時間：18:00 ～翌 2:00
定休日：火曜
アクセス：JR「中野駅」徒歩 10 分
オススメ：鶏飯、島素麺、ヤギ汁など島料理

奄美・沖縄料理 みしょーれ奄美

代表者：春野安弘（奄美大島　名瀬）
住所：品川区五反田 1-16-1 菅原ビル 2F
☎ 03-5436-5308
営業時間：11:30 ～ 13:30/
17:30 ～ 23:30（土曜は夜のみ）
定休日：日曜・祝日
アクセス：JR「五反田駅」徒歩 3 分 /
東急池上線「大崎広小路駅」徒歩 2 分
オススメ：油そうめん・鶏飯・トビンニャ〈黒糖焼酎〉レント・里の曙・長雲・朝日・高倉等
★店名の由来：奄美の方言で「食べて下さい」
★こだわり：油そうめんは母親の素朴な味を出すようにしています。
★シマを出る子どもたちへ：夢を持って都会に出てきてください。決して諦めないで。
（3 ヵ月に 1 度　第 2 土曜）
HP

ねりやかなや

住所：渋谷区代々木 1-37-20 酪農会館 B1F
☎ 03-6300-6260
営業時間：11:30 ～ 23:00
（ランチ 16:00 まで）
定休日：日曜
アクセス：JR・都営大江戸線「代々木駅」3 分
JR「新宿駅」サザンテラス口徒歩 5 分
オススメ：黒さつま鶏のお刺身盛り、茶美豚の黒糖煮・半熟卵付き、幸福豚の T ボーンステーキ
こだわり：奄美諸島や離島を含めた鹿児島全域のこだわり食材を使用。お酒も鹿児島の酒造さんにこだわった品揃えです。
（平日のみ） HP f

レストラン タテル ヨシノ

代表者：吉野建（喜界島）
住所：東京都中央区銀座 4-8-10 PIAS GINZA12F
☎ 03-3563-1511　要予約
定休日：無　※ 1 月 1 日を除く
アクセス：東京メトロ「銀座線」、丸の内線、日比谷線「銀座駅」A6・7 番出口より徒歩 1 分
★タテル ヨシノ　ビズ
東京都港区東新橋 1-7-1
パークホテル東京 25 階
☎ 03-6252-1155
★ブーランジェリー タテルヨシノ
東京都港区東新橋 1-7-1
パークホテル東京 1 階プリュス
☎ 03-6252-1126
（CP） HP f

● 店舗情報アイコンの見かた
本誌持参の方、お会計より10% OFF
（店舗によりその他のサービスもあり）
ランチあり
ライブあり
シマ楽器あり
カラオケ
駐車場あり（CP =コインパーキング）
ホームページあり
フェイスブックあり
※注……代表者名のカッコ内は出身地

5/9, 10
黒糖焼酎も
みしょりん
しょれー

酒楽料理 辰丸

代表者：川畑忠幸（奄美大島瀬戸内町古仁屋）
住所：大阪市住吉区苅田 3-17-7
☎ 06-7850-1151
営業時間：17:00 ～ 24:00
定休日：日曜（月が祝日の場合は営業）
アクセス：御堂筋線「我孫子駅」東北方面へ徒歩7分
オススメ：豚足煮込み、にがうりチャンプル、黒糖焼酎は 12 ～ 13 種類あり
★店名の由来：祖父の乗っていた船の名前です。

応援団

南国料理 奄人

代表者：久倉進一郎（奄美大島　名瀬）
住所：大阪府吹田市寿町 1-3-20
☎ 06-6319-0555
営業時間：18:00 ～（L.O.22：30）
定休日：月曜
アクセス：阪急「吹田駅南口」徒歩 3 分
オススメ：奄美の旬の食材を使った料理、トビンニャ（まがき貝）、塩豚のスライスと海ぶどうのサラダ、奄美海ぶどう、タナガ（川海老）唐揚げ、豚足塩焼き、豚足煮込み、あおさ天ぷら、鶏飯、アバス（ハリセンボン）の唐揚げ、油ぞうめん、島山羊（やぎ）汁、ピーナッツ味噌、島芋チップス
ひとこと：火、木曜は女性のみドリンク半額。
（CP）

お鉢料理奄美

代表者：石田浜代（奄美大島笠利町住用）
住所：兵庫県尼崎市潮江 1-21-1
☎ 06-6493-9050
営業時間：17:00 ～ 24:00
定休日：木曜
アクセス：JR「尼崎駅」北方面徒歩 10 分
★店名の由来：奄美が好きなので。
★こだわり：島料理を中心に作っている。おまかせメニュー（豚料理など）もあり。
★シマを出る子供たちへ：奄美を誇りに思って出てきて欲しい。奄美を大切に。

南国物産キッチン次郎

代表者：森君枝（沖永良部和泊）、森裕伸
住所：兵庫県神戸市中央区宮本通 7-3-6
☎ 078-272-0128
営業時間：10:00 ～ 20:00
定休日：日曜
アクセス：阪急「春日野道駅」徒歩5分
★店名の由来：店主（君枝）の父の屋号から取りました。
★こだわり：沖永良部から食材を取り寄せています
★シマを出る子供たちへ：内地に出てきたら是非郷土会に参加して欲しい
（不定期）

ありがっさま

代表者：内田サユミ（奄美大島　名瀬）
住所：大阪市北区曽根崎 2-5-22
日宝パティオビル 3 F
☎ 06-6361-8878
営業時間：18:00 ～ 24:00
定休日：日曜・祝日（予約あれば OPEN）
アクセス：御堂筋線「梅田駅」徒歩 4 分
谷町線「東梅田駅」徒歩 2 分・お初天神そば
オススメ：シビ、ハラゴの揚物・ツバサの煮物、とびんにゃなど（要予約）
★店名の由来：中学の同級生と電話で、むん話をして、切るときは「ありがっさま！」と声を掛け合っていた。その友人が名付け親です

居酒屋雅

代表者：新田武三（徳之島　亀津）
住所：兵庫県尼崎市長洲西通り 1-1-17
☎ 06-6489-3924
営業時間：11:30 ～ 14:00/
17:00 ～ 24:00　定休日：火曜
アクセス：JR「尼崎駅」南方面徒歩 5 分
オススメ：油そうめん、やぎ汁、豚足
★こだわり：油そうめんは塩味で、三枚豚肉・ピーマン・人参・キャベツ・ニラなど具だくさん。
★シマを出る子供たちへ：夢を持って出てきなさい。
（店主の島唄演奏あり）

徳之島・島料理 晩酌もーれー

代表者：福けい子（徳之島天城）・岩尾優子（奄美大島小宿 2 世）・久山誠（徳之島）
住所：寝屋川市大利町 11-37
☎ 072-829-0851
営業時間：18:00 ～店主の許す限り
定休日：日曜
アクセス：京阪「寝屋川市駅」徒歩 10 分
オススメ：玉子おにぎり
★店名の由来：徳之島のひい爺ちゃんがつけてくれました。
★シマを出る子供たちへ：お腹が空いたらいつでもおいでー！ お腹いっぱい食べさせてあげるよ♪
（玉子おにぎりとスープ）

てげてげ食堂きゅらむん

代表者：津留教義（奄美大島瀬戸内町瀬久井）
住所：兵庫県伊丹市中央 1-9-11 池信ビル 1 F
☎ 0727-78-0188
営業時間：17:30 ～ 24:00　休日：不定休
アクセス：阪急「伊丹駅」東連絡デッキ口徒歩 3 分
オススメ：赤うるめ（グルクン）の唐揚げ、油そうめん、モッカサラダ
★店名の由来：島口で「美人」。島ちゅにすぐわかるようにつけました。
★ひとこと：島を離れて分かる島の良さと、人のつながりを大切にしたい。
★シマを出る子供たちへ：島ば恋しくなったら、うもりんしょれ！

奄美・島料理てぃだ

住所：大阪市北区天神橋 5-5-31 河合ビル 2F
☎ 06-6881-3639
営業時間：17:00 ～翌 1:00
定休日：火曜・第 3 水曜
アクセス：堺線・谷町線「天神橋筋六丁目駅」徒歩 2 分
オススメ：鶏飯、島魚のお造り、アバス（ハリセンボン）の唐揚げ、石垣牛ハンバーグステーキ、やんばる若鶏のグリル
★こだわり：奄美・沖縄の食材中心の郷土創作料理から洋風料理まで。黒糖焼酎は約 40 種類。
★ひとこと：土日中心に奄美沖縄出身のアーティストによる島唄ライブを開催。

南国料理ハイビスカス

代表者：内　三千代（徳之島　伊仙）
住所：大阪市都島区東野田町 5-7-2 岡本ビル2F
☎ 06-6928-0730
営業時間：18:00 ～ 24:00（金・土日は～25:00）
定休日：月曜
アクセス：京阪・JR「京橋駅」徒歩8分
オススメ:もずく天ぷら、海ぶどう、島らっきょ
★店名の由来：前オーナーが 26 年前に付けた名前を引き継いだ。
★ひとこと：店主はシンガー。三線教室もやっています（月曜 19:00 ～21:00）。
★シマを出る子供たちへ：困った時は相談に乗れると思います。人との繋がりを大事に。一人じゃないよ。
（金・土・日）

● 店舗情報アイコンの見かた
本誌持参の方、お会計より10% OFF
（店舗によりその他のサービスもあり）
ランチあり
ライブあり
シマ楽器あり
カラオケ
駐車場あり（CP =コインパーキング）
HP ホームページあり
フェイスブックあり
※注……代表者名のカッコ内は出身地

居酒屋 よぉーり・よぉーり

代表者：山根優作（奄美大島大和村名音）
住所：兵庫県尼崎市南武庫之荘 1-15-5
☎ 06-68825768
営業時間）18:00 ～翌 2:00
定休日：第 2・4 火曜
アクセス：阪急「武庫之荘駅」南口
オススメ：鶏飯、豚足
★店名の由来：ゆっくりしていって欲しい。ゆっくりゆっくりのお店の形を作りたかったから。
★シマを出る子供たちへ：気軽に遊びにおいで～！

スナック こずえ

代表者：盛 こずえ（奄美大島　芦花部）
住所：吹田市豊津町 5-28
☎［スナック］06-6338-1338
［居酒屋］06-6338-2555
アクセス：御堂筋線「江坂駅」399m
営業時間：11:30 ～ 13:00/
18:00 ～ 24:00
定休日：日曜・祝日
座席数：1 F 20 席、2 F 20 席
オススメ：油そうめん、塩豚

ライブ・ギャラリー あだん

代表者：作城妙子（徳之島）
住所：守口市松月 1-27 桂ビル 3F
☎ 090-5724-2533
営業時間：18:00 ～ 23:00
定休日：水曜
アクセス：京阪「守口市駅」徒歩 3 分
★ひとこと：琉球舞踊と島唄を、そして店内には画家・作城妙子の「南の島の神木ガジュマル」の絵もたくさん展示しており、店内に入った瞬間に南の島が体感できます！

島唄ライブ おぼらだれん

代表者：亀山幸男（徳之島　伊仙）
住所：大阪市中央区道頓堀 2-4-7
ローソン 2F
☎ 06-6484-0800
営業時間：17:00 ～ 24:00
（金・土・日～ 25:00）
定休日：第 3 月曜
アクセス：御堂筋線「なんば駅」25 番出口徒歩 5 分
オススメ：ゴーヤ炒め、ワンフニ、ニンニクの葉炒め（季節限定）
★店名の由来：島の感謝の言葉で「ありがとう」。常に感謝の気持ちを心がけます。
★こだわり：鶏飯は鶏と豚骨でスープを取ってお出ししています。
★シマを出る子供たちへ：島の人情、島の情けを持てる人になってほしいと思います。

ちゃんこ 奄美

住所：東大阪市小若江 3-1-28
☎ 06-6723-4864
営業時間：水～日
居酒屋タイム 17:00 ～ 23:00
定休日：月曜、火曜
アクセス：近鉄大阪線「長瀬駅」徒歩 12 分（近畿大学正門より徒歩 2 分）
オススメ：時津風部屋直伝のちゃんこ料理と奄美大島の郷土料理を提供
（無料 2 台）

居酒屋 とよ

住所：大阪市都島区東野田町 3-2-26
☎ 06-6882-5768
アクセス：JR 環状線「京橋駅」徒歩 1 分
営業時間：[火・水・金] 15:30 ～ 21:00 [土] 14:30 ～ 20:00
定休日：日・月・木・祝日
アクセス：JR「柏駅」
オススメ：おまかせ 3 点セット（まぐろ・うに・いくら）、はも湯引き、まぐろホホ肉あぶり、トロ鉄火
★こだわり：魚料理にこだわりあり。

カラオケ・スナック 朝花

代表者：森俊光（奄美大島　瀬戸内町小宿）
住所：兵庫県尼崎市大物 1-5-25
☎ 06-6401-6308
営業時間：18:00 ～ 24:00
定休日：月曜（団体予約は OK）
アクセス：阪神「大物駅」
★店名の由来：島唄の曲名をつけました。店主は関西奄美民謡芸能保存会の会長。島の心を継承していきたいと思います。
★シマを出る子供たちへ：都会に出たら、故郷を忘れずに！「麦になるな！ 稲になれよ！ 天狗になるんじゃないよ」
（時々）

カラオケ喫茶 かけろま

代表者：長岡富義（奄美大島　瀬戸内町西阿室）
住所：兵庫県尼崎市昭和通 1-1-6
電話：06-6487-3885
営業時間：13:00 ～ 22:00
定休日：火曜
アクセス：阪神電車「大物駅」北へ 3 分
★シマを出る子供たちへ：安心してきてください。

カラオケ喫茶 安脚場

代表者：安川純教（奄美大島瀬戸内町安脚場）
住所：兵庫県尼崎市杭瀬本町 3-3-53
電話：06-6401-5222
営業時間：13:00 ～ 17:00/19:00 ～ 24:00（日曜のみ 13:00 ～ 24:00）
定休日：木曜
アクセス：阪神「杭瀬駅」徒歩 5 分
★店名の由来：「安心して足を休める場所」の意味。（亡くなった弟の店の屋号）。
★こだわり：年に一度「ヤギ汁デー」を開催。
★シマを出る子供たちへ：自分が良いと思った事は頑張ってやって欲しい。困った事があれば何時でも来なさい。郷土会にも進んで参加して欲しいです。

キッチン Gump（ガンプ）

代表者：大山啓介（喜界島　湾）
住所：大阪市中央区備後町 2-4-10
☎ 06-6231-5611
営業時間：11:00 ～ 14：00/
17:0 ～ 22:00　定休日：日曜・祝日
アクセス：堺筋線「堺筋本町駅」16 番出口徒歩 4 分 / 御堂筋線「本町駅」1 番出口徒歩 5 分
オススメ：ヨーグルトたっぷり入ったやわらか合挽きハンバーグなど、こだわりハンバーグ各種
★店名の由来：映画『フォレストガンプ』より。サブタイトルが「一期一会」でした！
★こだわり：黒糖焼酎は喜界島から送ってもらっています。
★シマを出る子供たちへ：新転地で、奄美魂で頑張ってください。

三線カフェ 喜界島

代表者：西恒一郎（父：中里、母：荒木）
住所：大阪市城東区成育 4-26-26
☎ 06-7172-9434
営業時間：18:00 ～ 24:00
定休日：火曜・水曜
アクセス：京阪「関目駅」西口徒歩 1 分
★店名の由来：喜界島の良さや音楽を多くの方に知ってもらえるように。
★こだわり：料理に花良治（けらじ）コショウ・パパイヤのつけもの等を入れています。
★シマを出る子供たちへ：島の自然、人を大事に、自分の可能性を信じて進んで。
（あんだーぎーをプレゼント）

カラオケ・スナック 蘭

代表者：勇富夫（奄美大島瀬戸内町管鈍）・勇綾子（同・古仁屋）
住所：兵庫県尼崎市昭和通り 1-18-6
☎ 06-6481-9868
営業時間：19：00 ～ 24:00
定休日：月曜
アクセス：阪神「大物駅」
★ひとこと：島唄・三線教室もやっています。
★シマを出る子供たちへ：お店に、先輩たちの話を聞きに来てください（島の会にも出てね）。

旬彩処 なんちゃっ亭

代表者：南仁哉（両親とも喜界島出身）
住所：兵庫県尼崎市久々知西町 1-5-11
☎ 06-6421-8551
営業時間：17:00 ～ 24:00
定休日：月曜
アクセス：JR「尼崎駅」徒歩 10 分
オススメ：活真鯛とシマボタンエビ造り、生サンマ造りなど季節ごとの旬の魚料理
★店名の由来：名前の「南」を取って「なん」、尼崎らしさを入れてもじってみた。
★こだわり：店主は和食料理歴 20 年。新鮮素材の魚料理にこだわっています。

ラウンジ 司光

代表者：奄美大島　瀬戸内町西阿室出身
住所：兵庫県尼崎市杭瀬本町 2-1-8 スィングプラザ杭瀬 402
☎ 06-6487-0236
営業時間：18:00 ～ 24:00
定休日：月曜（祝日の場合営業）
アクセス：阪神電車「杭瀬駅」徒歩 5 分
★店名の由来：いつまでも光が当たり、お客様を大事にする事をモットーとして。
★こだわり：焼酎の 80%は奄美の黒糖焼酎。
★シマを出る子供たちへ：故郷の西安室小学校は生徒減少で廃校危機に瀕していますが、しっかり勉強して島で就職する事を望みます。

ちゃんこ 名瀬錦（なぜにしき）

代表者：宮田　誠（奄美大島　名瀬石橋町）
住所：三重県四日市市川島 6522-1
☎ 0593-21-0272
営業時間：17:00 ～ 23:00
休日：月曜
アクセス：近鉄湯の山線「伊勢川島駅」より約 200 m
オススメ：ちゃんこ鍋
★店名の由来：店主はかつて増位山関の部屋に在籍。16 年間頑張ってきた「四股名」をつけました。
★シマを出る子供たちへ：都会に出ても、島を離れず頑張ってほしい。

居酒屋 喜界

代表者：芳村忠徳（喜界島　志戸桶）
住所：兵庫県尼崎市長洲東通 1-3-27
☎ 06-6482-6266
営業時間：18:00 ～ 23:00
定休日：年中無休（不定）
アクセス：JR「尼崎駅」南へ徒歩 10 分
オススメ：山羊料理（ヤギ刺しは切らさない）、牡丹鍋（京都から取り寄せている）、クズマーの味噌炒め
★こだわり：山羊とさくな・くずなは喜界島から取り寄せている。鶏飯の鶏は、宮崎の地鶏を使用（ロイヤルポーク　霧島）。
★ひとこと：郷土会やイベントなどでのお弁当注文、可能です。

カラオケ・スナック なな

代表者：池田玲子（奄美大島瀬戸内町古仁屋）
住所：兵庫県尼崎市昭和通 6 丁目 212 スィングプラザ 108
☎ 06-6412-1577
営業時間：19:00 ～ 25:00
定休日：水曜
アクセス：阪神「尼崎駅」徒歩 7 分
★店名の由来：愛犬（マルチーズ）の名前を付けました。
★こだわり：店の 80%が黒糖焼酎です（レント・里の曙・ジョウゴ等）。
★シマを出る子供たちへ：郷土会には是非参加して欲しいです。

● 店舗情報アイコンの見かた
本誌持参の方、お会計より10% OFF
（店舗によりその他のサービスもあり）
ランチあり
ライブあり
シマ楽器あり
カラオケ
駐車場あり（CP =コインパーキング）
ホームページあり
フェイスブックあり
※注……代表者名のカッコ内は出身地

スナック 幸生（こうせい）

代表者：前窪ホズエ（奄美大島　笠利町赤木名）
住所：兵庫県尼崎市杭瀬本町 3-1-53
☎ 06-6401-5944
営業時間：1900 ～ 2400
定休日：月曜
アクセス：阪神本線「杭瀬駅」
オススメ：とうがんスープ、油ソーメンなど
★こだわり：田舎の料理を出すようにしています。
（おつまみ1品）

焼肉番長 天満店

住所：大阪市北区池田町 7-5
☎ 050-5787-3092
営業時間：12:00 ～ 2400
（お肉無くなり次第）
定休日：無休
アクセス：JR 大阪環状線「天満駅」徒歩 4 分
オススメ：予約限定で特選牛すき焼きと特選牛しゃぶをご用意
★こだわり：安心して美味しく食事をしていただくため、厳選された黒毛和牛を使用致しております。タレは秘伝のタレを使用しています。

奄美・沖縄料理 しまん人

代表者:恵 絵路子(奄美大島住用村西仲間)
住所：大阪市中央区内本町　2-1-19
☎ 06-6946-8515
営業時間：11:30 ～ 1600
17:00 ～ 23:00
定休日：土日・祝日
アクセス：谷町線「谷町4丁目駅」4 番出口
オススメ：鶏飯・角煮・もずくの天ぷら
★店名の由来：島をアピールするため。
★こだわり：鶏飯はだし汁にこだわっています。
★シマを出る子供たちへ：島らしい心の広いおおらかな大人になってください。
■ランチ（第 4 金曜）

カラオケ・スナック マーブル

代表者：朝倉しおり（奄美大島　名瀬）
住所：兵庫県神戸市中山手通り 1-4-11
☎ 078-321-0457
営業時間：19:00 ～ 24:00
定休日：土日・祝日
アクセス：阪急・JR「三宮駅」下車、生田神社近く

一品・うどん 真心

代表者：牧 健二（徳之島天城）
住所：大阪市都島区東野田町 3-1-3　2F
☎ 070-5665-6614
営業時間：18:00 ～ 25:00
定休日：日曜
アクセス：JR・京阪「京橋駅」
オススメ：うどん、鶏飯、サーロインステーキ
★こだわり：鶏飯は奄美郷土料理なので、島を思い出してもらえるように丁寧に真心込めて作っています。その他すべて真心込めて作っています。
★シマを出る子供たちへ：慣れない都会での生活、辛いときもあるけど、負けずに頑張ってください。島人として誇りを持ってこれからの人生を生きてください

田畑青果

代表者：田畑かつよ・てるみ（奄美大島瀬戸内町押角）
住所：加古川市志方町高畑 193-3
☎ 079-452-5585
営業時間：10:00 ～ 18:00
定休日：月曜
アクセス：山陽道加古川北インターから南へ約2分
オススメ：果物の全て新鮮！しかも安い！自家製のイチジク・焼き芋は絶品
★シマを出る子供たちへ：島の空気をたくさん吸って、温かい人達に囲まれて伸び伸び育ってください。大きな夢を持って都会に出てきてね。

ライブハウス
Chicken george

代表者：児島 3 兄弟（父：名瀬、母：亀津）徳之島2世
住所：兵庫県神戸市中央区下山手通 2-17-2 B1F
☎ 078-332-0146
営業時間：ライブ・イベントスケジュールにより変動　定休日：無休
アクセス：阪急・JR・阪神・ポートライナー「三宮駅」徒歩 10 分
★ひとこと：チキンの会場レイアウトは、主催者の用途にあわせて姿を変えます。パーティや催しなどイベントの趣旨に応じてレイアウトの自由度が高くなりました。詳しくは HP をご覧ください。
（2015 年 4 月より半年間限定）

カフェバー あだん

代表者：店主は奄美大島瀬戸内町出身
住所：大阪府摂津市一津屋 11-26
☎ 06-6195-9106
アクセス：大阪モノレール「南摂津駅」徒歩 2 分

居酒屋 いちゃりば

代表者：店主は奄美大島瀬戸内町出身
住所：兵庫県尼崎市武庫元町 2-10-16
☎ 06-6436-8126
アクセス：阪急「武庫之荘駅」北口徒歩約 18 分

海鮮料理うずまき（伸介の巻）

代表者：福島伸介（奄美大島　名瀬）
住所：大阪市北区中津 1-9-16 寿ビル 1F
☎　06-6375-9844
営業時間：18:00 ～ 23:00
定休日：不定休
アクセス：御堂筋線「中津駅」1 番出口徒歩 2 分
オススメ：しぶりの煮物、元気玉（玉子巻おにぎり）、てっちり
★こだわり：その日仕入れた新鮮魚介を使用。奄美の逸品を堪能できる「島んちゅコース」もご用意。
★ひとこと：気取らず、わいわい楽しんで頂ける店作りを心掛けています
（イベント時のみ）

居酒屋 薩摩

代表者：伊藤昭喜（奄美大島　瀬戸内町）
住所：兵庫県伊丹市中央 1-6-3
尾仲ビル 3F
☎ 072-785-7838
営業時間：18:00 ～ 24:00
休日：無休
アクセス：阪急「伊丹駅」
東連絡デッキ徒歩 1 分
ひとこと：店主は第 58 代奄美観光大使。

お希楽居酒屋 裕樹亭（ゆうじゅてい）

代表者：店主は沖永良部島二世
住所：兵庫県尼崎市武庫之荘　1-14-18
☎ 050-5887-5285
営業時間：18:00 ～ 24:00　定休日：月曜
アクセス：阪神神戸線「武庫之荘駅」北口徒歩 3 分
オススメ：ラフテーチーズ焼き、てびちの煮込み、スクガラス豆腐、ミミガーポン酢、島人サラダ、豚の中身汁、鶏飯
★こだわり：ほとんどの食材は沖縄から空輸。ラフテーは 6 時間泡盛で炊いている。
★ひとこと：阪急神戸線「塚口駅」北口徒歩 10 分に「沖縄バール 裕樹亭」も営業中。
（塚口店）

カラオケ喫茶いどばた

代表者：徳之島亀津出身・70 歳
住所：兵庫県尼崎市杭瀬北新町 3-1-19
☎ 06-6482-3966
営業時間：13:00 ～ 23:00
定休日：不定休
アクセス：阪神「杭瀬駅」1 番出口徒歩 4 分
★シマを出る子供たちへ：島の言葉と文化、島唄を残したいので、島言葉を大いに使って欲しい。

洋風居酒屋 ＰＩＴ ＩＮ 55

住所：兵庫県西宮市戸田町 2-16
☎ 0798-35-8944
営業時間：12:00 ～ 13:00
17:00 ～ 22:00
休日：土日・祝日
アクセス：阪神本線「西宮駅」
東口徒歩 2 分

協栄運輸株式会社

代表者：與倉俊六（奄美大島瀬戸内町古仁屋）
住所：大阪市住之江区柴谷　2-1-1
☎ 06-6681-2957
営業時間：8:00 ～ 19:00
休日：日曜・祝日
アクセス：谷町線「谷町４丁目駅」4 番出口
★こだわり：大阪で奄美・沖縄関係のお仕事を長年行っている会社です。物流を通じ手、奄美・沖縄の方をのお役に立てるように頑張っています。
★メッセージ：島には、良いもの、良い所が沢山あるので、それを見つけてどんどん発信してください。

炭火焼鳥にいむら

代表者：新村寛徳（沖永良部島知名上平川）
住所：大阪市淀川区三津屋北 1-6-20
☎ 06-4806-0141
営業時間：11:30 ～ 24:00
定休日：無休
アクセス：阪急電車「神崎川駅」徒歩 3 分
オススメ：焼き鳥各種・おでん・魚料理など
★こだわり：お昼のランチは、うどん付きで 500 円で提供。安くて美味い！ がモットーです。
ひとこと：料理を習いたいなら何でも教えます（魚のさばき方等）。いつでも来てください！

居酒屋 味みつ

代表者：栄（奄美大島　瀬戸内町）
住所：兵庫県西宮市上之町 1-4
☎ 0798-66-5078
営業時間：19:00 ～ 23:00
休日：木曜
アクセス：阪神本線「西宮駅」北口
ひとこと：初めてでもすぐに馴染む、常連客で賑わうアットホームな店。

ライブハウスダートマスクラブ

代表者：新田店主（徳之島二世）
住所：兵庫県西宮市甲子園北町 1-22 B1F
☎ 0798-66-4911
営業時間：1900 ～ 2400
定休日：月曜（たまに営業します）
アクセス：ＪＲ「甲子園口駅」北口徒歩1分
★ひとこと：毎日がオープンステージ。ご自分で演奏するもよし、誰かの演奏に合わせて歌うもよしまたそれを聴くもよし。ご自慢の楽器をお持ちいただいても、手ぶらでお越しいただいてもＯＫ。店内ではたくさんの楽器が出番を待っています。

名古屋

● 店舗情報アイコンの見かた
本誌持参の方、お会計より10% OFF
（店舗によりその他のサービスもあり）
ランチあり
ライブあり
シマ楽器あり
カラオケ
駐車場あり（CP =コインパーキング）
ホームページあり
フェイスブックあり
※注……代表者名のカッコ内は出身地

応援団

和風居酒屋 花まる

代表者：下薗紗奈江（奄美大島　笠利町用安）
住所：名古屋市中区丸の内 2-8-27
☎ 052-220-7338
営業時間：11:30 ～ 14:00（月～金）
17:00 ～ 23:00（月～土）
休日：日曜・祝日
アクセス：鶴舞線「丸の内駅」1番出口徒歩3分
オススメ：花まる風油そうめんチャンプルー、ゴーヤの酢の物、牛すじと水菜のハリハリ鍋、鹿児島産黒豚しゃぶしゃぶ
★こだわり：旬の食材と希少なお酒を豊富に取り揃えています。ハリハリ鍋はじっくりコトコト煮込んだ牛すじと、シャキシャキ水菜をたっぷり入れ、絶妙な旨味と食感に仕上げました。
★ひとこと：日替りで 10 ～ 12 種類並べられる大皿のおばんざい（各￥450）は旬の食材を使用した家庭的な味わいがサラリーマンに好評。
（平日）（CP）

すなっく 山藤

代表者：鳥山田鶴子
住所：名古屋市中区錦 3 − 12−22
新錦ビル B 1F
☎ 052−972−7070
営業時間：20：00 ～翌 1：00
休日：土日・祝日
アクセス：東山線「栄駅」徒歩7分
こだわり：黒糖焼酎推薦のお店。心休まるホットな雰囲気の中で安心して楽しめるお店。出張など他府県の方もお気軽にどうぞ。
（CP）

黒糖焼酎を
そろえて
お待ちしています

奄んちゅ（あまんちゅ）

代表者：窪田久子（徳之島　伊仙町）
住所：兵庫県伊丹市 2-2-12-2
☎ 072-786-1611
営業時間：17:00 ～23:00
定休日：日曜
アクセス：JR 宝塚線「伊丹駅」徒歩3分
オススメ：角煮・奄美島豚あかりんとんステーキ
★店名の由来：(1) 奄美人の意味！（2）島では母の事。「おふくろの味、帰ってこれる場所であって欲しい」（3）当店名物、角煮・サーターアンダーギ（黒糖ドーナッツ）などは、初代オーナーの母親直伝の味。「母から子へ受け継がれる味を大切に！」という3つの意味があります。
★シマを出る子供たちへ：いつかお店を持ちたい方がいれば、ぜひ働きに来てください !! お手伝いさせてもらいます。
（記念行事のみ）

遊びにおいで!!
いつでも、ただいまっち
帰っておいで!

奄美三味線教室 語久庵校

代表者：久田博法（加計呂麻島　諸鈍）
住所：福岡市中央区大名 1-8-42-1F
☎ 092-752-7400
アクセス：地下鉄空港線「赤坂駅」
4 番出口徒歩 5 分
営業時間：14:00 ～ 17:00 毎木曜 or 日曜※月ごとに開校日が変わります。
★こだわり：奄美ならではの三味線の音色を伝えるため、奄美民謡大賞で数々の賞を受賞し、映画『余命』でも島唄を披露した加計呂麻島出身の唄者“久田博法氏”が語久庵校で奄美三味線教室を開校しています。
（三味線・チヂン貸出あり）HP

応援団

奄美のゆらい処 語久庵 ～ごくい～

代表者：中川大輔（福岡県）妻・珠美（奄美大島　龍郷町龍郷）
住所：福岡市中央区大名 1-8-42- 1 F
☎ 092 － 752-7400
営業時間：18:00 ～ 24:00 ／ 24:00 ～島時間（24:00 以降は鶏飯専門店として営業。※要お問合せ）
定休日：月曜（10 名様以上のご予約で営業）
アクセス：地下鉄空港線「赤坂駅」4 番出口徒歩 5 分
オススメ：奄美鶏飯、油ぞうめん、ウァンフォネヤセ（豚骨野菜）
★店名の由来：当時福岡に奄美のお店がなく、『鹿児島でも沖縄でもない、“ 奄美 ” を伝える店』として奄美を極める「極意」の意味と、内地で久しぶりにどぅし（友達）とゆらい語らう場所の意味。庵（いおり）には、草ぶきの小さな家という意味もあります。
★こだわり：調味料ももちろん奄美産。お肉や魚・野菜も季節によりますが奄美群島のものを多く使用しています。鶏飯のスープは地鶏ガラと赤鶏ガラを 8 時間以上煮込み、島の塩と島醤油でシンプルに味付け。
★ひとこと：ただいまと言える空間がある。帰りたくなったら、まずおいで島人だけの割引や島人カードも作れます。
（近隣に CP 多数）HP

Sai Sai

スタッフ：重田直也（奄美大島名瀬永田町）
住所：福岡市中央区赤坂 1-6-22
☎ 092-711-7227
アクセス：空港線「赤坂駅」2 番口徒歩 3 分
営業時間：17:00 ～翌 3:00
定休日：無休
オススメ：海ぶどう、紅芋チーズコロッケ、てびちのカリカリ揚げ
★ひとこと：島を出て 15 年程になりますが、やっぱり島への想いは住んでいた時と変わらず、というよりそれ以上に大きく、特別なものになっている様な気がします。
★シマを出る子供たちへ：みなさんも自分の為に、家族の為に島の為に頑張ってください。
（料理1品サービス）

ちゃんこ重ノ海

代表者：重村博久（奄美大島瀬戸内町古仁屋）
住所：福岡市中央区春吉 2-4-11-105 号
☎ 092-722-3700
アクセス：七隈線「渡辺通駅」より 500 m
営業時間：17:30 ～翌 1:00
定休日：不定休
オススメ：奄美産「さんご塩」使用のちゃんこ鍋、プロ野球・川崎宗則選手とのコラボメニュー「宗揚げ」、同・本多雄一選手のために考案された「ぼんすじ煮込」、熊本産馬刺し
★店名の由来：武蔵川部屋時代の四股名。シマを出る子供たちへ：内地に出て行ってもストグレ魂でがんばって！

buena onda（ブエナオンダ）

スタッフ：岩切 直（奄美大島　名瀬朝仁）
住所：福岡市中央区警固 2-14-1-5 F
☎ 092-713-8288
アクセス：地下鉄空港線「赤坂駅」4 番出口徒歩 8 分
営業時間：18:00 ～翌 2:00
定休日：無休
オススメ：魚のパエリア
★店名の由来：スペイン語で「いい感じ」。
★こだわり：化学調味料を一切使わず、体に優しい料理を提供しています。
★ひとこと：内地に出て学び、経験した事を島で還元して、少しでも奄美の活性化に繋がればと思います。島で頑張っている同世代達の活躍もいい刺激になってます。
HP

● 店舗情報アイコンの見かた
本誌持参の方、お会計より10% OFF
（店舗によりその他のサービスもあり）
ランチあり
ライブあり
シマ楽器あり
カラオケ
駐車場あり（CP =コインパーキング）
ホームページあり
フェイスブックあり
※注……代表者名のカッコ内は出身地

Peasmile（ピースマイル）

代表者：森山勝盛（奄美大島　名瀬）
住所：福岡市中央区警固 1-4-7-1-A
☎ 092-775-6221
アクセス：地下鉄「薬院大通り駅」徒歩 5 分
営業時間：18:00 ～翌 3:00（金・土・祝前日は翌 5:00 まで）　定休日：水曜
オススメ：バーニャカウダー、特製モスコミュール
★店名の由来：Ｐｅａｃｅ+ mile+simple
★こだわり：季節感を大切にし、素材で旬を感じる料理やドリンクメニュー。
★シマを出る子供たちへ：都会で島出身は、誇りに思えますよ。自信を持って都会へ来てください。
（スパークリングワイン１杯サービス）
（アメブロ）

産直レストラン 黒豚の館

住所：霧島市霧島永水 4962 番地
☎ 0995-57-0713
営業時間：11:00 ～ 15:00
17:00 ～ 20:00
（火・木は 17:00 閉店、祝日は夜の部も営業）
定休日：水曜（祝日の場合翌日休）
アクセス：鹿児島空港から車で約 25 分、JR 日豊本線「霧島神宮駅」からいわさきバス（国分駅行）で 6 分「王子原」下車すぐ
オススメ：黒豚豆乳しゃぶしゃぶ、黒豚とんかつ、黒豚カレー

奄美 がじゅまる

代表者：村田晴伸（奄美大島　名瀬）
住所：福岡市中央区港 2-3-10
アーバン長浜 1F
☎ 070-5489-6340
定休日：不定休営業
アクセス：地下鉄空港線「大湊公園駅」
オススメ：鶏飯、ヤギ汁、アバスの唐揚げ、トビンニャなど、その時々に取り寄せた食材を使った料理
★こだわり：奄美の郷土料理が食べられる居酒屋。奄美から直送した新鮮な食材をお召し上がり下さい。
（適当に皆で盛り上がる）

たまり処ココ

代表者：泰川裕策（奄美大島瀬戸内町古仁屋）
住所：福岡市博多区博多駅前 3-10-30-1F
☎ 092-474-2922
アクセス：JR、地下鉄空港線「博多駅」徒歩 6 分
営業時間：11:00 ～ 14:00/17:00 ～翌 3:00
定休日：不定休
オススメ：ブロチェッタ（スペイン風串焼き）、はらみステーキもつ鍋、カレーうどん（おむすび付：ランチ時）
★店名の由来：みんなの“たまり場”になるように。
★こだわり：旬の食材、手作り、季節感・奄美のお酒を少々扱っています。ハブ酒・れんと・里の曙など。

アンテナショップ まんでぃ

代表者：武田敏道（奄美大島瀬戸内町花富）
住所：福岡市中央区唐人町1- 1 2-31
唐人町アーケード内
☎ 092-711-7018
定休日：無
アクセス：唐人町駅徒歩 2 分
★こだわり：福岡で唯一のアンテナショップです。特産品はもちろん、黒糖焼酎もそろえており、ミキ等もお店で飲めます。

Tiny Boatt（タイニーボート）

代表者：林 将史（奄美大島　住用村）
住所：福岡市中央区薬院 3-8-16
☎ 092-522-3170
営業時間：18:30 ～翌 7:00
定休日：無休
アクセス：地下鉄「薬院大通駅」徒歩 5 分・薬院公園そば
オススメ：焼き鳥各種、Tiny のオムライス、Ｔｉｎｙの辛麺
★店名の由来：ピロウズの曲『Ｔｉｎｙ Ｂｏａｔ』から。
★こだわり：創作串やパスタ、旬の食材にこだわるピザ。黒糖焼酎を使ったカクテル。
★ひとこと：島の子達がもっと活躍し、福岡、奄美を盛り上げていけたらと思います。
★シマを出る子供たちへ：福岡に来たときは遊びに来てね !!

カラオケスナック 蓮音（REN）

代表者：前田玲子（喜界島）
住所：鹿児島県霧島市隼人町見次２７−４
☎ 099 5- 73-8722
営業時間：12:00 ～ 17:00
18:00 ～ 23:30
定休日：日曜
アクセス：日豊本線「隼人駅」より
車で5分（550m）

お取り寄せグルメ・奄美鶏飯の店 けいはん亭

住所：鹿児島市宇宿 1-1-8
☎ 099-255-9870
営業時間：自宅のため時間不問
定休日：無休
アクセス：市電・ＪＲ「南鹿児島駅」徒歩 5 分 / 市電「二軒茶屋」電亭徒歩 6 分
オススメ：冷凍食品「鶏飯の素」を通販・お持ち帰り用に販売。
★こだわり:スープ、具、薬味の漬物、醤油、すべて無添加。

隠れ家 福 サスケハナ

住所：鹿児島市山之口町 11-7
ダイヤモンドビル２F
☎ 099-226-7071
営業時間：18:00 ～翌 2:00
定休日：不定休
アクセス：市電「天文館通駅」徒歩3分
オススメ：福のお造り盛合わせ、一口赤鶏棒手羽

奄美鶏飯 楽～笑（らーふ）

住所：鹿児島市宇宿 1543-1
☎ 099-265-4410
営業時間：11：30 ～ 15：00
定休日：土日・祝日
アクセス：JR 指宿枕崎線「宇宿駅」
徒歩 15 分
オススメ：鶏飯、油そうめん・うどん

居酒屋 てぃだぬ島

住所：鹿児島市樋之口町 10-32 1F
☎ 099-223-5825
アクセス：市電「市立病院前駅」徒歩 4 分
営業時間：17:30 ～ 24:00
（金・土は翌 3:00 まで）
オススメ：油そうめんなど奄美料理、鳥刺し / 芋焼酎、黒糖焼酎は豊富な品揃え

奄美居酒屋かりん

住所：鹿児島市下荒田町 3 − 17 − 19
☎ 099-257-5114
営業時間：月～土 18:00 ～ 24:00
（L.O.23：00）
定休日：日曜（予約の場合 OPEN）
アクセス：市電「騎射場駅」徒歩 5 分

宴家（えんや）

住所：鹿児島市千日町 3-9 塚田ビル　B1 F
☎ 099-225-5237
営業時間：18:00 ～翌 3:00
定休日：不定休
アクセス:市電「天文館電停(天文館通駅)」
徒歩 3 分
オススメ：手羽先のサクサク揚げ、自家製さつま揚げ、塩もつ鍋
★こだわり：塩もつ鍋は和牛の上質なホルモンを、塩味・醤油の特製スープで煮込む。
（近隣に CP）

café fu fu fu

住所：鹿児島市荒田1-47−10
☎ 099-821-1230
営業時間：10：00 ～ 18：00
定休日：日曜・祝日
アクセス：市電谷山線「荒田八幡駅」
徒歩 5 分
オススメ：ランチ（限定 30 食）、ロールケーキなどデザート各種
★こだわり：奄美の風を感じてもらうようインテリアや食材にこだわり。

酔食ろい処 美雲（みぐも）

住所：鹿児島市山之口町 8-34
鹿児島第一ビル 2F
☎ 099-227-0806
営業時間：18:00 ～翌 3:00
休日：不定休
アクセス：地下鉄空港線「大湊公園駅」
オススメ：水イカ刺し、あおさの天ぷら、てぃばんしゃ（豚肉とつわの煮付け）、塩豚、ちゃんこ鍋

よしみ屋ラーメン

住所：鹿児島市東千石町 3-1
☎ 099-222-8728
営業時間：11:00 ～ 14:00
17:00 ～翌 2:00
（土曜は翌 3:00 まで）
日・祝は 11:00 ～
スープ終わりまで
定休日：不定休
アクセス：市電「高見馬場駅」徒歩3分
オススメ：ラーメン、餃子、チャーシュー丼

食工房 その田

住所：鹿児島市桜ケ丘 8-25-21-2
☎ 099-264-1994
営業時間：11:00 ～ 14:30
18:00 ～ 22:00
定休日：日曜（不定休）
アクセス：市電1系統「笹貫駅」
徒歩 14 分
オススメ：鶏飯、バイキングつきランチ、あんだーげ

kitchen カルロス

代表者：奄美大島　奄美市名瀬出身
住所：鹿児島市山之口町 10-20 B1F
☎ 099-226-1318
営業時間：18:00 ～翌 1:00
定休日：日曜
アクセス：市電「高見馬場駅」徒歩3分
オススメ：季節のオーガニックやさいのバーニャカウダ、アヒージョ
★こだわり：鹿児島産の無農薬野菜を使用しています。ワインも添加物一切なしの自然派ワイン。
（近隣に CP）

沖縄

● 店舗情報アイコンの見かた
本誌持参の方、お会計より10% OFF
（店舗によりその他のサービスもあり）
ランチあり
ライブあり
シマ楽器あり
カラオケ
駐車場あり（CP =コインパーキング）
HP ホームページあり
フェイスブックあり
※注……代表者名のカッコ内は出身地

応援団

炊き肉の店 牛ちゃん 那覇店

代表者：元治満次（P45 ～ 46 上段で紹介）
住所：沖縄県那覇市西1−16−3　那覇ウエストイン2F
☎ 098−863−3634
営業時間：11:30 ～ 13:00（水・木・金のみ）/17:30 ～ 23:00
定休日：火曜
アクセス：モノレール「旭橋駅」徒歩5分
オススメ：絶品特カルビ、炊肉料理、地鶏刺、奄美鶏飯
★こだわり：上質な黒毛和牛にたっぷりの野菜を豪快に炊き上げる炊き肉は、鹿児島県発祥の料理。鹿児島黒毛和牛は、肉の旨みがジュワーとにじみ出ます。16 種類のスパイスで炊き上げるのでビールが進みやみつきになります！ぜひ一度ご賞味ください。

琉球サンロイヤルホテル

住所：沖縄県那覇市東町 6-20
☎：098-862-3811
アクセス:那覇空港より車で7分 / モノレール「旭橋駅」より徒歩 2 分
★ひとこと：地上 10 階・地下 1 階の計 11 フロア。135 の客室（最大 273 名収容可能や 100 名まで利用可能な宴会場、レストラン、カフェ、セレクトショップ等を併設。宿泊・食事・催し物まで、あらゆるシーンで利用できる。

御食事処 夕月

住所：沖縄県那覇市若狭2- 6- 1
☎ 098−863−1816
営業時間：17:00 ～22:00
★ひとこと：月～金で瑞流日舞教室・演歌舞台「八千代」の稽古もあり
問合せ：瑞（みずき）八千代（098−937−5652）

奄美郷土料理 群倉（ぼれぐら）

住所：鹿児島市松原町 1-7
第一食販ビル 1F
☎ 099-224-3666
営業時間：17:30 ～翌 1:00
定休日：日曜
アクセス：市電「天文館通駅」徒歩5分
オススメ：パパイヤの塩豚炒め、ハブの唐揚げ、山羊刺し、山羊汁
★こだわり：奄美出身の店主が奄美大島に古くから伝わる郷土料理を奄美直送の食材をふんだんに使い、奄美伝統の味を再現しております。

酒食処 貞信（ていしん）

住所：鹿児島市山之口町 3-12 シティーハウスビル2F
☎ 099-227-4383
営業時間：18:00 ～翌 2:00
定休日：不定休
アクセス：市電「高見馬場駅」徒歩 5 分
オススメ：とんこつ、かつおの腹皮、鶏飯
★こだわり：奄美出身者が来た時に鹿児島料理も楽しめるよう、奄美料理と鹿児島料理をどちらも提供。

居酒屋 優楽（ゆうらく）

住所：鹿児島市鴨池 1-2-21
☎ 099-250-5579
営業時間：18：00 ～翌 2：00
定休日：月曜
アクセス：市電 2 系統「中郡駅」徒歩6分
オススメ：奄美の豚足、カレイの縁側ユッケ豆腐、地鶏の刺身盛、鶏飯

ゆらい処 楽笑

住所：鹿児島市易居町 3 − 24
☎ 099-219-4399
営業時間：11:30 ～ 23:00
定休日：不定休
アクセス：市電「水族館口駅」徒歩 5 分
オススメ：豚足など島料理
（CP）

居酒屋食堂 おいで家

住所：鹿児島市大黒町 2-13
だるま屋ビル 1 階
☎ 099-222-0619
営業時間：17:00 ～翌 2:00
定休日：第1・3日曜
アクセス:市電「いづろ通駅」徒歩 3 分、「天文館通駅」徒歩 5 分
オススメ：もつ鍋、手羽の唐揚、黒豚軟骨炙り

もっともっと人と情報を繋ぐ！

編集後記

奄美ふるさと100人応援団の方々との連携を図るため、奄美市が推進する未来型事業として2014年4月、『まーじんネットワーク事業』はスタートしました。本誌は、その事業の最初の成果ともいえます。

本誌は、単に形優先の発行物ではなく、100人応援団認定者や郷友会の方々との連携・環境作りを含め「人と人を繋ぐ」こと、そして「情報もしっかり繋いでいく」ことを主軸に据え、取材進行してまいりました。

バニラエアの就航により東京―奄美の行き来も増え、島は新たな観光ブームが期待されています。ネットやイベントを含め、今後はますます“発信”が必須となるでしょう。その流れを受け、インターネット上で瞬時に日本中、世界中の人々と繋がるFacebook（フェイスブック）も運営を開始。現在では“個人応援団”に名乗りをあげていただいた方も741人に増えております（2015年3月30日現在）。

また2014年5月9日、10日の“黒糖の日”には関東の店舗にて連携フェアを実施。その他、神奈川・横浜での『奄美デー』の際には横浜のシンボル、マリンタワーで『「くっかる奄美」in 横浜』と題したイベントも開催いたしました。

本誌では、そうした“発信”の報告にもページを割いております。

さて、奄美ふるさと100人応援団の皆様の取材で全国に伺った際には、それぞれのホームグラウンドで活躍されている様子や事業、取組みに触れ、認定された方々の素晴らしさを実感するばかりでした。そして、皆様と語りあい、同じ時間を共有することで、少しずつですが“連携”の力が見えてきました。

本誌制作の過程で、100人応援団事業の素晴らしさを応援団の一人として実感したこともあり、その思いを逐次、Facebook「奄美ふるさと100人応援団グループ」に掲載いたしました。Facebookを通して、国内はもちろん世界の方に、応援団の存在や、全国の奄美郷友会の存在も知っていただけたと自負しております。

これまで全国各地にある店、人、郷友会の方々が同じ情報を共有することは難しく、またそれらを統括する場所がありませんでした。それらの存在が一つ になれば、力強い組織になることは言うまでもありません。本誌がその一助となれば幸いです。

本誌作成に際しましては、全国の奄美会の会長始め執行部の皆様に貴重なお時間をいただきましたこと、改めてお礼申し上げます。本誌はまさに、皆様の郷土愛の賜物です。それは、ご協力いただいた皆様の声をお読み頂ければ解っていただけることでしょう。

全国の奄美店舗の情報収集においては、100人応援団メンバーにもご協力いただきました。大阪は萩原きよみさん、福岡は中川大輔さんが現地取材を担当、精力的に、そして真摯に取り組んでいただき、本誌の完成に至りました。こうした人的資源を発信基地に、「繋ぐ、繋がる」取組みを今後の島発信の力にしてゆきたい……。その意志を誌面から感じ取っていただければ幸いです。

情報等に不備もあるかと思います。更なる情報収集、取材製作に力を入れてゆきたいと思っておりますので、ぜひご意見、情報をお寄せ下さい。

今後とも奄美ふるさと100人応援団をどうぞよろしくお願い申し上げます。

編集人　トネヤ株式会社代表、奄美観光大使、奄美ふるさと100人応援団、写真家　山中 順子

STAFF

●編集人
山中順子
Junko Yamanaka

●デザイン
滝口貴美子
KimikoTakiguchi

●執筆・校正
藤村幸代
Yukiyo Fujimura

●関西店舗取材
萩原きよみ
Kiyomi Hagiwara

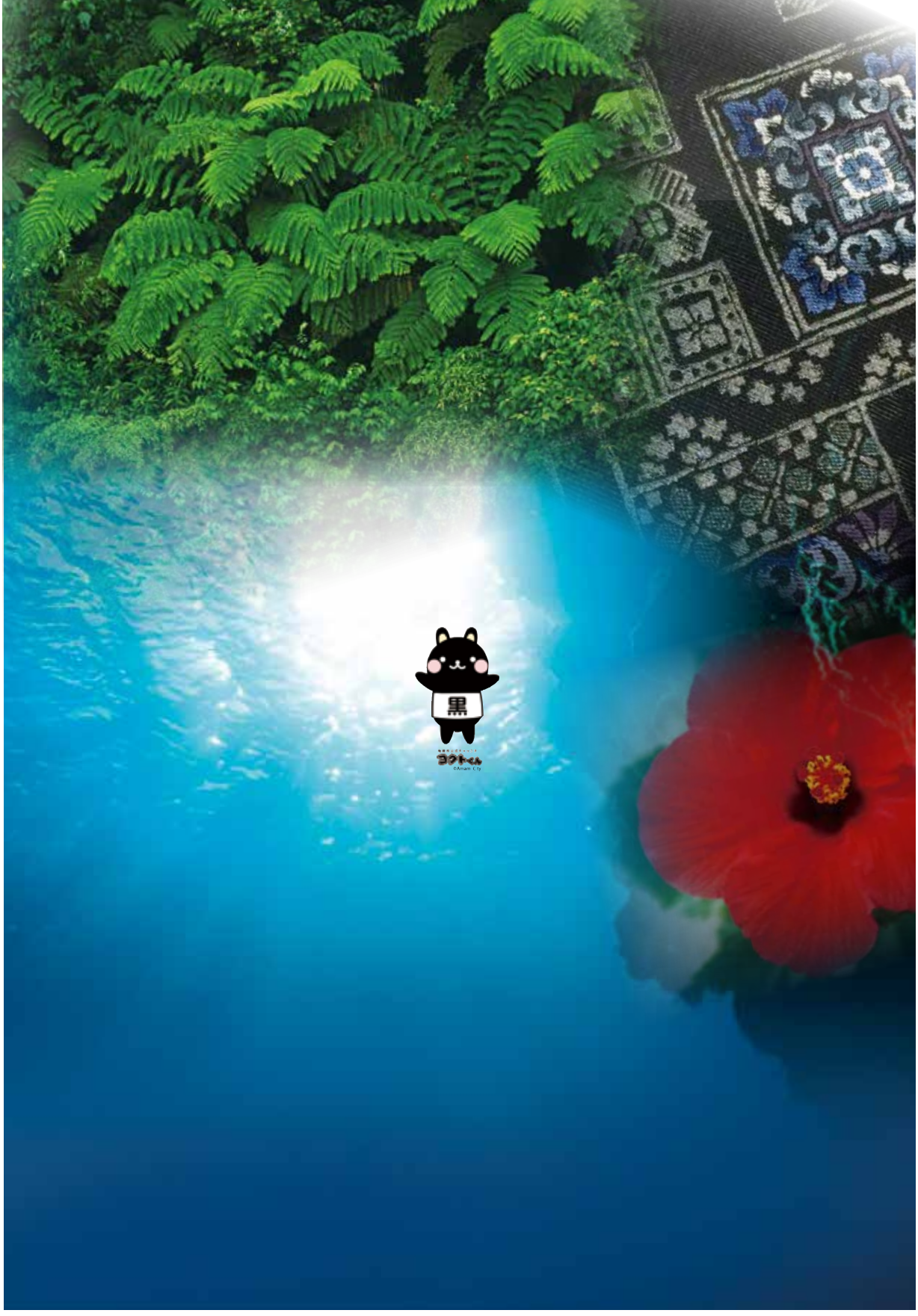
●関西店舗取材
中川大輔
Daisuke Nakagawa

●製作 STAFF
森谷嘉章
Yoshiaki Moriya

鎌田俊一
Syunichi Kamata

田原みゆき
Miyuki Tahara

●アシスタント
奄美応援団 Facebook
OFFICE TAKUZO



発行　奄美市
奄美市商工観光部　紬観光課
〒894-8555 鹿児島県奄美市名瀬幸町 25-8
TEL 0997-52-1111(1435) FAX 0997-52-1364

HP:http://www.city.amami.lg.jp/
Blog:http://amamikankoubussan.amamin.jp/

禁無断転載 ©AMAMI CITY